⚠ 注意事項

- ●フィブロックの用途、使用条件の詳細については各認定書･評定書･取扱説明書をご確認ください。
- ●区画貫通措置以外の目的には使用しないでください。
- ●フィブロックの幅は規定の寸法となっていますので、幅を変えて使用しないでください。
- ●ケーブルや電線管の支持機能はありません。別途、支持固定を行ってください。
- ●別途内線規程がある場合、遵守して施工してください。
- ●防水機能はありません。必要な場合には別途、防水処理を行ってください。
- ●必要に応じて、手袋や保護めがね等適切な保護具を使用してください。
- ●水濡れや直射日光、高温下は避けて運搬･保管してください。
- ●紫外線や水、薬品等のかかるところや高温多湿の環境下、結露する場所では使用しないでください。
- ●製品に局所的な荷重が加わると、潰れなどの変形や破れの恐れがあるため、保管や輸送の際はご注意ください。
- ●残材や使用後の廃材の処分は、法令及び地方自治体の条例に従ってください。
- ●防火区画貫通について不明な点は、所轄の行政機関へご確認ください。

製造元 積水化学工業株式会社
耐火材料事業部
https://www.sekisui.co.jp/fp/

販売元 積水マテリアルソリューションズ株式会社
耐火資材営業所
〒103-0023　東京都中央区日本橋本町4-3-6
TEL 03(6744)5806　FAX 03(6744)5807

●お問い合わせは上記連絡先にお願いいたします。

＊印刷のため製品の色調は実物とは異なる場合があります。
＊記載事項は予告なく変更する場合があります。

不許転載

2025年 5月　改訂34版-0刷
熱膨張耐火材フィブロック
カタログ(電気用)

積水化学工業株式会社
耐火材料事業部

ツールコード
No. 07205
(FP005K)
2025. 5. 0TH TX

SEKISUI

セキスイ熱膨張耐火材

フィブロック®

ケーブル区画貫通措置部材

火災発生時に膨張、
断熱層を形成する耐火材。

2024-2025

製品一覧
工法選定早見表 製品別
工法選定早見表 施工箇所別
NEO
工法一覧
直ケーブル･PF/CD管(混合可)
コンセントボックス(中空壁)
NEO 共住区画
直ケーブル･PF/CD管(混合可)
PF管テープ/PF管シート
工法一覧
ケーブル
PF/CD 管
直ケーブル･PF/CD 管(混合)
共住区画
直ケーブル･PF/CD管(混合)
CD管埋設工法
コンセントボックス(中空壁)
鋼製電線管用
工法一覧
ケーブルのみ
直ケーブル･PF/CD 管(混合可)
異種管継手
遮音シート
コンセントボックス(耐火遮音)
コンセントボックス SW 用キット(片壁用)
丸穴貫通(床用)キット
プロセレクトキット
工法一覧
ケーブルラック
バスダクト
延焼防止シート
関連法規
Q&A

ホームページリニューアルのご案内

https://www.sekisui.co.jp/fp/

品番・品名、認定番号・評定番号見つける、見つかるフィブロック検索システム

製品紹介ページはコチラをクリック！

各種資料が取れる資料ダウンロードページ！

認定シール、評定マーク等のご申請はこちらから！

各製品ページ

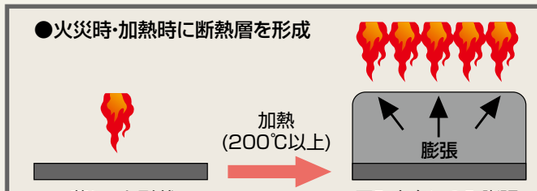
動画一覧ページ

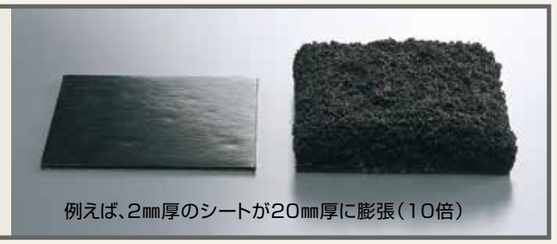
各種一覧

P.3 …… 索　　引
P.4 …… 製品一覧
P.5～P.10 …… 工法選定早見表

フィブロックは、積水化学工業(株)のプラスチック技術を活用した柔軟で薄い有機系耐火材です。
火災時の熱により膨張することで初めて耐火・防火性能を発揮します。

●火災時・加熱時に断熱層を形成





例えば、2㎜厚のシートが20㎜厚に膨張(10倍)

◉認定シール・評定マーク:WEB申請方法のご案内◉

① ホームページにアクセス

▶パソコン または 製品個箱の二次元コードから、アクセスしてください。

https://www.sekisui.co.jp/fp/

注)製品個箱の中に認定シール請求書用紙は、同梱されていません。二次元コードから読み込んでいただけます。

② エントリーフォームを入力

▶1.現場情報と2.送付先(ご請求者様連絡先)を入力してください。

✓ 次回以降もこの情報を使用する(最大3件保存可)

☑を入れていただきますと情報を保存できます。
保存時に管理用パスワードをメールにてご連絡いたします。
パスワードは変更可能です。

③ 請求枚数を入力

▶国土交通大臣認定番号と(一財)日本消防設備安全センター性能評定番号毎に請求枚数を入力してください。

(一財)日本消防設備安全センター性能評定工法とは…
共住区画(特定共同住宅の住戸等の床または壁)をケーブル等が貫通した場合に該当いたします。(マンション、寮等)

④ 施工確認 & 送信

▶国土交通大臣認定工法または(一財)日本消防設備安全センター評定工法通り、施工を行っていただいたことを確認してください。→✓

▶ 確 認 を押し、入力内容をご確認の上、 送 信 を押してください。

申請完了

◀申請受付メールを送信いたします。

⑤ お届け

◀発送メールを送信いたします。※送り状No.を記載しています。

◀お届けは、通常メール便(送料無料)にてポスト投函いたします。

注)お手元に届くまでに数日かかりますので、ご請求はお早目にお願いいたします。
時間指定等のご依頼は原則ご遠慮いただいております。

認定シール・評定マーク/評定一括プレート

◆国土交通大臣認定シール

PF管・ケーブル貫通用	PF管・ケーブル貫通用	鋼製電線管用	コンセントボックスSW用	ケーブルラック用プロセレクト
PF管・ケーブル貫通 コンセントボックス用	PF管・ケーブル貫通 コンセントボックス用	鋼製電線管 異種管継手用	丸穴(床用)キット	バスダクト用プロセレクト

◆(一財)日本消防設備安全センター

評定マーク

評定一括プレート

注)評定一括プレートは建物1棟につき1枚です。

索引

国土交通大臣認定番号索引【貫通部位：壁】

認定番号	製品名	ページ
PS045WL-0567	PF管･ケーブル貫通用	P.24~26
PS045WL-0568	鋼製電線管用	P.39~40
PS045WL-0713	PF管･ケーブル貫通用	P.31~32
PS045WL-0752	遮音シート コンセントボックス用	P.45~46
PS045WL-0801	PF管･ケーブル貫通用	P.31~32
PS045WL-1172	NEO:PF管･ケーブル貫通用	P.13~14
PS045WL-1177	NEO:PF管･ケーブル貫通用	P.17~18
PS060WL-0213	PF管･ケーブル貫通用	P.24~25
PS060WL-0268-1	鋼製電線管用	P.37~38
PS060WL-0269	鋼製電線管用	P.37~38
PS060WL-0297	PF管･ケーブル貫通用	P.24~25
PS060WL-0358-1	PF管･ケーブル貫通用	P.24~26
PS060WL-0371	PF管･ケーブル貫通用	P.24~26
PS060WL-0372	PF管･ケーブル貫通用	P.24~26
PS060WL-0514-2	ケーブルラック･バスダクト貫通用 プロセレクトキット	P.56~57
PS060WL-0530-3	ケーブルラック･バスダクト貫通用 プロセレクトキット	P.56~57
PS060WL-0610-1	鋼製電線管用	P.41~42
PS060WL-0611	鋼製電線管用	P.41~42
PS060WL-0612	鋼製電線管用	P.41~42
PS060WL-0616	鋼製電線管用	P.39~40
PS060WL-0617-1	鋼製電線管用	P.39~40
PS060WL-0618-1	鋼製電線管用	P.39~40
PS060WL-0672-2	コンセントボックス SW用キット	P.47~49
PS060WL-0711	PF管･ケーブル貫通用	P.31~32
PS060WL-0712	PF管･ケーブル貫通用	P.31~32
PS060WL-0750	遮音シート コンセントボックス用	P.45~46
PS060WL-0751	遮音シート コンセントボックス用	P.45~46
PS060WL-0788-2	ケーブルラック･バスダクト貫通用 プロセレクトキット	P.56
PS060WL-0789	ケーブルラック･バスダクト貫通用 プロセレクトキット	P.56
PS060WL-0802	PF管･ケーブル貫通用	P.31~32
PS060WL-0803	PF管･ケーブル貫通用	P.31~32
PS060WL-1169-2	NEO:PF管･ケーブル貫通用	P.13~14
PS060WL-1301 (PS060WL-1170)	NEO:PF管･ケーブル貫通用 ※ PS060WL-1170はPS060WL-1301に包含する	P.13~14
PS060WL-1171	NEO:PF管･ケーブル貫通用	P.13~14
PS060WL-1173-1	NEO:PF管･ケーブル貫通用	P.17~18
PS060WL-1324 (PS060WL-1290)	NEO:PF管･ケーブル貫通用 ※ PS060WL-1290はPS060WL-1324に包含する	P.17~18

国土交通大臣認定番号索引【貫通部位：床】

認定番号	製品名	ページ
PS060FL-0290	鋼製電線管用	P.37~38
PS060FL-0412	丸穴貫通（床用）キット	P.51~52
PS060FL-0595	鋼製電線管用	P.39~40
PS060FL-0609	鋼製電線管用	P.41~42
PS060FL-0638	PF管･ケーブル貫通用	P.27~28
PS060FL-0667	ケーブルラック･バスダクト貫通用 プロセレクトキット	P.56~58
PS060FL-0808	ケーブルラック･バスダクト貫通用 プロセレクトキット	P.56~58
PS060FL-0856	PF管･ケーブル貫通用	P.29~30
PS060FL-1236	NEO:PF管･ケーブル貫通用	P.15~16

品番索引

品 番	品 名	ページ
HCJM005	NEO:留付金具（片側施工用）	P.11
HCJM006	NEO:留付金具（両側施工用）	P.11
KMY-050	丸穴貫通（床用）キット φ50用	P.51~52
KMY-075	丸穴貫通（床用）キット φ75用	P.51~52
KMY-100	丸穴貫通（床用）キット φ100用	P.51~52
KMY-125	丸穴貫通（床用）キット φ125用	P.51~52
KMY-150	丸穴貫通（床用）キット φ150用	P.51~52
KSW-101	コンセントボックス SW用キット 4×4浅･深型用	P.47~49
KSW-102	コンセントボックス SW用キット 大浅･深型、2~4個用	P.47~49
NCJM001	セキスイ耐火パテ	P.23
NCJM004	ケーブルラック･バスダクト貫通用 プロセレクトパテ 1キロ	P.55
RCCZE01	ケーブル延焼防止シート	P.59
RY-006	ケーブルラック･バスダクト貫通用 プロセレクトキット 200×300用	P.53~58
RY-008	ケーブルラック･バスダクト貫通用 プロセレクトキット 200×400用	P.53~58
RY-010	ケーブルラック･バスダクト貫通用 プロセレクトキット 200×500用	P.53~58
RY-012	ケーブルラック･バスダクト貫通用 プロセレクトキット 200×600用	P.53~58
RY-014	ケーブルラック･バスダクト貫通用 プロセレクトキット 200×700用	P.53~58
RY-016	ケーブルラック･バスダクト貫通用 プロセレクトキット 200×800用	P.53~58
RY-018	ケーブルラック･バスダクト貫通用 プロセレクトキット 200×900用	P.53~58
RY-020	ケーブルラック･バスダクト貫通用 プロセレクトキット 200×1000用	P.53~58
RY-022	ケーブルラック･バスダクト貫通用 プロセレクトキット 200×1100用	P.53~58
RY-024	ケーブルラック･バスダクト貫通用 プロセレクトキット 200×1200用	P.53~58
SBCZ001	PF管･ケーブル貫通用 PF管シート	P.21~34
SBCZ101	PF管･ケーブル貫通用 PF管シート S100	P.21~34
SBCZ102	PF管･ケーブル貫通用 PF管シート S150	P.21~34
TBCN001	遮音シート コンセントボックス用	P.43~46
TBCZ011	鋼製電線管用 φ39用テープ	P.35~42
TBCZ012	鋼製電線管用 φ75用テープ	P.35~42
TBCZ013	鋼製電線管用 φ104用テープ	P.35~42
TBCZ014	PF管･ケーブル貫通用 PF管テープ	P.21~34
SKCCC01	NEO:片側施工（壁用）φ80以下	P.11~18
SKCCC02	NEO:片側施工（壁用）φ110以下	P.11~18
SKCCC03	NEO:片側施工（壁用）φ160以下	P.11~18
SKCCC04	NEO:両側施工（壁用）φ80以下	P.11~14
SKCCC05	NEO:両側施工（壁用）φ110以下	P.11~14
SKCCC06	NEO:両側施工（壁用）φ160以下	P.11~14
SKCCC07	NEO:片側施工（評定品）φ61以下	P.19~20
SKCCC08	NEO:両側施工（評定品）φ65以下	P.19~20

（一財）日本消防設備安全センター：評定番号索引

評定番号	製品名	ページ
KK19-144号	PF管･ケーブル貫通用	P.33
KK19-145号	PF管･ケーブル貫通用	P.33
KK21-003号	PF管･ケーブル貫通用	P.34
KK21-004号	PF管･ケーブル貫通用	P.34
KK2023-016号	NEO:PF管･ケーブル貫通用	P.19~20
KK2023-017号	NEO:PF管･ケーブル貫通用	P.19~20

※最新の情報はホームページにてご確認ください。

ケーブル区画貫通措置部材製品一覧

セキスイ熱膨張耐火材 フィブロック®

フィブロックNEO®（PF管･ケーブル貫通用）
片側施工（壁 床用）
両側施工（壁用）
P.11~P.18

フィブロックNEO®（PF管･ケーブル貫通用）
片側施工（評定品）
両側施工（評定品）
P.19~P.20

PF管･ケーブル貫通用
PF管テープ
PF管シート
P.21~P.34

セキスイ耐火パテ
（補助材）
P.23

鋼製電線管用テープ
P.35~P.42

遮音シート
コンセント
ボックス用
P.43~P.46

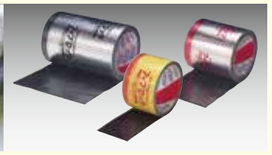
コンセントボックス
SW用キット
P.47~P.50

丸穴貫通（床用）キット
P.51~P.52

ケーブルラック･バスダクト貫通用
プロセレクトキット
P.53~P.58

ケーブル延焼防止シート
P.59

給排水･空調用途の
フィブロック製品は
こちらを
ご参照ください。



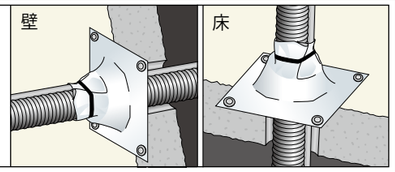
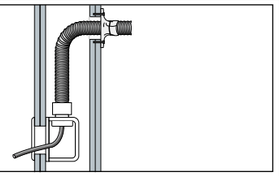
https://www.fiblock.com/results/

製品一覧
工法選定早見表 製品別
工法選定早見表 施工箇所別
NEO 工法一覧
NEO 直ケーブル・PF/CD管（混合可）
NEO コンセントボックス（中空壁）
NEO 共住区画 直ケーブル・PF/CD管（混合可）
PF管テープ/PF管シート 工法一覧
PF管テープ/PF管シート ケーブル
PF管テープ/PF管シート PF/CD 管
PF管テープ/PF管シート 直ケーブル・PF/CD 管（混合）
PF管テープ/PF管シート 共住区画 直ケーブル・PF/CD管（混合）
PF管テープ/PF管シート 共住区画 CD管 埋設工法
PF管テープ/PF管シート コンセントボックス（中空壁）
鋼製電線管用 工法一覧
鋼製電線管用 ケーブルのみ
鋼製電線管用 直ケーブル・PF/CD 管（混合可）
鋼製電線管用 異種管継手
遮音シート コンセントボックス（耐火遮音）
コンセントボックス SW 用キット（片壁用）
丸穴貫通（床用）キット
プロセレクトキット 工法一覧
プロセレクトキット ケーブルラック
プロセレクトキット バスダクト
延焼防止シート
関連法規
Q&A

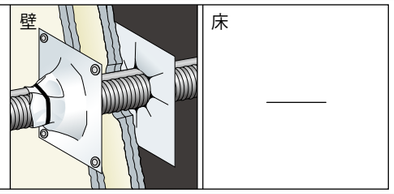
工法選定早見表
製品別

セキスイ熱膨張耐火材
フィブロック®

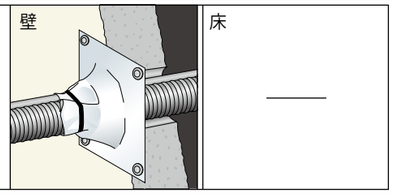
フィブロックNEO® PF管・ケーブル貫通 片側施工用

貫通物	ケーブル直・PF/CD管（混合可）		P.13〜P.16
貫通物	コンセントボックス（中空壁） 注）片壁の場合は P.47〜49を ご参照ください。		P.17〜P.18

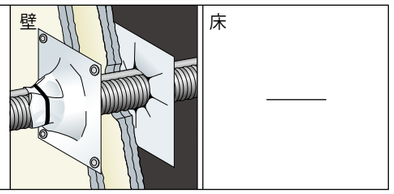
フィブロックNEO® PF管・ケーブル貫通 両側施工用

貫通物	ケーブル直・PF/CD管（混合可）		P.13〜P.14

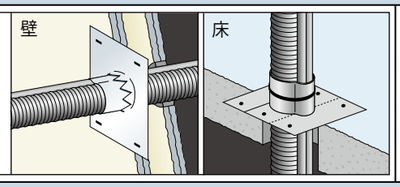
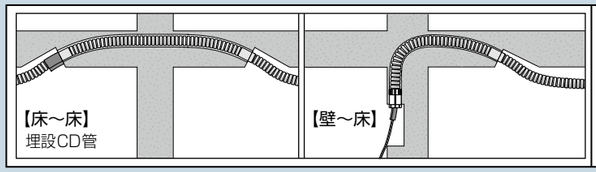
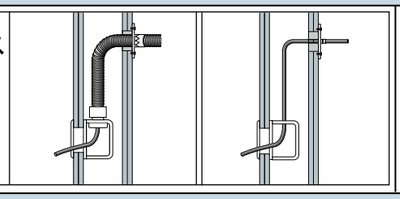
フィブロックNEO® PF管・ケーブル貫通 片側施工用（共住区画）

貫通物	ケーブル直・PF/CD管（混合可）		P.19〜P.20

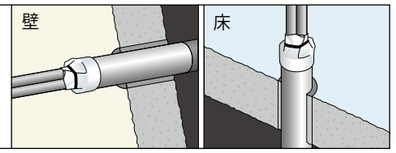
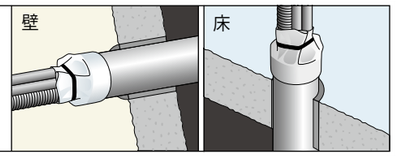
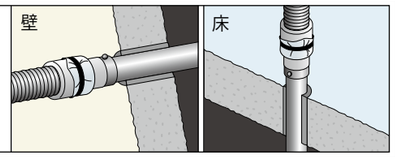
フィブロックNEO® PF管・ケーブル貫通 両側施工用（共住区画）

貫通物	ケーブル直・PF/CD管（混合可）		P.19〜P.20

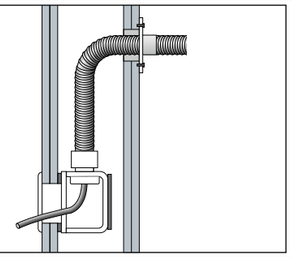
PF管テープ・PF管シート

貫通物	ケーブル直・PF/CD管（混合可）		P.23〜P.30 P.33
	【床〜床】埋設CD管 【壁〜床】		P.34
貫通物	コンセントボックス（中空壁） 注）片壁の場合は P.47〜49を ご参照ください。		P.31〜P.32

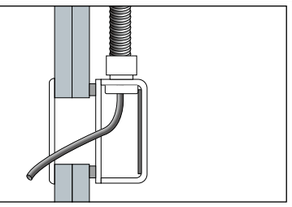
鋼製電線管用テープ

貫通物	ケーブル直のみ		P.37〜P.38
貫通物	ケーブル直・PF/CD管（混合可）		P.39〜P.40
	異種管継手（アダプター）		P.41〜P.42

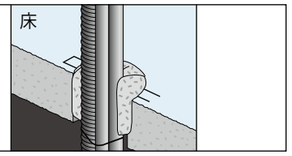
遮音シート コンセントボックス用

貫通物	コンセントボックス遮音処理（中空壁）		P.43〜P.46

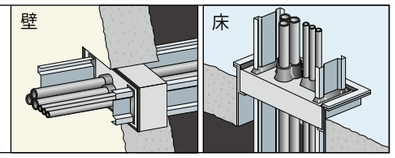
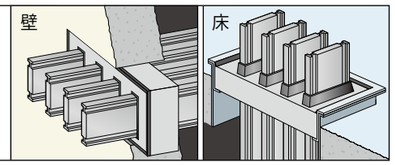
コンセントボックス SW用キット

貫通物	コンセントボックス（片壁） 注）中空壁には ご使用いただけません。		P.47〜P.49

丸穴貫通（床用）キット

貫通物	ケーブル直・PF/CD管（混合可）		P.51〜P.52

プロセレクトキット

貫通物	ケーブルラック		P.55〜P.58
	バスダクト		P.55〜P.58

工法選定早見表①
開口形状・貫通物・構造（壁・床）別

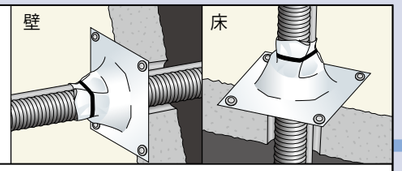
セキスイ熱膨張耐火材
フィブロック®

製品一覧
工法選定早見表 製品別
工法選定早見表 施工箇所別
NEO
工法一覧
直ケーブル・PF/CD管（混合可）
コンセントボックス（中空壁）
NEO 共住区画 直ケーブル・PF/CD管（混合可）
PF管テープ/PF管シート
工法一覧
ケーブル
PF/CD管
直ケーブル・PF/CD管（混合）
共住区画 直ケーブル・PF/CD管（混合）
CD管埋設工法
コンセントボックス（中空壁）
鋼製電線管用
工法一覧
ケーブルのみ
直ケーブル・PF/CD管（混合可）
異種管継手
遮音シート コンセントボックス（耐火遮音）
コンセントボックスSW用キット（片壁用）
丸穴貫通（床用）キット
プロセレクトキット 工法一覧
ケーブルラック
バスダクト
延焼防止シート
関連法規
Q&A

国土交通省大臣認定（建築基準法関連）

丸穴

貫通物の種類：ケーブル直・PF/CD管（混合可）

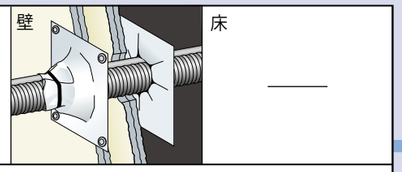


貫通部位						
壁	RC	ALC	中空壁	片壁	準耐火45分
床	RC	ALC	中空床		

使用部材：フィブロックNEO 片側施工（壁 床用）

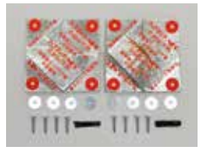
P.13〜P.16

貫通物の種類：ケーブル直・PF/CD管（混合可）



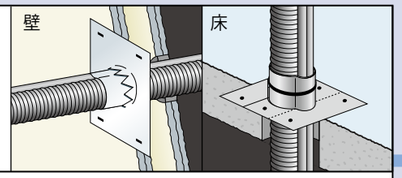
貫通部位						
壁	RC	ALC	中空壁	片壁	準耐火45分
床	RC	ALC	中空床		

使用部材：フィブロックNEO 両側施工（壁用）



P.13〜P.14

貫通物の種類：ケーブル直・PF/CD管（混合可）

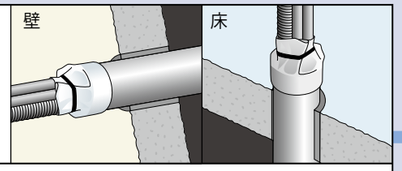


貫通部位						
壁	RC	ALC	中空壁	片壁	準耐火45分
床	RC	ALC	中空床		

使用部材：PF管テープ PF管シート セキスイ耐火パテ

P.23〜P.30

貫通物の種類：鋼製電線管

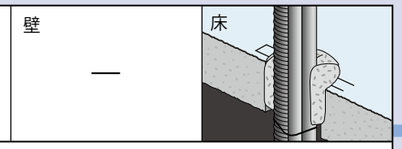


貫通部位						
壁	RC	ALC	中空壁	片壁	準耐火45分
床	RC	ALC			

使用部材：鋼製電線管用 セキスイ耐火パテ

P.37〜P.42

貫通物の種類：ケーブル直・PF/CD管（混合可）



貫通部位						
壁	RC	ALC	中空壁	片壁	準耐火45分
床	RC	ALC			

使用部材：丸穴貫通（床用）キット

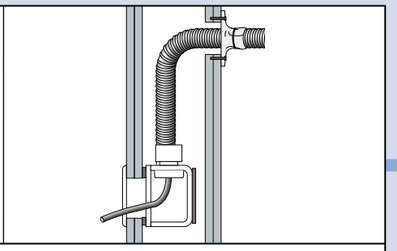
P.51〜P.52

※ 表示は、適用不可です。

国土交通省大臣認定（建築基準法関連）

丸穴

貫通物の種類：コンセントボックス（中空壁）遮音処理あり又はなし

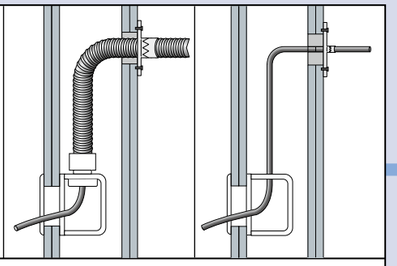


貫通部位						
壁	RC	ALC	中空壁	片壁	準耐火45分
床	RC	ALC			

使用部材：フィブロックNEO 片側施工（壁 床用）遮音（あり又はなし）

P.17〜P.18

貫通物の種類：コンセントボックス（中空壁）

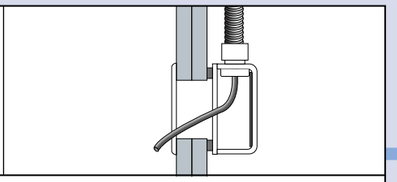


貫通部位						
壁	RC	ALC	中空壁	片壁	準耐火45分
床	RC	ALC			

使用部材：PF管テープ PF管シート セキスイ耐火パテ

P.31〜P.32

貫通物の種類：コンセントボックス（片壁）

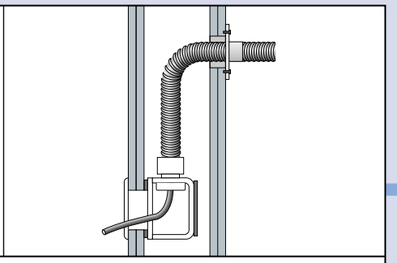


貫通部位						
壁	RC	ALC	中空壁	片壁	準耐火45分
床	RC	ALC			

使用部材：コンセントボックス SW用キット

P.47〜P.49

貫通物の種類：コンセントボックス（中空壁）遮音処理



貫通部位						
壁	RC	ALC	中空壁	片壁	準耐火45分
床	RC	ALC			

使用部材：遮音シート コンセントボックス用 PF管テープ PF管シート セキスイ耐火パテ

P.43〜P.46

※ 表示は、適用不可です。

製品一覧
工法選定早見表 製品別
工法選定早見表 施工箇所別
NEO
工法一覧
直ケーブル・PF/CD管（混合可）
コンセントボックス（中空壁）
直ケーブル・PF/CD管（混合可） 共住区画 NEO
PF管テープ/PF管シート
工法一覧
ケーブル
PF/CD管
直ケーブル・PF/CD管（混合）
直ケーブル・PF/CD管（混合） 共住区画
CD管埋設工法
コンセントボックス（中空壁）
鋼製電線管用
工法一覧
ケーブルのみ
直ケーブル・PF/CD管（混合可）
異種管継手
コンセントボックス（耐火遮音） 遮音シート
コンセントボックスSW用キット（片壁用）
丸穴貫通（床用）キット
工法一覧 プロセレクトキット
ケーブルラック
バスダクト
延焼防止シート
関連法規
Q&A

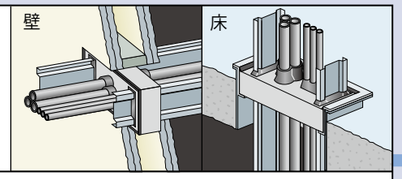
工法選定早見表②
開口形状・貫通物・構造（壁・床）別

セキスイ熱膨張耐火材
フィブロック®

国土交通省大臣認定（建築基準法関連）

角穴

貫通物の種類：ケーブルラック

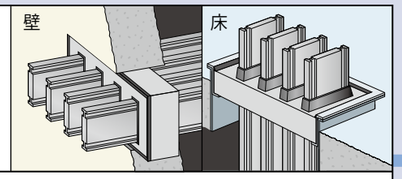


貫通部位

壁	RC	ALC	中空壁	片壁	準耐火45分
床	RC	ALC			

使用部材：プロセレクトキット

貫通物の種類：バスダクト



貫通部位

壁	RC	ALC	中空壁	片壁	準耐火45分
床	RC	ALC			

使用部材：プロセレクトキット

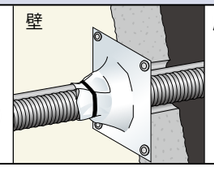
P.55〜P.58

※ 表示は、適用不可です。

（一財）日本消防設備安全センター性能評定（消防法関連）

丸穴

貫通物の種類：ケーブル直・PF/CD管（混合可）



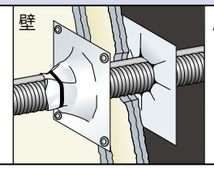
貫通部位

壁	RC	ALC	中空壁	片壁	準耐火45分
床	RC	ALC	中空床		

使用部材：フィブロックNEO 片側施工（評定品）

P.19〜P.20

貫通物の種類：ケーブル直・PF/CD管（混合可）



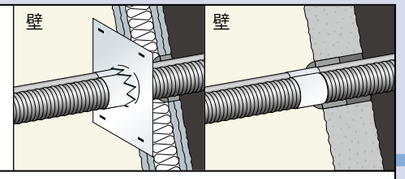
貫通部位

壁	RC	ALC	中空壁	片壁	準耐火45分
床	RC	ALC	中空床		

使用部材：フィブロックNEO 両側施工（評定品）

P.19〜P.20

貫通物の種類：ケーブル直・PF/CD管（混合可）



貫通部位

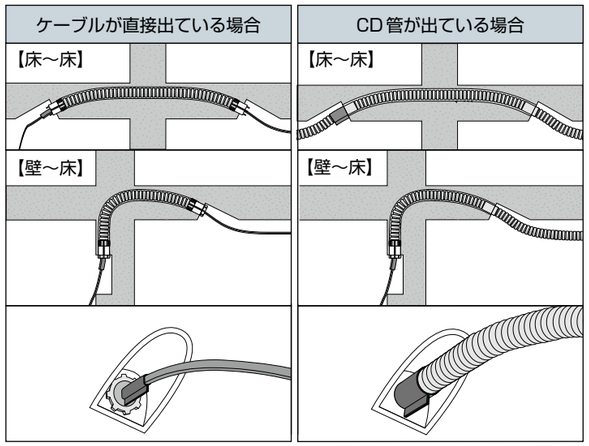
壁	RC	ALC	中空壁*	片壁	準耐火45分
床	RC	ALC			

＊グラスウール充填

使用部材：PF管テープ / PF管シート / セキスイ耐火パテ

P.33

貫通物の種類：サブウェイ（埋設CD管）



使用部材：PF管テープ / セキスイ耐火パテ

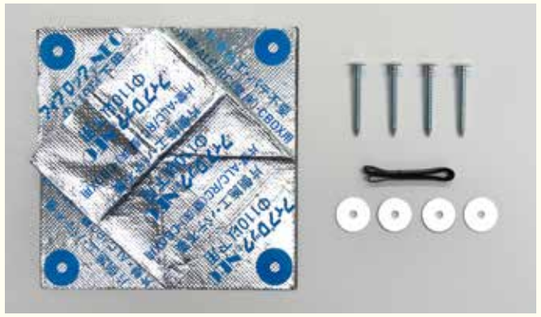
P.34

※ 表示は、適用不可です。

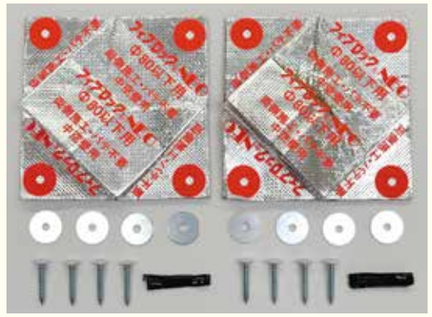
フィブロックNEO 工法一覧表

製品一覧
工法選定早見表 製品別
工法選定早見表 施工箇所別
NEO 工法一覧
NEO 直ケーブル・PF/CD管(混合可)
NEO コンセントボックス(中空壁)
NEO 共住区画 直ケーブル・PF/CD管(混合可)
PF管テープ/PF管シート 工法一覧
PF管テープ/PF管シート ケーブル
PF管テープ/PF管シート PF/CD管
PF管テープ/PF管シート 直ケーブル・PF/CD管(混合)
PF管テープ/PF管シート 共住区画 直ケーブル・PF/CD管(混合)
PF管テープ/PF管シート 共住区画 CD管埋設工法
PF管テープ/PF管シート コンセントボックス(中空壁)
鋼製電線管用 工法一覧
鋼製電線管用 ケーブルのみ
鋼製電線管用 直ケーブル・PF/CD管(混合可)
鋼製電線管用 異種管継手
遮音シート コンセントボックス(耐火遮音)
コンセントボックスSW用キット(片壁用)
丸穴貫通(床用)キット
プロセレクトキット 工法一覧
プロセレクトキット ケーブルラック
プロセレクトキット バスダクト
延焼防止シート
関連法規
Q&A

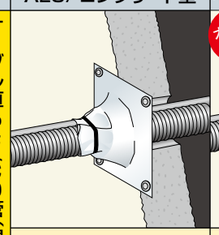
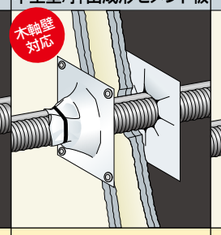
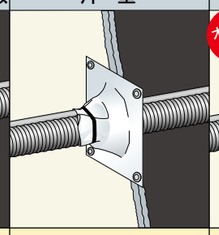
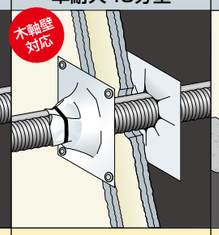
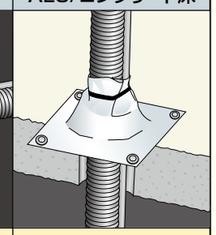
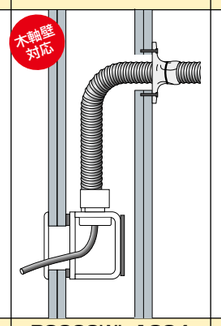
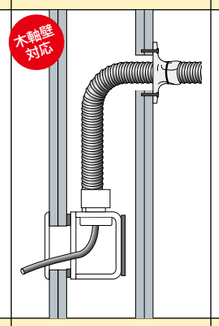
国土交通省大臣認定(建築基準法関連)



品　名	品　番
片側施工φ80以下(壁 床用)	SKCCC01
片側施工φ110以下(壁 床用)	SKCCC02
片側施工φ160以下(壁 床用)	SKCCC03



品　名	品　番
両側施工φ80以下(壁用)	SKCCC04
両側施工φ110以下(壁用)	SKCCC05
両側施工φ160以下(壁用)	SKCCC06

	ALC/ コンクリート壁	中空壁/押出成形セメント板	片　壁	準耐火45分壁	ALC/コンクリート床
ケーブル直・PF/CD管(混合可)貫通		木軸壁対応 		木軸壁対応 	
	PS060WL-1301 (PS060WL-1170)※ P.13～14	PS060WL-1171 P.13～14	PS060WL-1169-2 P.13～14	PS045WL-1172 P.13～14	PS060FL-1236 P.15～16
コンセントボックス ※遮音処理あり又はなし	※ PS060WL-1170はPS060WL-1301に包含する ――	木軸壁対応 	――	木軸壁対応 	――
	――	PS060WL-1324 (PS060WL-1290)※ PS060WL-1173-1 P.17～18	――	PS045WL-1177 P.17～18	――

※ PS060WL-1324はPS060WL-1290に包含する

留付金具・片側施工用

留付金具・両側施工用

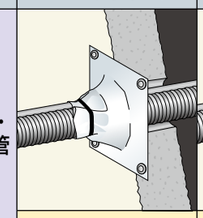
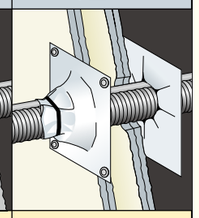
●ビス・ワッシャー(各100個入/箱)の注文も可能です。

品　名	品　番	仕様／個包装(袋)	入数/ケース
留付金具・片側施工用	HCJM005	ビス(呼び径4・長さ40㎜)×4本+ワッシャー(外径φ20・厚さ1㎜)×4個	25袋
留付金具・両側施工用	HCJM006	ビス(呼び径4・長さ25㎜)×4本+ワッシャー(外径φ20・厚さ1㎜)×4個	25袋

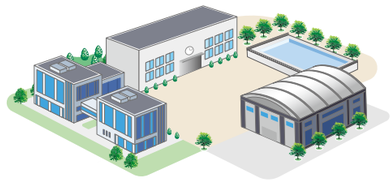
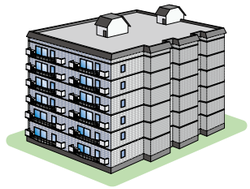
(一財)日本消防設備安全センター性能評定(消防法関連)

品　名	品　番
片側施工(評定品)φ61以下	SKCCC07

品　名	品　番
両側施工(評定品)φ65以下	SKCCC08

	ALC/ コンクリート壁	中空壁
ケーブル直・PF管/CD管(混合可)貫通		
	KK2023-017号 P.19～20	KK2023-016号 P.19～20

防火区画と共住区画とは…

区画の種類	防火区画	共住区画
関連法規	建築基準法	消防法
主な建物と主な区画位置	例) 学校、病院、ホテル、事務所、店舗、工場、倉庫など 	例) マンション、寮など ※特定共同住宅の住戸等の床または壁 
要求される耐火性能	遮炎性	遮炎性・遮煙性・遮熱性

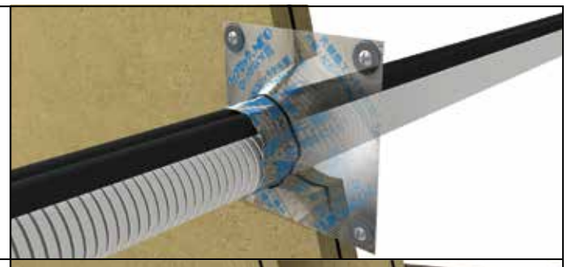
ケーブル区画貫通措置部材

フィブロックNEO® PF管・ケーブル貫通用

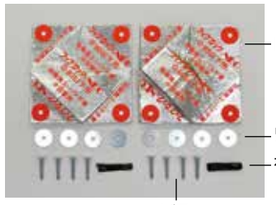
国土交通大臣認定品
PS060WL-1169-2,PS060WL-1301（PS060WL-1170）※,
PS060WL-1171,PS045WL-1172
※ PS060WL-1170はPS060WL-1301に包含する

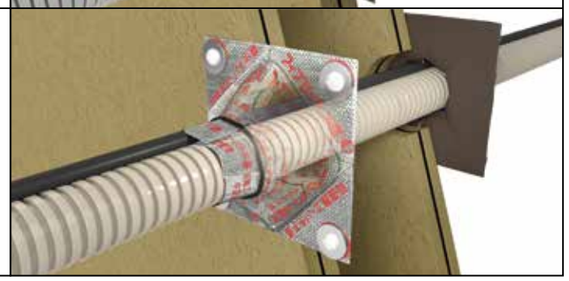
セキスイ熱膨張耐火材 フィブロック®

フィブロックNEO
片側施工（片壁・ALC/RC壁 床・コンセントボックス用）



両側施工（中空壁用）

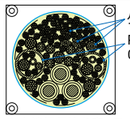




パテ充てん不要で簡単・確実施工

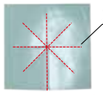
- 簡単施工・確実な仕上りに貢献します。
- 目視検査の確実さが向上します。
- 追加配線対応がしやすくなります。

高占積率 84.2%



※内線規程等を守って施工してください。

NEOシートにはスリットが入っています



★NEOシート裏面

製品仕様

品名 フィブロックNEO®	品番	1開口当たりの内容 フィブロックNEOシート 厚み×縦×横（mm）	枚数	ビス	ワッシャー	被覆付針金	梱包単位 個包装	外箱（段ボール）
片側施工φ80以下（壁 床用）	SKCCC01	4×110×110	1枚	呼び径4 長さ40mm 4本	外径φ20 厚さ1mm 4個	300mm×1本	10開口分/袋	50開口分/ケース
片側施工φ110以下（壁 床用）	SKCCC02	4×140×140				410mm×1本		
片側施工φ160以下（壁 床用）	SKCCC03	4×190×190				600mm×1本		
両側施工φ80以下（壁用）	SKCCC04	3×110×110	2枚	呼び径4 長さ25mm 8本	外径φ20 厚さ1mm 8個	300mm×2本	5開口分/袋	25開口分/ケース
両側施工φ110以下（壁用）	SKCCC05	3×140×140				410mm×2本		
両側施工φ160以下（壁用）	SKCCC06	3×190×190				600mm×2本		

※ ビス・ワッシャー（各100個入）別売。品番:HCJM005（片側施工用）、HCJM006（両側施工用）

適用範囲

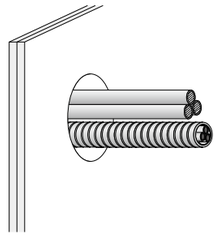
認定番号			PS060WL-1169-2	PS060WL-1171	PS045WL-1172	PS060WL-1301（PS060WL-1170）※1
壁の仕様（国土交通大臣が指定もしくは認定した壁）		仕様	片壁（片面強化石こうボード重張り）	中空壁/押出成形セメント板	準耐火45分壁	ALC/コンクリート壁
		厚さ	厚42mm以上	厚60mm以上	厚74mm以上	厚75mm以上
開口		形状	円形			
		寸法	φ160mm以下			φ165mm以下（φ280mm以下）※2
貫通物	ケーブル	導体（又は芯線）の断面積	325mm²以下（1本あたり）1734mm²以下（総合計）			325mm²以下（1本あたり）1776mm²以下（総合計）
貫通物	合成樹脂製可とう電線管	PF管・CD管（JIS C 8411）	PF管 呼び径42（外径52mm）以下 CD管 呼び径42（外径48mm）以下			PF管 呼び径54（外径65.3mm）以下 CD管 呼び径54（外径60.8mm）以下 波付硬質ポリエチレン管（FEP管）呼び径80（外径φ102mm）以下 硬質ポリ塩化ビニル電線管（VE管）呼び径100（外径φ114mm）以下
本数			ケーブル、PF管・CD管全て本数制限なし			
占積率*			84.2%以下			90.1%以下

＊ 開口面積に対するケーブル・電線管の断面積合計の割合
※1 PS060WL-1170はPS060WL-1301に包含する
※2 壁施工時に鋼製スリーブ又は塩ビスリーブをモルタルで埋め戻す場合

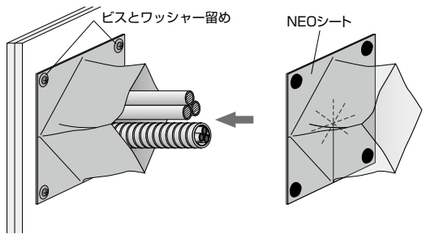
標準施工例① PF/CD管・ケーブル貫通工法

◎施工手順

1.PF/CD管・ケーブルの敷設
- 開口部を設置します。
- PF/CD管・ケーブル等を敷設します。

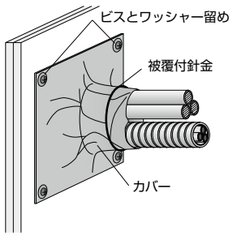


2.NEOシートの貼り付け
- 付属のビス、ワッシャーを用いてNEOシートの4隅を留め付けます。※カバーの●印を目安に留め付けてください。



片壁・ALC/RC壁には片側施工用のシート（水色）を、中空壁には両側施工用のシート（赤色）をご使用ください。

3.カバーの固定
- カバーをPF/CD管・ケーブル等に沿わせ、施工側から反対側への隙間が生じないように塞いでください。
- カバー端部を被覆付針金で、PF/CD管・ケーブル等に縛り、固定してください。

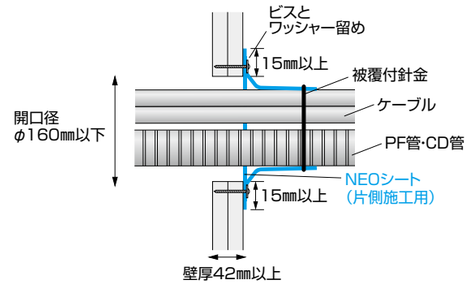


ポイント
- 付属のビスとワッシャーをご使用ください。
- ●印を留付目安にしてください。
- コンクリートの場合は、必ず下穴をあけてからご使用ください。

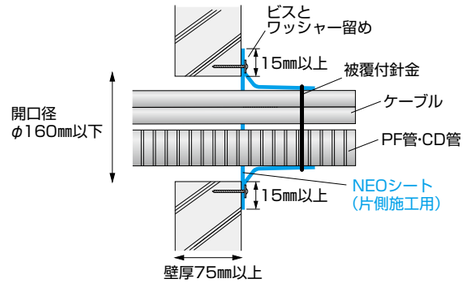
◆開口部の「充てん材」は不要です。
◆中空壁の場合は反対側も同様に施工してください。

標準施工図

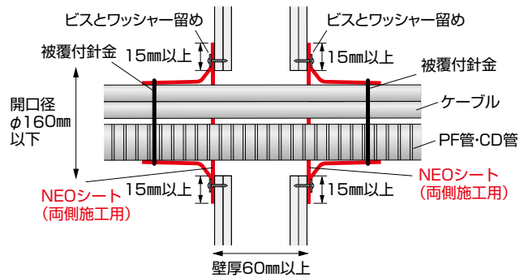
●PS060WL-1169-2の場合（片壁）



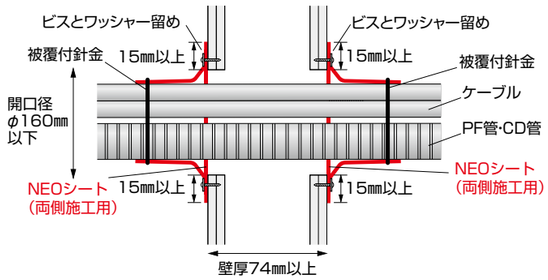
●PS060WL-1301の場合（ALC/コンクリート壁）（PS060WL-1170を包含する）



●PS060WL-1171の場合（中空壁）



●PS045WL-1172の場合（準耐火45分壁）



製品一覧
工法選定早見表 製品別
工法選定早見表 施工箇所別
NEO 工法一覧
NEO 直ケーブル・PF/CD管（混合可）
NEO コンセントボックス（中空壁）
NEO 共住区画 直ケーブル・PF/CD管（混合可）
PF管テープ/PF管シート 工法一覧
PF管テープ/PF管シート ケーブル
PF管テープ/PF管シート PF/CD管
PF管テープ/PF管シート 直ケーブル・PF/CD管（混合）
PF管テープ/PF管シート 共住区画 直ケーブル・PF/CD管（混合）
PF管テープ/PF管シート 共住区画 CD管埋設工法
PF管テープ/PF管シート コンセントボックス（中空壁）
鋼製電線管用 工法一覧
鋼製電線管用 ケーブルのみ
鋼製電線管用 直ケーブル・PF/CD管（混合可）
鋼製電線管用 異種管継手
遮音シート コンセントボックス（耐火遮音）
コンセントボックスSW用キット（片壁用）
丸穴貫通（床用）キット
プロセレクトキット 工法一覧
プロセレクトキット ケーブルラック
プロセレクトキット バスダクト
延焼防止シート
関連法規
Q&A

フィブロックNEO® PF管・ケーブル貫通用

国土交通大臣認定品
PS060FL-1236

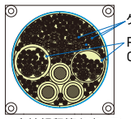
セキスイ熱膨張耐火材 フィブロック®

フィブロックNEO
片側施工(片壁・ALC/RC壁 床・コンセントボックス用)

ALC/コンクリート床にもご使用いただけます。

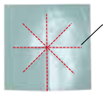
- 簡単施工・確実な仕上りに貢献します。
- 鋼製スリーブ有or無のどちらでも施工可能になりました。
- コンクリート75mm床厚にも対応しました。

高占積率 90%



※内線規程等を守って施工してください。

NEOシートにはスリットが入っています



★NEOシート裏面

製品仕様

品名 フィブロックNEO®	品番	1開口当たりの内容					梱包単位	
		フィブロックNEOシート		ビス	ワッシャー	被覆付針金	個包装	外箱(段ボール)
		厚み×縦×横(㎜)	枚数					
片側施工φ80以下(壁 床用)	SKCCC01	4×110×110	1枚	呼び径4 長さ40㎜ 4本	外径φ20 厚さ1㎜ 4個	300㎜×1本	10開口分/袋	50開口分/ケース
片側施工φ110以下(壁 床用)	SKCCC02	4×140×140				410㎜×1本		
片側施工φ160以下(壁 床用)	SKCCC03	4×190×190				600㎜×1本		

※ ビス・ワッシャー(各100個入)別売。品番:HCJM005(片側施工用)

適用範囲

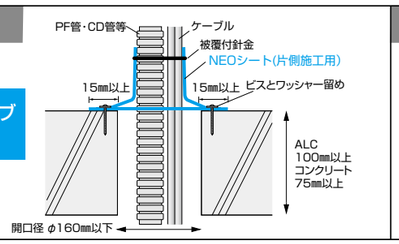
認定番号			PS060FL-1236
床の仕様(国土交通大臣が指定もしくは認定した床)			ALC床：厚100㎜以上 コンクリート床：厚75㎜以上
開口		形状	円　形
		寸法	φ160㎜以下(φ280㎜以下*1)
貫通物	ケーブル	導体(又は芯線)の断面積	325㎟以下(1本あたり) 1659㎟以下(総合計)
	電線管	PF管/CD管	PF管呼び径54以下/CD管呼び径54以下
		VE管	呼び径100以下
		FEP管	呼び径80以下
占積率*2			90.0%以下
鋼製スリーブ			あり又はなし(鋼製スリーブ高さ制限なし)

*1.床施工時に鋼製スリーブをモルタルで埋め戻す場合　*2.開口面積に対する電線管の断面積総合計の割合

標準施工図

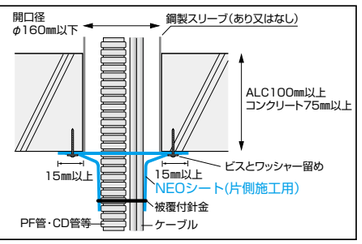
床上施工

鋼製スリーブなしの場合



床下施工

鋼製スリーブありの場合

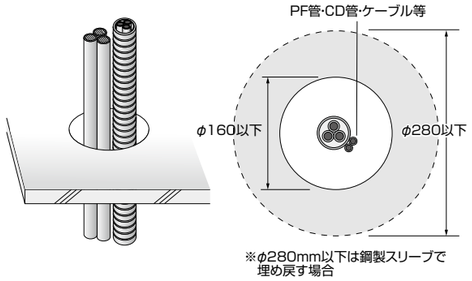


標準施工例 PF/CD管・ケーブル貫通工法(床)

◎床上側施工の場合

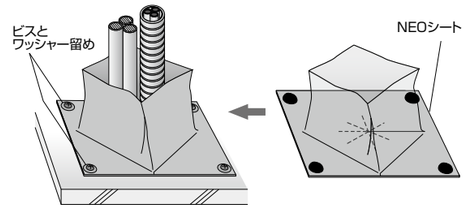
1.PF/CD管・ケーブル等の敷設

- PF/CD管・ケーブル等のサイズ、本数に応じて適正な占積率となるように開口部を設けます。
- PF/CD管・ケーブル等を敷設します。



2.NEOシートの貼り付け

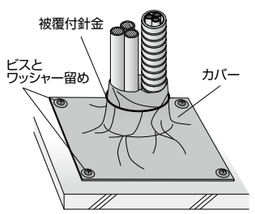
- 付属のビス、ワッシャーを用いてNEOシートの4隅を床面に留め付けます。※NEOシートの●印を目安に留め付けてください。



床には片側施工用のシート(水色)を、ご使用ください。

3.カバーの固定

- カバーをPF/CD管・ケーブル等に沿わせ、床下側への隙間が生じないように塞いでください。
- カバー端部を被覆付針金で、PF/CD管・ケーブル等に縛り、固定してください。



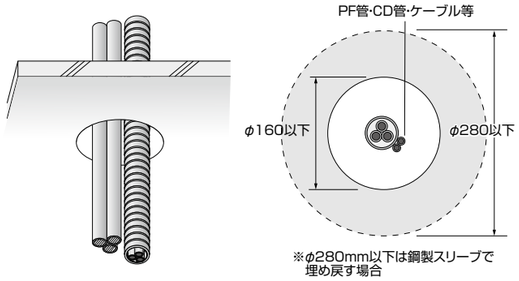
ポイント
- 付属のビスとワッシャーをご使用ください。
- NEOシートの●印を留付目安にしてください。
- コンクリートの場合は、必ず下穴をあけてからご使用ください。
- 床上側に鋼製スリーブが立ち上がっている場合は施工できません。

◆開口部の「充てん材」は不要です。

◎床下側施工の場合

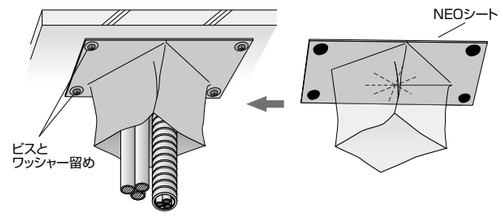
1.PF/CD管・ケーブル等の敷設

- PF/CD管・ケーブル等のサイズ、本数に応じて適正な占積率となるように開口部を設けます。
- PF/CD管・ケーブル等を敷設します。



2.NEOシートの貼り付け

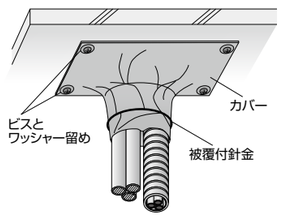
- 付属のビス、ワッシャーを用いてNEOシートの4隅を天井面に留め付けます。※NEOシートの●印を目安に留め付けてください。



床には片側施工用のシート(水色)を、ご使用ください。

3.カバーの固定

- カバーをPF/CD管・ケーブル等に沿わせ、天井側から上階側への隙間が生じないように塞いでください。
- カバー端部を被覆付針金で、PF/CD管・ケーブル等に縛り、固定してください。



ポイント
- 付属のビスとワッシャーをご使用ください。
- NEOシートの●印を留付目安にしてください。
- コンクリートの場合は、必ず下穴をあけてからご使用ください。
- 鋼製スリーブを使用する際は下側より施工してください。

◆開口部の「充てん材」は不要です。

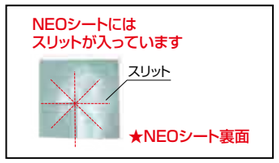
フィブロックNEO® PF管・ケーブル貫通用

国土交通大臣認定品
PS060WL-1173-1,PS060WL-1324(PS060WL-1290)※
PS045WL-1177

※ PS060WL-1290はPS060WL-1324に包含する

セキスイ熱膨張耐火材 フィブロック®

フィブロックNEO
片側施工(片壁・ALC/RC壁 床・コンセントボックス用)



中空壁の防火区画に設置する
コンセントボックスの処理にご使用いただけます。

製品仕様

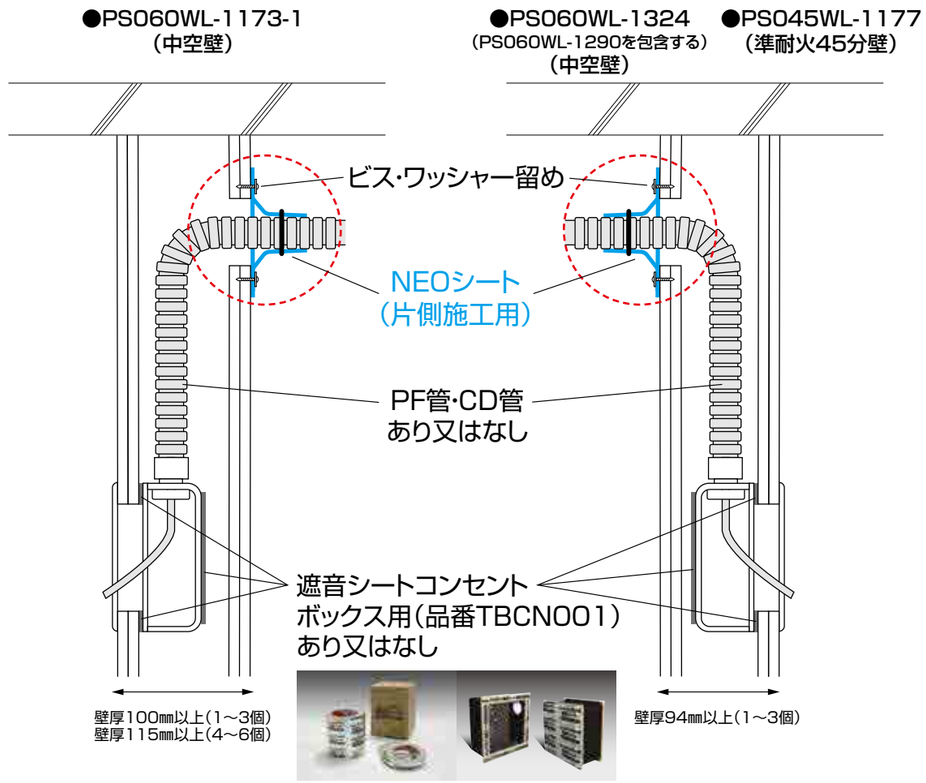
品名 フィブロックNEO®	品番	1開口当たりの内容					梱包単位	
		フィブロックNEOシート		ビス	ワッシャー	被覆付針金	個包装	外箱(段ボール)
		厚み×縦×横(㎜)	枚数					
片側施工φ80以下(壁 床用)	SKCCC01	4×110×110	1枚	呼び径4 長さ40㎜ 4本	外径φ20 厚さ1㎜ 4個	300㎜×1本	10開口分/袋	50開口分/ケース
片側施工φ110以下(壁 床用)	SKCCC02	4×140×140				410㎜×1本		
片側施工φ160以下(壁 床用)	SKCCC03	4×190×190				600㎜×1本		

適用範囲

認定番号		PS060WL-1324 (PS060WL-1290を包含する)	PS060WL-1173-1	PS045WL-1177
壁の仕様 (国土交通大臣が指定もしくは認定した壁)	仕様	中空壁	中空壁	準耐火45分壁
	厚さ	94㎜以上(1~3個用)	100㎜以上(1~3個用),115㎜以上(4~6個用)	94㎜以上(1~3個用)
開口寸法	電線管貫通部	円形:φ110㎜以下/矩形:110×110㎜以下		
	アウトレットボックス部(コンセントボックス)	矩形:150×100㎜以下	矩形:290×100㎜以下	矩形:150×100㎜以下
アウトレットボックス(コンセントボックス)	サイズ	3個用以下	6個用以下	3個用以下
	寸法	182(±4)×122(±4)×54(±4)㎜以下	320(±4)×117(±4)×54(±4)㎜以下	182(±4)×117(±4)×44(±4)㎜以下
ケーブル	導体(又は芯線)の断面積	23.76㎟以下(1本あたり) 86.02㎟以下(総合計)	22㎟以下(1本あたり) 177.5㎟以下(総合計)	22㎟以下(1本あたり) 67.6㎟以下(総合計)
合成樹脂製可とう電線管	PF管・CD管(JIS C 8411)	あり又はなし ありの場合φ30.5㎜以下(呼び径22以下)	あり又はなし ありの場合φ36.5㎜以下(呼び径28以下)	あり又はなし ありの場合φ30.5㎜以下(呼び径22以下)
占積率*		53.6%以下	55.8%以下(1~3個用) 52.6%以下(4~6個用)	55.8%以下
備考		遮音シートコンセントボックス用(品番TBCN001)あり又はなし		

*アウトレットボックス(コンセントボックス)の貫通孔の面積に対するケーブル断面積の総合計の割合

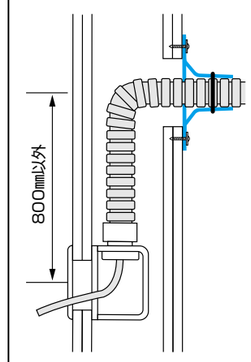
標準施工図



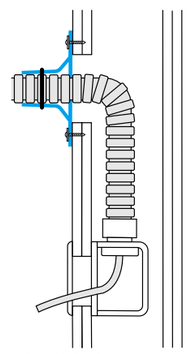
Q&A

No.	施工応用例①に関する質問
1	コンセントボックスと電線管が、壁を貫通する開口部の距離が800㎜以外の場合には、本認定は適用可能でしょうか?
	回答
	認定の施工方法とは異なりますが、耐火性能を確認しております。ご使用の際には事前に所轄の行政機関へご確認お願い致します。(ケーブル直でも同様です)
	施工応用例②に関する質問
2	施工応用例のように、電線管が貫通する壁側にコンセントボックスを設置する場合に本認定は適用可能でしょうか?
	回答
	認定の施工方法とは異なりますが、耐火性能を確認しております。ご使用の際には事前に所轄の行政機関へご確認お願い致します。(ケーブル直でも同様です)

<施工応用例-①>



<施工応用例-②>



※片壁は48ページを参照ください。

備考
本認定は国土交通大臣認定の制度に伴い、ケーブルが壁面を貫通した状態の試験に基づく認定となっています。
スイッチカバーをつけた状態では区画貫通として扱われませんが、この状態の耐火性能は確認しております。
尚、ご使用の際には事前に所轄の行政機関へご確認をお願い致します。

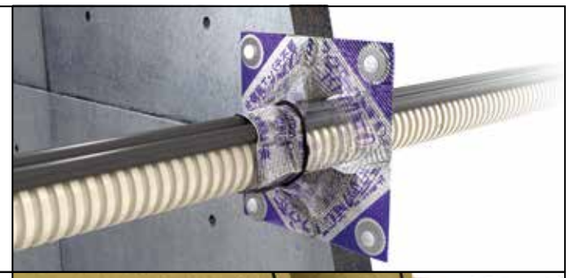
製品一覧
工法選定早見表 製品別
工法選定早見表 施工箇所別
NEO 工法一覧
NEO 直ケーブル・PF/CD管(混合可)
NEO コンセントボックス(中空壁)
NEO 共住区画 直ケーブル・PF/CD管(混合可)
PF管テープ/PF管シート 工法一覧
PF管テープ/PF管シート ケーブル
PF管テープ/PF管シート PF/CD 管
PF管テープ/PF管シート 直ケーブル・PF/CD 管(混合)
PF管テープ/PF管シート 共住区画 直ケーブル・PF/CD管(混合)
PF管テープ/PF管シート 共住区画 CD管埋設工法
PF管テープ/PF管シート コンセントボックス(中空壁)
鋼製電線管用 工法一覧
鋼製電線管用 ケーブルのみ
鋼製電線管用 直ケーブル・PF/CD 管(混合可)
鋼製電線管用 異種管継手
遮音シート コンセントボックス(耐火遮音)
コンセントボックスSW用キット(片壁用)
丸穴貫通(床用)キット
プロセレクトキット 工法一覧
プロセレクトキット ケーブルラック
プロセレクトキット バスダクト
延焼防止シート
関連法規
Q&A

フィブロックNEO® PF管・ケーブル貫通用

（一財）日本消防設備安全センター性能評定品
KK2023-016、KK2023-017

セキスイ熱膨張耐火材 フィブロック®

フィブロックNEO
片側施工（ALC/RC壁用）



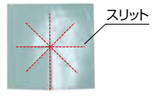
両側施工（中空壁用）

マンション等※の共住区画（壁）にご使用いただけます。

※総務省令第40号で定められる特定共同住宅等の防火対象物

- ALC/コンクリート壁・中空壁に対応。
- パテ埋め不要で簡単・確実施工。追加配線が容易に!

★NEOシート裏面
NEOシートにはスリットが入っています



製品仕様

品名 フィブロックNEO®		品番	1開口当たりの内容					梱包単位	
			フィブロックNEOシート 厚み×縦×横（㎜）	枚数	ビス	ワッシャー	被覆付針金	個包装	外箱（段ボール）
片側施工（評定品）	φ61㎜以下	SKCCC07	4×110×110	1枚	呼び径4 長さ40㎜ 4本	外径φ20 厚さ1㎜ 4個	300㎜×1本	10開口分/袋	50開口分/ケース
両側施工（評定品）	φ65㎜以下	SKCCC08	3×110×110	2枚	呼び径4 長さ25㎜ 8本	外径φ20 厚さ1㎜ 8個	300㎜×2本	5開口分/袋	25開口分/ケース

※ ビス・ワッシャー（各100個入）の注文も可能です。【品番:HCJM005（片側施工用）、HCJM006（両側施工用）】
注）（一財）日本消防設備安全センター性能評定専用品

適用範囲

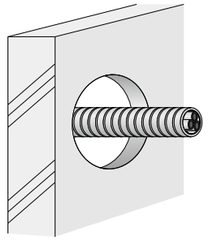
評定番号			KK2023-017号	KK2023-016号
壁の仕様（国土交通大臣が指定もしくは認定した壁）			ALC/コンクリート壁	中空壁（両面強化石こうボード12.5㎜以上2枚重ね張り）
			厚100㎜以上	厚100㎜以上
開口		形状	円　形	
		寸法	φ61㎜以下	φ65.3㎜以下
貫通物	ケーブル	導体（又は芯線）の断面積	38㎟以下（1本あたり）	
		備考	適用ケーブルの詳細は評定書をご参照ください	
	合成樹脂製可とう電線管	PF管	呼び径42（外径52㎜）以下	呼び径54（外径64.5㎜）以下
		CD管	呼び径54（外径60㎜）以下	呼び径54（外径60㎜）以下
		本数	1本まで	

標準施工例 PF/CD管・ケーブル貫通工法（壁）

◎施工手順

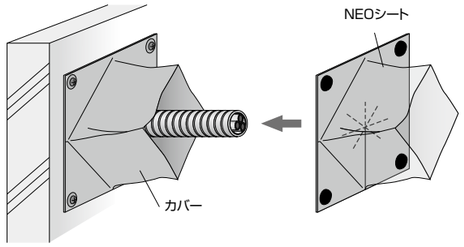
1.電気配線等の敷設
- 壁躯体に開口部を設置します。（ALC/RC壁:φ61㎜以下、中空壁:φ65.3㎜以下）
- 電気配線等を開口の中心に敷設します。

※複数の配線を貫通させる場合、ひとつにまとめて配線してください。



2.NEOシートの設置
- NEOシートの離型紙を剥がして、切れ込みを電気配線等に沿わせて配置します。
- 付属のビス、ワッシャーを用いて、NEOシートの4隅を躯体に留め付けます。

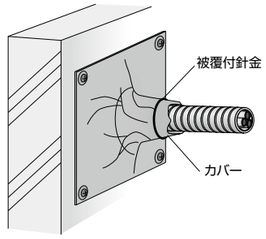
※NEOシートの●印を目安に留め付けてください。
※NEOシートは開口の端から+20mm以上確保してください。



●使用するNEOシート

ALC/RC壁	NEOシート（紫色）	片側施工
中空壁	NEOシート（ピンク色）	両側施工

3.カバー（アルミニウムはく張ガラスクロス）の固定
- カバーを電気配線等に沿わせ、施工側から反対側への隙間が生じないように包み込んでください。
- カバー端部を付属の被覆付針金で電気配線等に縛り付け、固定してください。

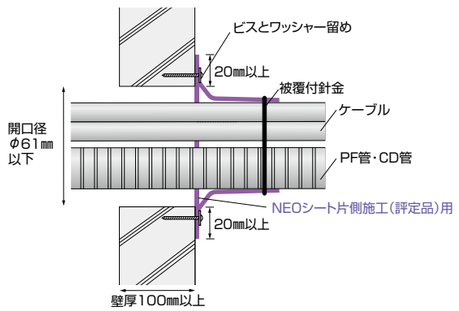


ポイント
- 付属のビスとワッシャーをご使用ください。
- NEOシートの●印を留付目安にしてください。
- コンクリートの場合は、必ず下穴をあけてからご使用ください。

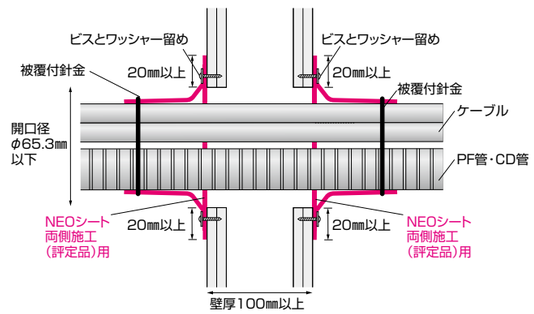
◆開口部の「充てん材」は不要です。
◆中空壁の場合は反対側も同様に施工してください。

標準施工図

●KK2023-017の場合（ALC/コンクリート壁）



●KK2023-016の場合（中空壁）



製品一覧
工法選定早見表 製品別
工法選定早見表 施工箇所別
NEO：工法一覧／直ケーブル・PF/CD管（混合可）／コンセントボックス（中空壁）
NEO 共住区画：直ケーブル・PF/CD管（混合可）
PF管テープ/PF管シート：工法一覧／ケーブル／PF/CD管／直ケーブル・PF/CD管（混合）／共住区画：直ケーブル・PF/CD管（混合）／CD管埋設工法／コンセントボックス（中空壁）
鋼製電線管用：工法一覧／ケーブルのみ／直ケーブル・PF/CD管（混合可）／異種管継手／コンセントボックス（耐火遮音）
遮音シート
コンセントボックスSW用キット（片壁用）
丸穴貫通（床用）キット
プロセレクトキット：工法一覧／ケーブルラック／バスダクト
延焼防止シート
関連法規
Q&A

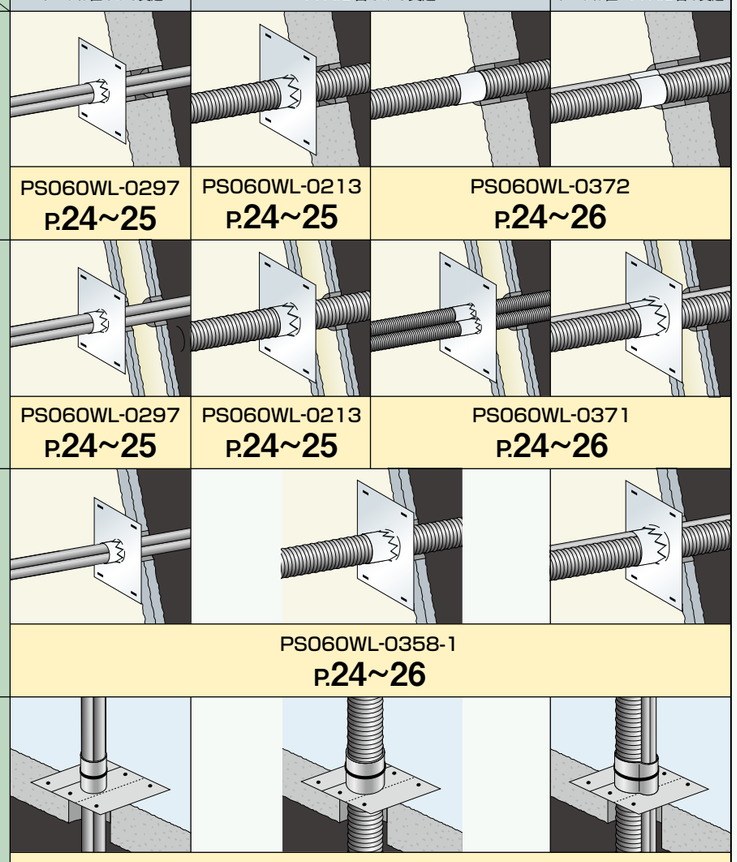
PF管・ケーブル貫通用

PF管・ケーブル貫通用　工法一覧表
（PF管テープ・PF管シート）

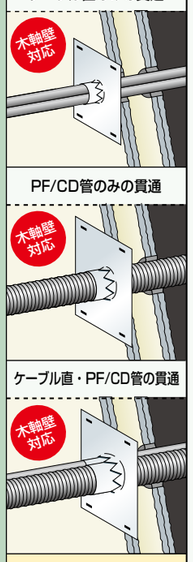
セキスイ熱膨張耐火材 フィブロック®

国土交通省大臣認定（建築基準法関連）

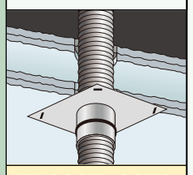
	ケーブル直のみの貫通	PF/CD管のみの貫通	ケーブル直・PF/CD管の貫通
ALC/コンクリート壁	PS060WL-0297 P.24~25	PS060WL-0213 P.24~25	PS060WL-0372 P.24~26
中空壁	PS060WL-0297 P.24~25	PS060WL-0213 P.24~25	PS060WL-0371 P.24~26
片壁	PS060WL-0358-1 P.24~26		
ALC/コンクリート床	PS060FL-0638 P.27~28		



	ケーブル直のみの貫通	PF/CD管のみの貫通	ケーブル直・PF/CD管の貫通
準耐火45分壁	木軸壁対応	木軸壁対応	木軸壁対応
	PS045WL-0567 P.24~26		

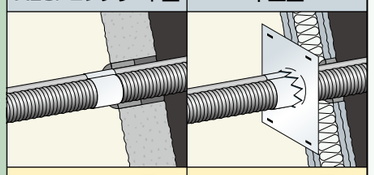


	PF管のみ貫通
中空床	PS060FL-0856 P.29~30



（一財）日本消防設備安全センター性能評定（消防法関連）

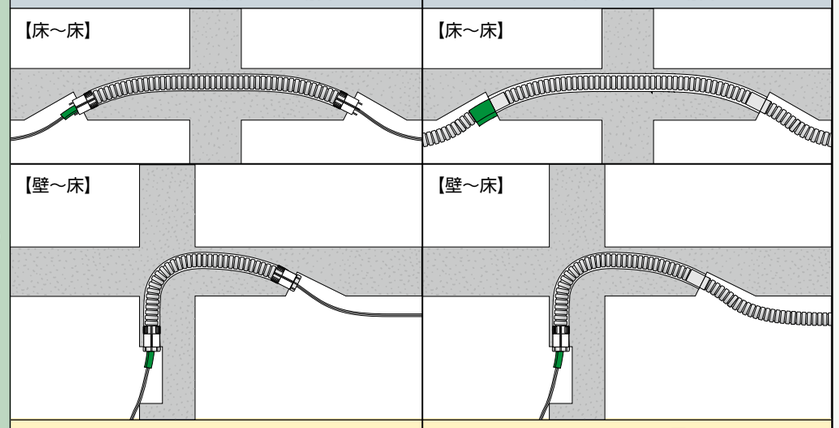
	ALC/コンクリート壁	中空壁
ケーブル直・PF管/CD管（混合可）	KK19-144号 P.33	KK19-145号 P.33



補助材

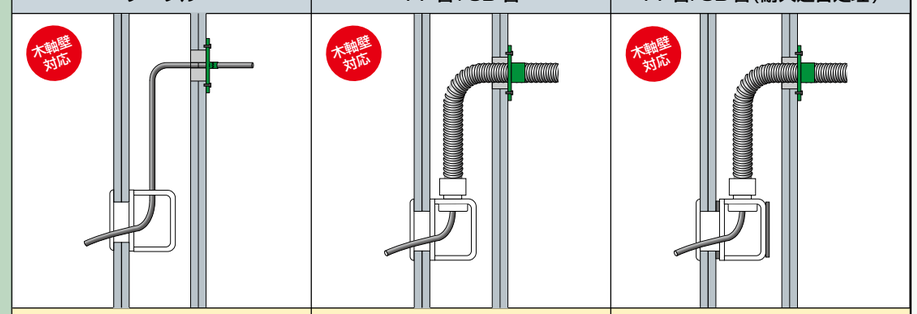
セキスイ耐火パテ
（NCJM001）

	ケーブルが直接出ている場合	CD管が出ている場合
サブウェイ（埋設CD管）	KK21-003号 P.34	KK21-004号 P.34



国土交通省大臣認定（建築基準法関連）

	中空壁/準耐火45分壁		
	ケーブル	PF管/CD管	PF管/CD管（耐火遮音処理）
コンセントボックス	PS060WL-0803·0802 PS045WL-0801 P.31～32	PS060WL-0711·0712 PS045WL-0713 P.31～32	PS060WL-0750·0751 PS045WL-0752 P.43～46



製品一覧
工法選定早見表 製品別
工法選定早見表 施工箇所別
NEO 工法一覧
NEO 直ケーブル・PF/CD管（混合可）
NEO コンセントボックス（中空壁）
NEO 共住区画 直ケーブル・PF/CD管（混合可）
PF管テープ/PF管シート 工法一覧
PF管テープ/PF管シート ケーブル
PF管テープ/PF管シート PF/CD管
PF管テープ/PF管シート 直ケーブル・PF/CD管（混合）
PF管テープ/PF管シート 共住区画 直ケーブル・PF/CD管（混合）
PF管テープ/PF管シート 共住区画 CD管埋設工法
PF管テープ/PF管シート コンセントボックス（中空壁）
鋼製電線管用 工法一覧
鋼製電線管用 ケーブルのみ
鋼製電線管用 直ケーブル・PF/CD管（混合可）
鋼製電線管用 異種管継手
遮音シート コンセントボックス（耐火遮音）
コンセントボックスSW用キット（片壁用）
丸穴貫通（床用）キット
プロセレクトキット 工法一覧
プロセレクトキット ケーブルラック
プロセレクトキット バスダクト
延焼防止シート
関連法規
Q&A

PF管・ケーブル貫通用

国土交通大臣認定品
PS060WL-0213、PS060WL-0297、PS060WL-0358-1、
PS060WL-0371、PS060WL-0372、PS045WL-0567

セキスイ熱膨張耐火材
フィブロック®

柔軟で薄いテープ・シート状の区画貫通用耐火材。簡単でスピーディーな施工を実現します。

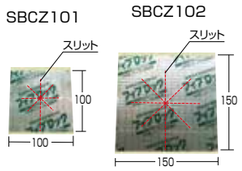
- ●中空壁、強化せっこうボード片側2枚張り間仕切り壁の貫通部にも使用できます。
- ●フィブロックPF管テープ・シートの施工は片側のみでOKです。
- ●PF管・CD管の有無にかかわらず使用できます。
- ●マンション壁の貫通部へも使用できます。（P33参照）

製品仕様

品　名	品　番	サイズ（厚さ×幅×長さ）	梱包単位	
			個包装	外箱(段ボール)
PF管テープ	TBCZ014	2㎜×50㎜×2m	1巻/箱	12箱/ケース
PF管シート	SBCZ001	1㎜×150㎜×150㎜	10枚/箱	10箱/ケース
★PF管シート S100	SBCZ101	1㎜×100㎜×100㎜	10枚/袋	10袋/ケース
★PF管シート S150	SBCZ102	1㎜×150㎜×150㎜	10枚/袋	10袋/ケース

★スリット入りPF管シート

切れ目が入りハサミやカッターが不要です。



<参考>PF管テープ(TBCZ014) 1巻の施工箇所数目安

管サイズ	φ16	φ22	φ28	φ36
箇 所 数	21	17	14	12

●充てん材

セキスイ 耐火パテ

- ●柔軟で施工性に優れています。
- ●非硬化性で再施工が容易です。

製品仕様

品　名	品　番	入　数
セキスイ 耐火パテ	NCJM001	500g×10袋/ケース

用途・適用範囲

〈推奨使用部位〉■フィブロック　PF管　開口部　充填用
フィブロック　鋼製電線管用　開口部　充填用としては、鋼製電線管の支持が実施されている場合に、ご使用になれます。

※上記用途以外にご使用される場合は事前にお問い合わせください。

適用範囲

貫通物			ケーブル直のみ	PF管/CD管のみ
貫通部位			壁	
国土交通大臣認定番号			PS060WL-0297	PS060WL-0213
開口部		寸法	φ110㎜以下	
		形状	円形	
壁の仕様（国土交通大臣が指定もしくは認定した壁）			①中空壁（準耐火構造 60分、耐火構造 60分）：厚100㎜以上 ②ALC壁：厚75㎜以上 ③コンクリート壁：厚70㎜以上	
ケーブル・配管	ケーブル	導体（又は芯線）の断面積	60㎟以下（1本あたり）	38㎟以下（1本あたり）
	合成樹脂製可とう電線管（JIS C 8411）	PF管/CD管	貫通不可	呼び径 PF管/CD管36以下
		本数		3本以下
占積率*			34.0%以下	51.3%以下
充てん材			耐熱シール材（セキスイ耐火パテ等）/石こう系接着剤/石こうボード目地処理材/モルタル（ALC/コンクリート壁のみ）	
標準施工図			25ページ	25ページ

＊開口面積に対するケーブル・電線管の断面積総合計の割合

貫通物			ケーブル直・PF/CD管（混合可）			
貫通部位			壁			
国土交通大臣認定番号			PS060WL-0371	PS060WL-0372	PS060WL-0358-1	PS045WL-0567
開口部		寸法	φ110㎜以下			
		形状	円形			
壁の仕様（国土交通大臣が指定もしくは認定した壁）			・中空壁（グラスウール充てん両面強化石こうボード重張軽量鉄骨下地間仕切壁） ・耐火構造60分の壁 厚100㎜以上	ALC/コンクリート壁 厚100㎜以上	片壁（片面強化石こうボード重張）厚42㎜以上	準耐火45分壁 厚74㎜以上
ケーブル・配管	ケーブル	導体（又は芯線）の断面積	38㎟以下（1本あたり）		60㎟以下（1本あたり）	
	合成樹脂製可とう電線管（JIS C 8411）	PF管/CD管	PF管 呼び径36（外径45.5㎜）以下 / CD管 呼び径42（外径48㎜）以下			
		本数	本数制限無し			
占積率*			26.3%以下		45.1%以下	54.3%以下
充てん材			耐熱シール材（セキスイ耐火パテ等）		セキスイ耐火パテ（NCJM001）	
標準施工図			25～26ページ	25～26ページ	25～26ページ	26ページ

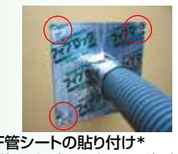
＊開口面積に対するケーブル・電線管の断面積総合計の割合

施工方法例

PF管が貫通する場合
（写真：占積率 約36%）

①開口部の埋め戻し
●壁の両側の開口部をセキスイ耐火パテ等で充てんします。

②PF管テープの巻き付け
●PF管テープをPF管の根元部分に隙間があかないように1周巻き付けます。



③PF管シートの貼り付け*
●PF管シートに切り目を入れて貼り付けます。
●シートの4隅をビスまたはタッカーで固定します。

ケーブルが直接貫通する場合
（写真：占積率 約15%）

①開口部の埋め戻し
●壁の両側の開口部をセキスイ耐火パテ等で充てんします。

②PF管テープの巻き付け
●PF管テープをケーブルの根元部分に隙間があかないように1周巻き付けます。

③PF管シートの貼り付け*
●PF管シートに切り目を入れて貼り付けます。
●シートの4隅をビスまたはタッカーで固定します。

※詳しくは認定書をご確認ください。

＊PS060WL-0372の場合はPF管シートは不要になります。

製品一覧
工法選定早見表 製品別
工法選定早見表 施工箇所別
NEO 工法一覧
NEO 直ケーブル・PF/CD管（混合可）
NEO コンセントボックス（中空壁）
NEO 共住区画 直ケーブル・PF/CD管（混合可）
PF管テープ/PF管シート 工法一覧
PF管テープ/PF管シート ケーブル
PF管テープ/PF管シート PF/CD管
PF管テープ/PF管シート 直ケーブル・PF/CD管（混合）
PF管テープ/PF管シート 共住区画 直ケーブル・PF/CD管（混合）
PF管テープ/PF管シート 共住区画 CD管埋設工法
PF管テープ/PF管シート コンセントボックス（中空壁）
鋼製電線管用 工法一覧
鋼製電線管用 ケーブルのみ
鋼製電線管用 直ケーブル・PF/CD管（混合可）
鋼製電線管用 異種管継手
遮音シート コンセントボックス（耐火遮音）
コンセントボックスSW用キット（片壁用）
丸穴貫通（床用）キット
プロセレクトキット 工法一覧
プロセレクトキット ケーブルラック
プロセレクトキット バスダクト
延焼防止シート
関連法規
Q&A

ケーブル区画貫通措置部材

PF管・ケーブル貫通用

国土交通大臣認定品
PS060WL-0213、PS060WL-0297、PS060WL-0358-1、
PS060WL-0371、PS060WL-0372、PS045WL-0567

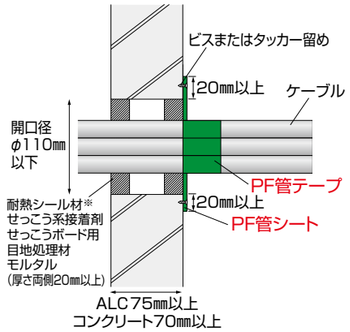
セキスイ熱膨張耐火材 フィブロック®

標準施工図

ケーブル直のみ貫通の場合

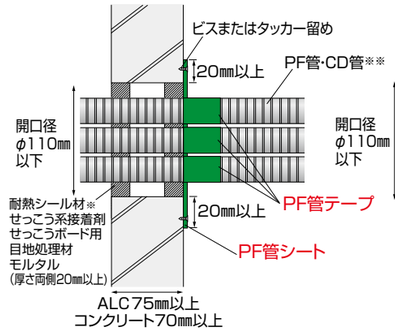
ALC／コンクリート壁

●PS060WL-0297の場合
（ALC/コンクリート壁）



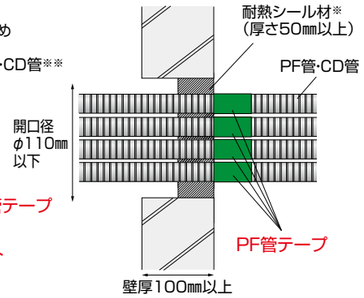
PF管/CD管のみ貫通の場合

●PS060WL-0213の場合
（ALC/コンクリート壁）



**PF/CD管3本まで

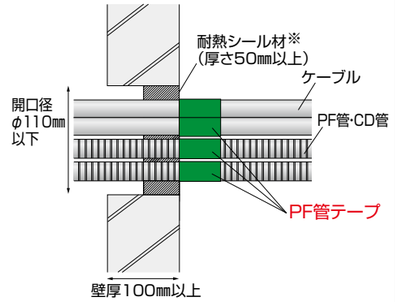
●PS060WL-0372の場合
（ALC/コンクリート壁）



◆PF管シートは不要です。

ケーブル直・PF/CD管（混合）貫通の場合

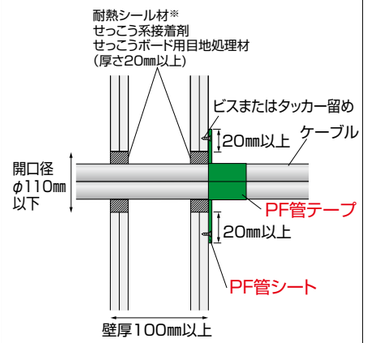
●PS060WL-0372の場合
（ALC/コンクリート壁）



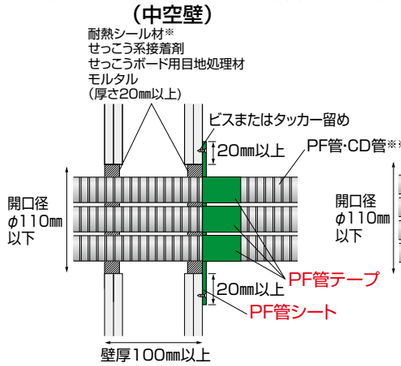
◆PF管シートは不要です。

中空壁

●PS060WL-0297の場合
（中空壁）

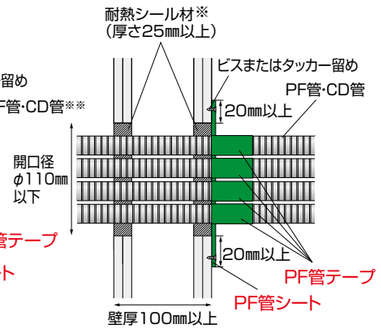


●PS060WL-0213の場合
（中空壁）

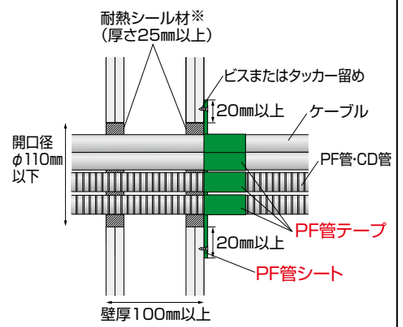


**PF/CD管3本まで

●PS060WL-0371の場合
（中空壁）

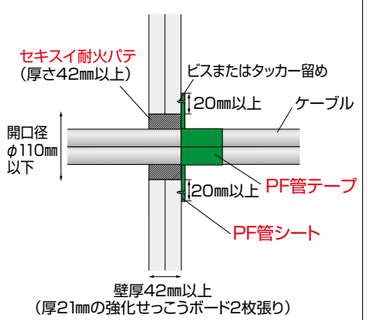


●PS060WL-0371の場合
（中空壁）

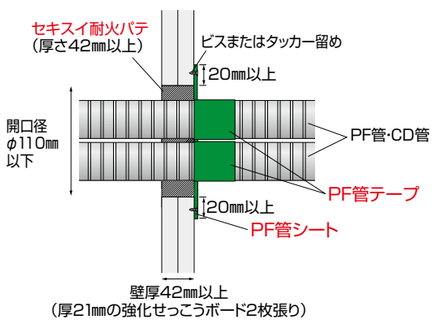


片壁

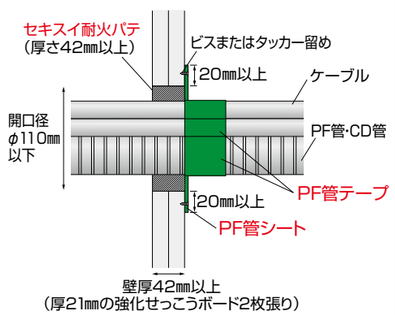
●PS060WL-0358-1の場合
（片壁）



●PS060WL-0358-1の場合
（片壁）



●PS060WL-0358-1の場合
（片壁）

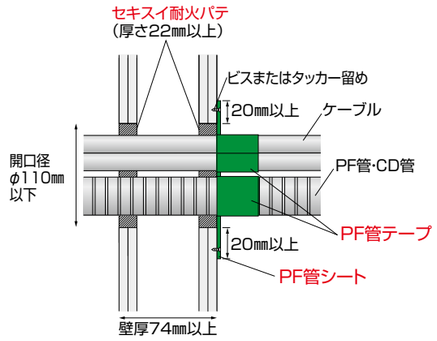


標準施工図

ケーブル直・PF/CD管（混合）貫通の場合

準耐火45分壁

●PS045WL-0567の場合
（準耐火45分壁）



◆ケーブル直・PF/CD管（混合）貫通の場合、
ケーブル直のみ、PF/CD管のみの貫通も可能です。

製品仕様

品　名	品　番	サイズ（厚さ×幅×長さ）	梱包単位	
			個包装	外箱(段ボール)
PF管テープ	TBCZ014	2㎜×50㎜×2m	1巻/箱	12箱/ケース
PF管シート	SBCZ001	1㎜×150㎜×150㎜	10枚/箱	10箱/ケース
★PF管シート S100	SBCZ101	1㎜×100㎜×100㎜	10枚/袋	10袋/ケース
★PF管シート S150	SBCZ102	1㎜×150㎜×150㎜	10枚/袋	10袋/ケース
セキスイ耐火パテ	NCJM001	500g/袋		10袋/ケース

★スリット（切れ目）が入りハサミやカッターが不要です。

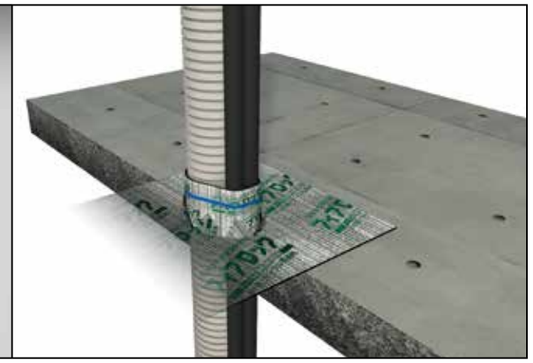
※耐熱シール材は「セキスイ耐火パテ（NCJM001）」（P23参照）を推奨します。

ケーブル区画貫通措置部材

PF管・ケーブル貫通用

国土交通大臣認定品　PS060FL-0638

セキスイ熱膨張耐火材 フィブロック®



ALC/コンクリート床にもご使用いただけます。

●耐火パテ充てんが不要です。
●PF管 / CD管とケーブルの同時貫通が可能です。

製品仕様

品　名（品　番）	サイズ（厚さ×幅×長さ）
PF管テープ（TBCZ014）	2㎜×50㎜×2m
PF管シート（SBCZ001）	1㎜×150㎜×150㎜

※床の場合、PF管シートはスリット（切れ目）なし品（SBCZ001）をご使用ください。

適用範囲

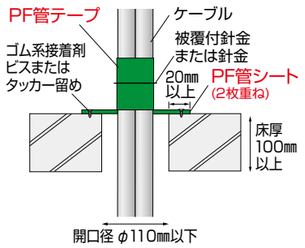
国土交通大臣認定番号			PS060 FL-0638
開口部		寸法	φ110㎜以下
		形状	円形
床の仕様（国土交通大臣が指定もしくは認定した床）			ALC/コンクリート床 厚100㎜以上
ケーブル・配管	ケーブル	導体（又は芯線）の断面積	60㎟以下（1本あたり）
	合成樹脂製可とう電線管（JIS C 8411）	PF管/CD管	呼び径PF管36以下/CD管42以下
		本数	制限無し
占積率*			79.0%以下
充てん材			不要（ただしPF管シートは2枚必要）

＊開口面積に対するケーブル・電線管の断面積総合計の割合

標準施工図

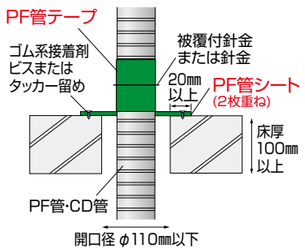
●PS060FL-0638の場合（ALC/コンクリート床）

ケーブル直のみの貫通



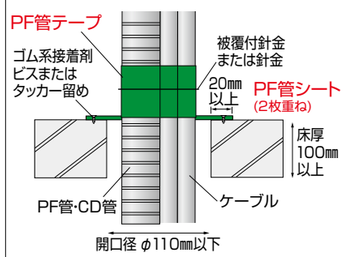
◆充てん材は不要です。

PF管/CD管のみの貫通



◆充てん材は不要です。

ケーブル直・PF/CD管混合貫通



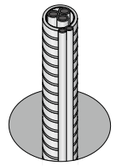
◆充てん材は不要です。

標準施工方法

◆PF管シート、PF管テープの順で必ず施工してください。

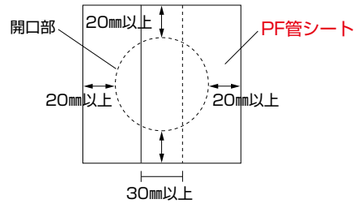
① 電線管・ケーブルの敷設

●開口部を設置します（直径110㎜以下）。
●電線管・ケーブルを敷設します。

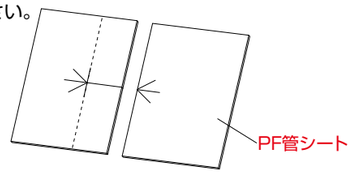


② PF管シートの貼り付け

●PF管シートを貼り付ける位置の埃・汚れを除去します。
●必要サイズのPF管シートを2枚用意します。サイズは開口部の端から20㎜以上、かつ2枚のシートが中央部で30㎜以上重なるサイズとしてください。



●電線管・ケーブルの本数・サイズに合わせて切り目を入れてください。

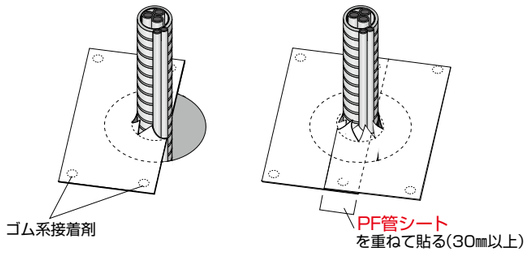


●開口部の端から20㎜以上、かつ2枚のシートが中央部で30㎜以上重なるように設置します。

③ PF管シートの固定

＜コンクリート専用のゴム系接着剤で固定する場合＞

●1枚目のシートの4隅に接着剤を塗布して床に固定します。
●さらに、2枚目のシートの4隅に接着剤を塗布し、1枚目のシートと30㎜以上重なるように設置し、床に固定します。

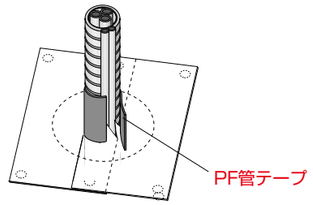


＜ステープルまたはコンクリートビスで固定する場合＞

●2枚目のシートを所定の位置に設置します。
●ステープルまたはコンクリートビスで6カ所以上を固定します。

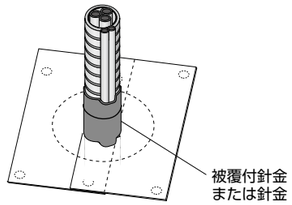
④ PF管テープの巻き付け

●PF管テープを巻く位置の埃・汚れを除去します。
●電線管・ケーブルにPF管テープを1周以上巻き付けます。

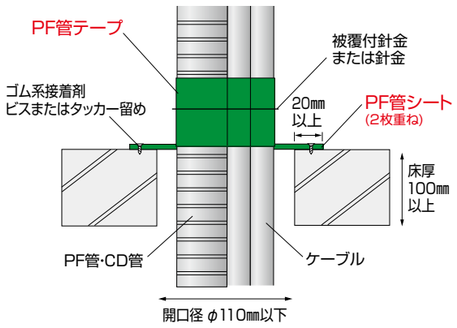


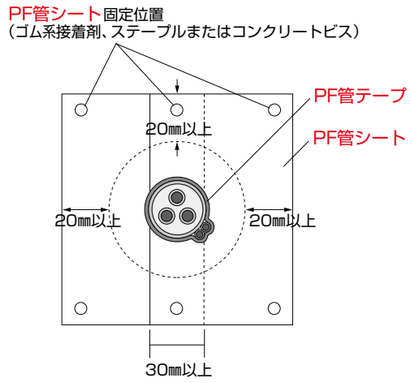
⑤ 仕上げ

●電線管・ケーブルにPF管テープが巻かれた部分を被覆付針金または 針金で固定します。



◎ 標準施工状態





製品一覧
工法選定早見表 製品別
工法選定早見表 施工箇所別
NEO 工法一覧
NEO 直ケーブル・PF/CD管（混合可）
NEO コンセントボックス（中空壁）
NEO 共住区画 直ケーブル・PF/CD管（混合可）
PF管テープ/PF管シート 工法一覧
PF管テープ/PF管シート ケーブル
PF管テープ/PF管シート PF/CD管
PF管テープ/PF管シート 直ケーブル・PF/CD管（混合）
PF管テープ/PF管シート 共住区画 直ケーブル・PF/CD管（混合）
PF管テープ/PF管シート 共住区画 CD管埋設工法
PF管テープ/PF管シート コンセントボックス（中空壁）
鋼製電線管用 工法一覧
鋼製電線管用 ケーブルのみ
鋼製電線管用 直ケーブル・PF/CD管（混合可）
鋼製電線管用 異種管継手
遮音シート コンセントボックス（耐火遮音）
コンセントボックスSW用キット（片壁用）
丸穴貫通（床用）キット
プロセレクトキット 工法一覧
プロセレクトキット ケーブルラック
プロセレクトキット バスダクト
延焼防止シート
関連法規
Q&A

ケーブル区画貫通措置部材

PF管・ケーブル貫通用

国土交通大臣認定品　PS060FL-0856

セキスイ熱膨張耐火材 フィブロック®

中空床にもご使用いただけます。

●鋼製スリーブレスにより下開口位置がずれても施工可能です。
●床厚233.5㎜にも対応可能です。

製品仕様

品　名	品　番	サイズ（厚さ×幅×長さ）	梱包単位	
			個包装	外箱(段ボール)
PF管テープ	TBCZ014	2㎜×50㎜×2m	1巻/箱	12箱/ケース
PF管シート	SBCZ001	1㎜×150㎜×150㎜	10枚/箱	10箱/ケース
★PF管シート S100	SBCZ101	1㎜×100㎜×100㎜	10枚/袋	10袋/ケース
★PF管シート S150	SBCZ102	1㎜×150㎜×150㎜	10枚/袋	10袋/ケース

★スリット（切れ目）が入りハサミやカッターが不要です。

補助材

充てん材	シリコーン系シーリング材　60g/m以上 （推奨品 積水フーラー製 セキスイシリコーンシーラント）
バックアップ材（有or無）	ポリスチレン系発泡材　密度22kg/m³以下
固定材	バインド線、樹脂バンド等

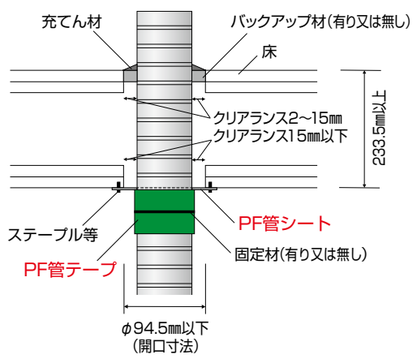
製品仕様

国土交通大臣認定番号		PS060FL-0856
開口部	寸法	φ94.5㎜以下
	形状	円形
床の仕様（国土交通大臣が指定もしくは認定した床）		中空床（準耐火構造 60分、耐火構造60分）厚 233.5 ㎜以上
ケーブル	導体(又は芯線)の断面積	60 ㎟ 以下（1本あたり）
合成樹脂製可とう電線管(JIS C 8411)	PF管	呼び径 54（外径64.5㎜）以下
占積率*		59.4% 以下
電線管と床の隙間の寸法（クリアランス）	床上部	2～15 ㎜
	床下部	0～15 ㎜

*電線管外面積に対するケーブル断面積の割合。

標準施工図

PS060FL-0856



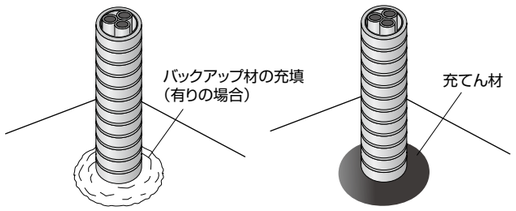
標準施工方法（床）

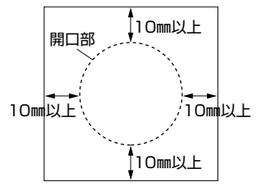
1.電線管の敷設

●開口部を設置します。
●PF管を敷設します。

2.床上側の施工

●バックアップ材の上に充てん材※を施工します。
※ 推奨材料：積水フーラー社製　セキスイシリコーンシーラント

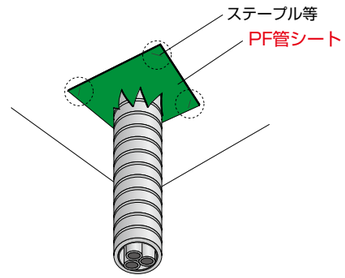




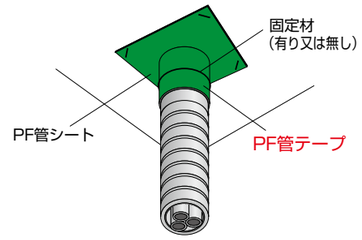
3.床下側の施工

●PF管シートを貼り付ける位置の埃･汚れを除去します。
●PF管シートを開口部の端から10㎜以上と なるように施工します。

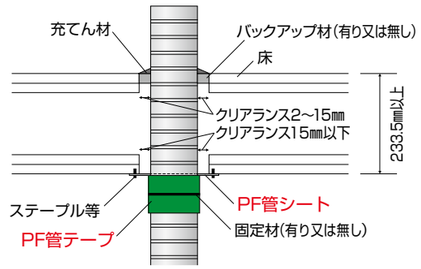
●PF管のサイズに合わせてPF管シートに切れ目を入れた後ステープル等を用いて床に固定します。



●PF管テープを巻き付け、固定材を用いて固定します。

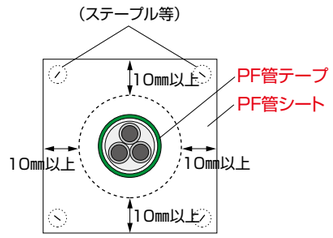


◎ 標準施工状態

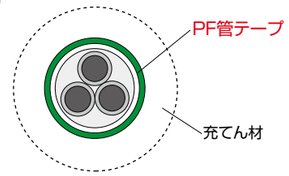


●床下側

<PF管シート固定位置>



●床下側



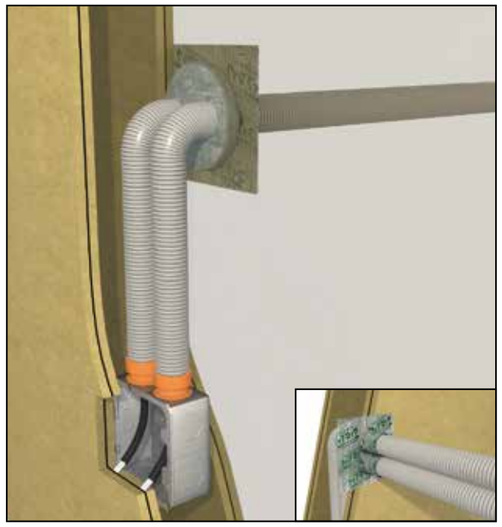
製品一覧
工法選定早見表 製品別
工法選定早見表 施工箇所別
NEO 工法一覧
NEO 直ケーブル・PF/CD管（混合可）
NEO コンセントボックス（中空壁）
NEO 共住区画 直ケーブル・PF/CD管（混合可）
PF管テープ/PF管シート 工法一覧
PF管テープ/PF管シート ケーブル
PF管テープ/PF管シート PF/CD 管
PF管テープ/PF管シート 直ケーブル・PF/CD 管（混合）
PF管テープ/PF管シート 共住区画 直ケーブル・PF/CD管（混合）
PF管テープ/PF管シート 共住区画 CD管 埋設工法
PF管テープ/PF管シート コンセントボックス（中空壁）
鋼製電線管用 工法一覧
鋼製電線管用 ケーブルのみ
鋼製電線管用 直ケーブル・PF/CD 管（混合可）
鋼製電線管用 異種管継手
遮音シート コンセントボックス（耐火遮音）
コンセントボックス SW 用キット（片壁用）
丸穴貫通（床用）キット
プロセレクトキット 工法一覧
プロセレクトキット ケーブルラック
プロセレクトキット バスダクト
延焼防止シート
関連法規
Q&A

ケーブル区画貫通措置部材

PF管・ケーブル貫通用

国土交通大臣認定品
PS060WL-0711、PS060WL-0712、PS045WL-0713
PS060WL-0802、PS060WL-0803、PS045WL-0801

セキスイ熱膨張耐火材
フィブロック®



製品仕様

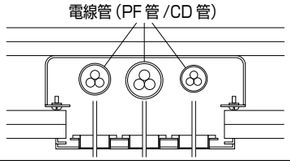
品　名	品　番	サイズ（厚さ×幅×長さ）
PF管テープ	TBCZ014	2㎜×50㎜×2m
PF管シート	SBCZ001	1㎜×150㎜×150㎜
★PF管シートS100	SBCZ101	1㎜×100㎜×100㎜
★PF管シートS150	SBCZ102	1㎜×150㎜×150㎜
セキスイ耐火パテ	NCJM001	500g/袋

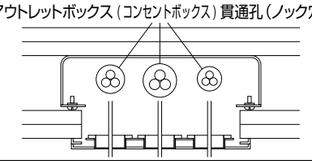
★スリット（切れ目）が入りハサミやカッターが不要です。

中空壁の防火区画に設置する
コンセントボックスの処理に
ご使用いただけます。

適用範囲

貫通物		PF管/CD管			ケーブル直		
国土交通大臣認定番号		PS060WL-0711	PS060WL-0712	PS045WL-0713	PS060WL-0803	PS060WL-0802	PS045WL-0801
壁の仕様（国土交通大臣が指定もしくは認定した壁）		中空壁：厚115㎜以上	中空壁：厚100㎜以上	準耐火45分壁：厚94㎜以上	中空壁：厚115㎜以上	中空壁：厚100㎜以上	準耐火45分壁：厚94㎜以上
開口寸法	配管側/ケーブル側	φ110㎜以下	φ110㎜以下	φ110㎜以下	φ110㎜以下	φ110㎜以下	φ110㎜以下
アウトレットボックス（コンセントボックス）	サイズ	6個用以下	3個用以下		6個用以下	3個用以下	
	寸法	320(±4)×117(±4)×54(±4)㎜以下	182(±4)×117(±4)×44(±4)㎜以下		320(±4)×117(±4)×54(±4)㎜以下	182(±4)×117(±4)×44(±4)㎜以下	
ケーブル	導体（又は芯線）の断面積	22㎟以下（1本あたり）			22㎟以下（1本あたり）		
充てん材		セキスイ耐火パテ			セキスイ耐火パテ		
合成樹脂製可とう電線管	PF管・CD管（JIS C 8411）	φ36.5㎜以下（呼び径28以下）	φ30.5㎜以下（呼び径22以下）		—	—	—
占積率		54.6%以下	54.6%以下	47.3%以下	38.1%以下	38.1%以下	27.9%以下
		電線管の開口面積（内径）に対するケーブル断面積の割合			アウトレットボックス（コンセントボックス）貫通孔の面積に対するケーブル断面積の総合計の割合		
		電線管（PF管/CD管）			アウトレットボックス（コンセントボックス）貫通孔（ノック穴）		



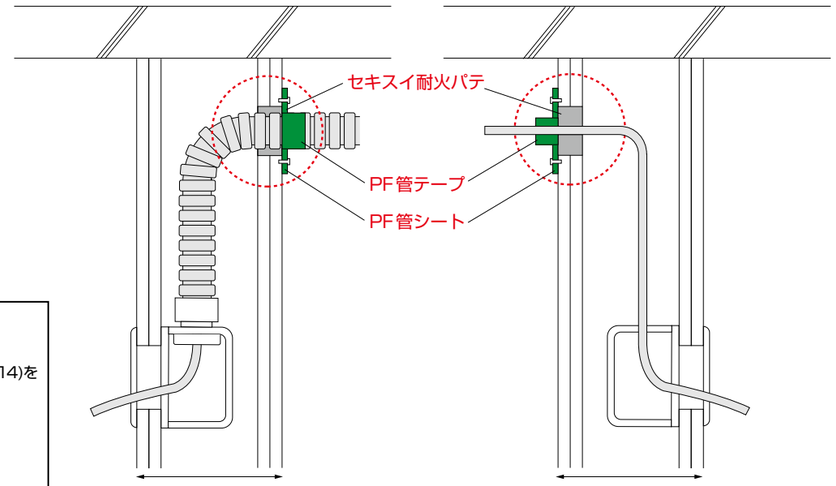


※詳しくは認定書をご確認ください。

標準施工図

●PS060WL-0711（6個用以下）
●PS060WL-0712（3個用以下）
●PS045WL-0713（準耐火45分壁:3個用以下）
●PS060WL-0803（6個用以下）
●PS060WL-0802（3個用以下）
●PS045WL-0801（準耐火45分壁:3個用以下）

【PF管・CD管】　【ケーブル】



PS060WL-0712
PS045WL-0713
PF管テープ（TBCZ014）を
PF/CD管へ、
3本までとも巻き可

PS060WL-0711：壁厚115㎜以上
PS060WL-0712：壁厚100㎜以上
PS045WL-0713：壁厚94㎜以上

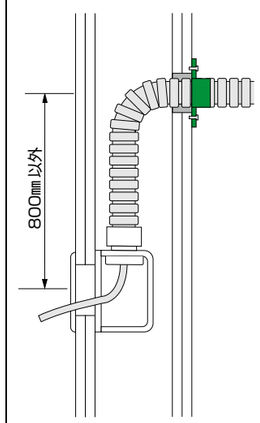
PS060WL-0803：壁厚115㎜以上
PS060WL-0802：壁厚100㎜以上
PS045WL-0801：壁厚94㎜以上

※樹脂製ボックスは使用しないでください。
※「セキスイ耐火パテ（NCJM001）」（P23参照）以外は使用しないでください。

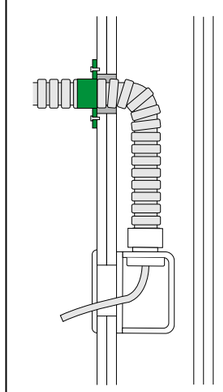
Q&A

No.	施工応用例①に関する質問
1	コンセントボックスと電線管が、壁を貫通する開口部の距離が800㎜以外の場合には本認定は適用可能でしょうか？
	回答
	認定の施工方法とは異なりますが、耐火性能を確認しております。ご使用の際には事前に所轄の行政機関へご確認をお願い致します。（ケーブル直でも同様です）
	施工応用例②に関する質問
2	施工応用例のように、電線管が貫通する壁側にコンセントボックスを設置する場合に本認定は適用可能でしょうか？
	回答
	認定の施工方法とは異なりますが、耐火性能を確認しております。ご使用の際には事前に所轄の行政機関へご確認をお願い致します。（ケーブル直でも同様です）

<施工応用例-①>



<施工応用例-②>



※片壁は48ページを参照ください。

備考　本認定は国土交通大臣認定の制度に伴い、ケーブルが壁面を貫通した状態の試験に基づく認定となっています。
スイッチカバーをつけた状態では区画貫通として扱われませんが、この状態の耐火性能は確認しております。
尚、ご使用の際には事前に所轄の行政機関へご確認をお願い致します。

製品一覧
工法選定早見表 製品別
工法選定早見表 施工箇所別
NEO 工法一覧
NEO 直ケーブル・PF/CD管（混合可）
NEO コンセントボックス（中空壁）
NEO 共住区画 直ケーブル・PF/CD管（混合可）
PF管テープ/PF管シート 工法一覧
PF管テープ/PF管シート ケーブル
PF管テープ/PF管シート PF/CD管
PF管テープ/PF管シート 直ケーブル・PF/CD管（混合）
PF管テープ/PF管シート 共住区画 直ケーブル・PF/CD管（混合）
PF管テープ/PF管シート 共住区画 CD管埋設工法
PF管テープ/PF管シート コンセントボックス（中空壁）
鋼製電線管用 工法一覧
鋼製電線管用 ケーブルのみ
鋼製電線管用 直ケーブル・PF/CD管（混合可）
鋼製電線管用 異種管継手
遮音シート コンセントボックス（耐火遮音）
コンセントボックスSW用キット（片壁用）
丸穴貫通（床用）キット
プロセレクトキット 工法一覧
プロセレクトキット ケーブルラック
プロセレクトキット バスダクト
延焼防止シート
関連法規
Q&A

ケーブル区画貫通措置部材

PF管・ケーブル貫通用

（一財）日本消防設備安全センター性能評定品
KK19-144号、KK19-145号

マンション壁（共住区画）へご使用の場合。

平成19年4月に消防法が改正され、共住区画（特定共同住宅の住戸等の床または壁）をケーブルが貫通するための耐火性能基準が告示化されました。平成19年4月1日以降に着工した特定共同住宅が適用になります。
従来の（一財）日本消防設備安全センター認定品についても新基準に満たない製品は使用ができなくなりました。

製品仕様

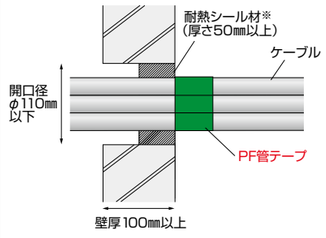
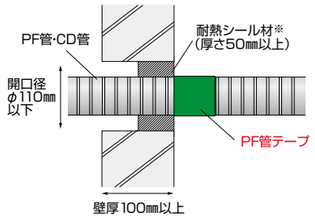
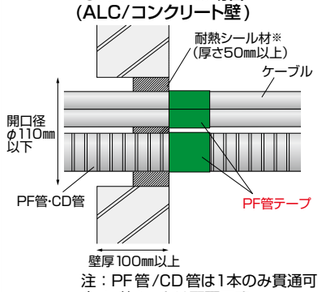
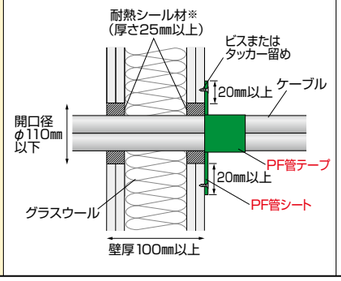
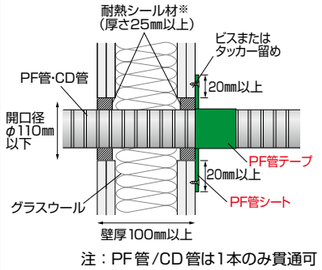
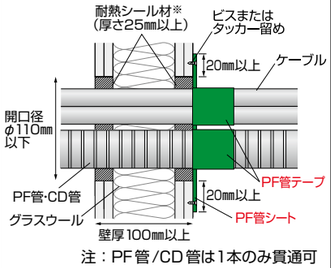
品　名	品　番	サイズ（厚さ×幅×長さ）
PF管テープ	TBCZ014	2㎜×50㎜×2m
PF管シート	SBCZ001	1㎜×150㎜×150㎜
★PF管シートS100	SBCZ101	1㎜×100㎜×100㎜
★PF管シートS150	SBCZ102	1㎜×150㎜×150㎜
セキスイ耐火パテ	NCJM001	500g/袋

★スリット（切れ目）が入りハサミやカッターが不要です。

適用範囲

貫通部位			壁	
（一財）日本消防設備安全センター性能評定			KK19-145号	KK19-144号
開口部		寸法	φ110㎜以下	
		形状	円形	
壁の仕様（国土交通大臣が指定もしくは認定した壁）			中空壁（グラスウール充てん 両面強化石こうボード 12.5㎜以上2枚重ね張り）厚100㎜以上	ALC/コンクリート壁：厚100㎜以上
ケーブル・配管	ケーブル	導体（又は芯線）の断面積	38㎟以下（1本あたり）	
		備考	適用ケーブルの詳細は評定書をご参照ください	
	合成樹脂製可とう電線管（JIS C8411）	PF管	呼び径36（外径45.5㎜）以下	
		CD管	呼び径42（外径48㎜）以下	
		本数	1本まで	
充てん材			耐熱シール材 詳細は評定書をご参照ください	

標準施工図

壁	ケーブル直のみ貫通の場合	PF管/CD管のみの貫通の場合	ケーブル直・PF/CD管（混合）貫通の場合
ALC/コンクリート壁	●KK19-144の場合（ALC/コンクリート壁）  ◆PF管シートは不要です。	●KK19-144の場合（ALC/コンクリート壁）  注：PF管/CD管は1本のみ貫通可 ◆PF管シートは不要です。	●KK19-144の場合（ALC/コンクリート壁）  注：PF管/CD管は1本のみ貫通可 ◆PF管シートは不要です。
中空壁	●KK19-145の場合（中空壁）  ※耐熱シール材は「セキスイ耐火パテ(NCJM001)」(P23参照)を推奨します。	●KK19-145の場合（中空壁）  注：PF管/CD管は1本のみ貫通可	●KK19-145の場合（中空壁）  注：PF管/CD管は1本のみ貫通可

ケーブル区画貫通措置部材

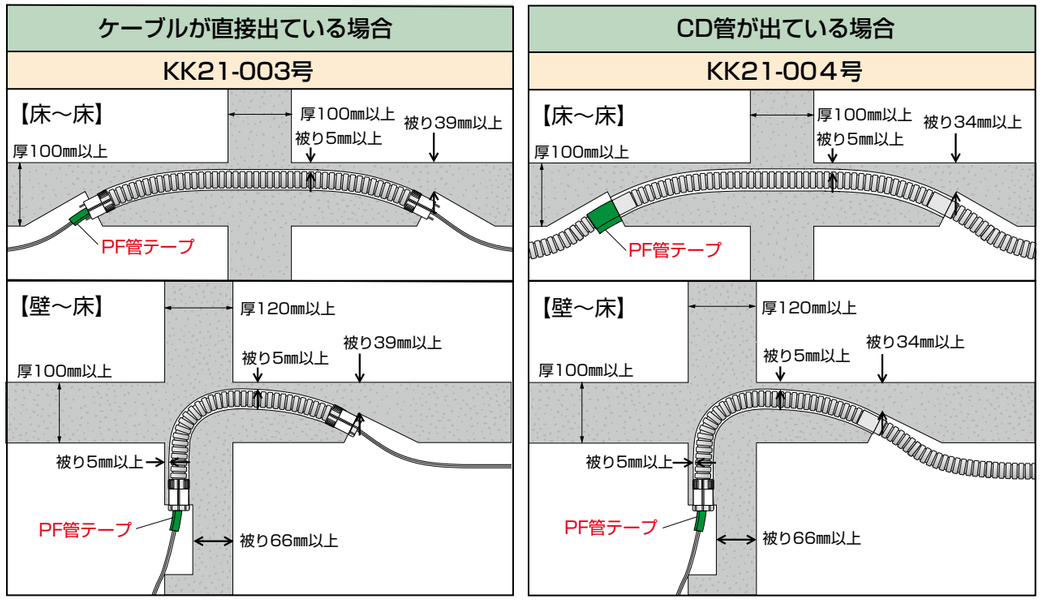
サブウェイ工法

（一財）日本消防設備安全センター性能評定品
KK21-003号、KK21-004号

国土交通大臣認定番号は取得していません。※

ケーブルスラブ埋設工法（サブウェイ工法）の貫通部にもご使用いただけます。

●片側施工です。（壁～床埋設は壁側に施工）



PF管テープは片側でOK　※被り：コンクリートの表面から間口までの厚さ

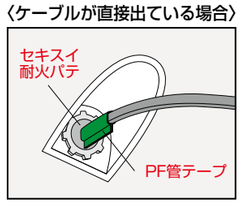
適用範囲

貫通部位			ケーブルが直接出ている場合	CD管が出ている場合
（一財）日本消防設備安全センター性能評定			KK21-003号	KK21-004号
開口部			①壁～床　②床～床	
壁または床の仕様			①壁～床の場合：コンクリート壁　厚120㎜以上 コンクリート床　厚100㎜以上 ②床～床の場合：コンクリート床　厚100㎜以上	
材料	合成樹脂製可とう電線管（JIS C8411）	CD管	呼び径28（外径34mm）以下	
		挿入ケーブル（最大組み合わせ例）	CV38㎟：1本以下	
			VVF（1.6mm×2C）：1本以下	
			光ケーブル 2P：1本以下	
			同軸ケーブル 7C：1本以下	
アウトレットボックス（JISC 8435）			122㎜以下×122㎜以下×54㎜以下	

※本工法は建築基準法施行令で定められる防火区画等を貫通する工法とはみなされません。
よって国土交通大臣認定試験を受けることができないため、認定番号を取得しておりません。
ご使用の際には事前に所轄の行政機関へご確認をお願い致します。

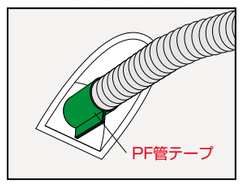
標準施工方法

〈ケーブルが直接出ている場合〉



「セキスイ耐火パテ」充填
＋「PF管テープ」巻き付け

〈CD管が出ている場合〉



「PF管テープ」を
巻き付け

製品一覧
工法選定早見表 製品別
工法選定早見表 施工箇所別
NEO 工法一覧
NEO 直ケーブル・PF/CD管（混合可）
NEO コンセントボックス（中空壁）
NEO 共住区画 直ケーブル・PF/CD管（混合可）
PF管テープ/PF管シート 工法一覧
PF管テープ/PF管シート ケーブル
PF管テープ/PF管シート PF/CD管
PF管テープ/PF管シート 直ケーブル・PF/CD管（混合）
PF管テープ/PF管シート 共住区画 直ケーブル・PF/CD管（混合）
PF管テープ/PF管シート 共住区画 CD管埋設工法
PF管テープ/PF管シート コンセントボックス（中空壁）
鋼製電線管用 工法一覧
鋼製電線管用 ケーブルのみ
鋼製電線管用 直ケーブル・PF/CD管（混合可）
鋼製電線管用 異種管継手
遮音シート コンセントボックス（耐火遮音）
コンセントボックスSW用キット（片壁用）
丸穴貫通（床用）キット
プロセレクトキット 工法一覧
プロセレクトキット ケーブルラック
プロセレクトキット バスダクト
延焼防止シート
関連法規
Q&A

鋼製電線管テープ 工法一覧表

セキスイ熱膨張耐火材 フィブロック®

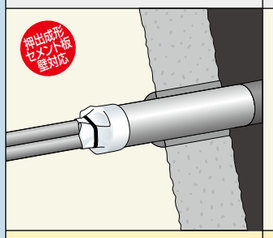
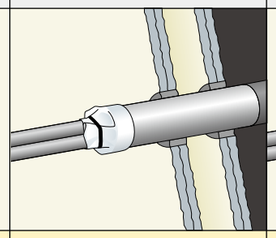
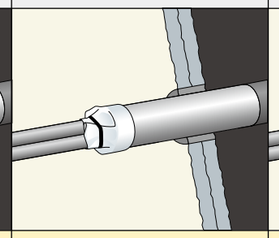
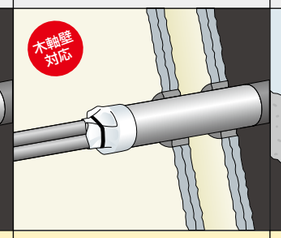
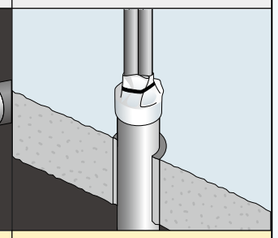
補助材

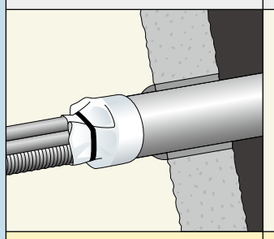
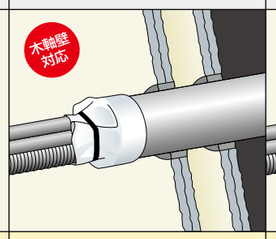
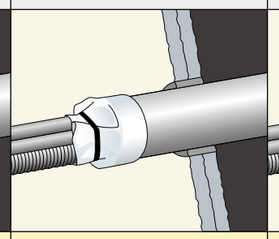
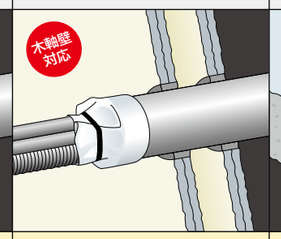
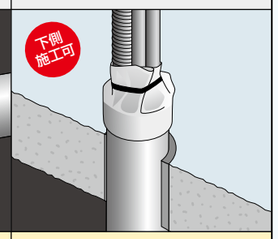
セキスイ耐火パテ
(NCJM001)

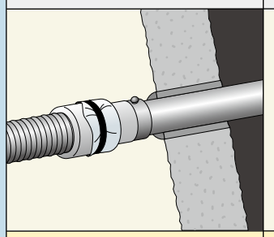
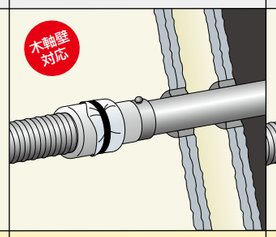
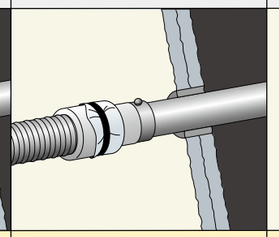
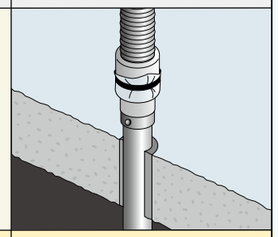
施工方法例

①鋼製電線管の片側にフィブロックを隙間なく巻き付けます。
②被覆付針金または針金で固定します。
※詳しくは認定書をご確認ください。

国土交通省大臣認定（建築基準法関連）

	ALC/ コンクリート壁		中空壁	片壁	準耐火45分壁	ALC/ コンクリート床
ケーブル直のみ						
	PS060WL-0269 P.37~38		PS060WL-0269 P.37~38	PS060WL-0268-1 P.37~38	PS045WL-0568 P.39~40	PS060FL-0290 P.37~38

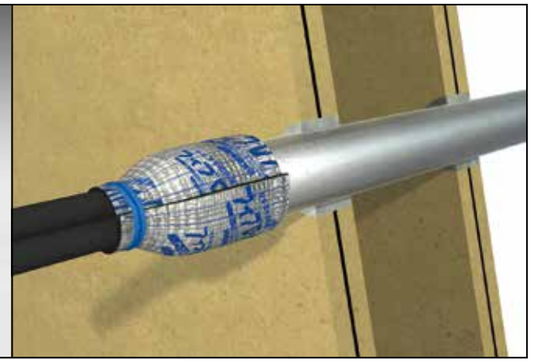
	ALC/ コンクリート壁		中空壁	片壁	準耐火45分壁	ALC/ コンクリート床
ケーブル直・PF/CD 管（混合可）						
	PS060WL-0617-1 P.39~40		PS060WL-0616 P.39~40	PS060WL-0618-1 P.39~40	PS045WL-0568 P.39~40	PS060FL-0595 P.39~40

	ALC/ コンクリート壁		中空壁	片壁	—	ALC/ コンクリート床
異種管継手（アダプター）					—	
	PS060WL-0611 P.41~42		PS060WL-0612 P.41~42	PS060WL-0610-1 P.41~42	—	PS060FL-0609 P.41~42

鋼製電線管用

国土交通大臣認定品
PS060WL-0268-1、PS060WL-0269、PS060FL-0290

セキスイ熱膨張耐火材
フィブロック®



フィブロックの巻付は片側のみでOKです。

- ●テープを巻き付ける簡単な施工方法です。
- ●乾式間仕切り壁に対応可能です。
- ●71.4%の占積率が可能です。
- ●小口径の電線管でも施工が確実です。

製品仕様

品　名	品　番	サイズ（厚さ×幅×長さ）	梱包単位	
			個包装	外箱(段ボール)
φ39用テープ	TBCZ011	2㎜×60㎜×2.3m	1巻/箱	12箱/ケース
φ75用テープ	TBCZ012	2㎜×100㎜×2.3m		6箱/ケース
φ104用テープ	TBCZ013	2㎜×150㎜×2.3m		

＊固定用針金（3.0m）同梱

適用範囲

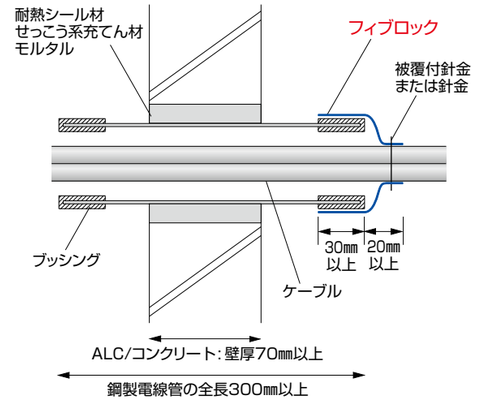
貫通部位			壁		床
国土交通大臣認定番号			PS060WL-0269	PS060WL-0268-1	PS060FL-0290
開口部		寸法	φ173.4㎜以下		
		形状	円形		
壁または床の仕様（国土交通大臣が指定もしくは認定した壁・床）			中空壁（準耐火構造60分）：厚100㎜以上（木質下地除く）耐火構造60分の壁	片壁（片面強化石こうボード重張）厚42㎜以上	ALC床：厚100㎜以上 コンクリート床：厚70㎜以上
ケーブル・配管	鋼製電線管（JIS C 8305）	サイズ	呼び径104（外径113.4㎜）以下		
		長さ	300㎜以上		
	ケーブル	導体（又は芯線）の断面積	325㎟以下（1本あたり）		
充てん材			※耐熱シール材、せっこう系充てん材 モルタル（ALC, コンクリートのみ） ※推奨品：セキスイ耐火パテ(NCJM001)	セキスイ耐火パテ（NCJM001）	モルタル
占積率		鋼製電線管*	42.8%以下		
		ケーブル**	71.4%以下		

＊開口面積に対する鋼製電線管の断面積の割合
＊＊鋼製電線管内面積に対するケーブル断面積の総合計の割合

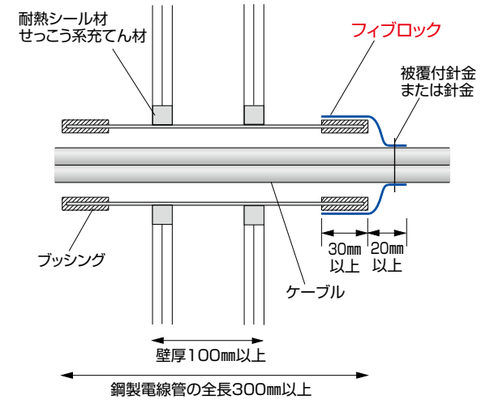
標準施工図

壁貫通の場合

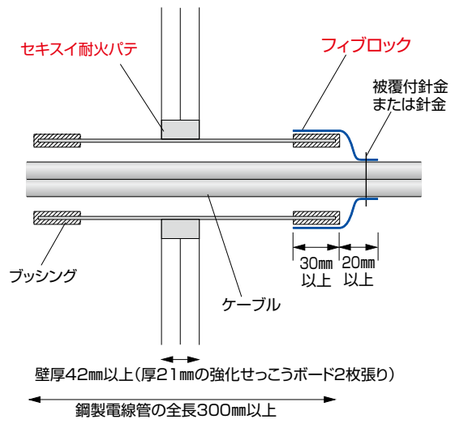
●PS060WL-0269の場合
（ALC･コンクリート/押出成形セメント板壁）



●PS060WL-0269の場合
（中空壁）

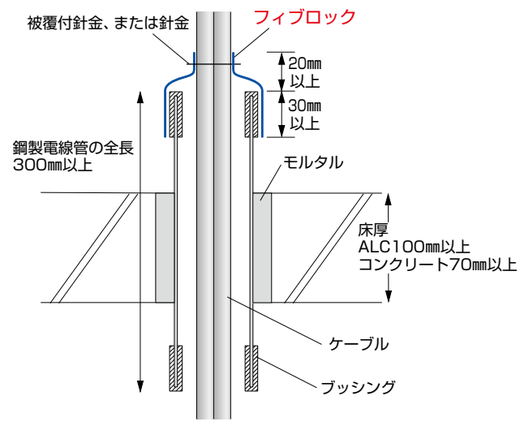


●PS060WL-0268-1の場合
（片壁）



床貫通の場合

●PS060FL-0290の場合
（ALC･コンクリート床）



＜参考＞製品1巻の施工箇所数目安

※「セキスイ耐火パテ（NCJM001）」は23ページをご参照ください。

品　名	鋼管サイズ	箇所数
φ39用テープ（TBCZ011）	C･E管φ19	27
	C･E管φ25	20
	C･E管φ31	17
	C･E管φ39	14
	G管φ16	24
	G管φ22	21
	G管φ28	17

品　名	鋼管サイズ	箇所数
φ75用テープ（TBCZ012）	C･E管φ51	11
	C･E管φ63	9
	C･E管φ75	8
	G管φ36	13
	G管φ42	12
	G管φ54	10
	G管φ70	8

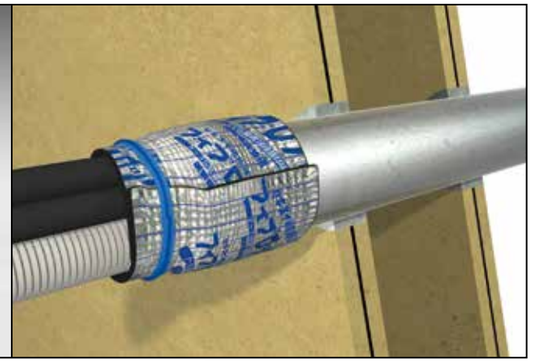
品　名	鋼管サイズ	箇所数
φ104用テープ（TBCZ013）	G管φ82	7
	G管φ92	6
	G管φ104	5

製品一覧
工法選定早見表 製品別
工法選定早見表 施工箇所別
NEO 工法一覧
NEO 直ケーブル・PF/CD管（混合可）
NEO コンセントボックス（中空壁）
NEO 共住区画 直ケーブル・PF/CD管（混合可）
PF管テープ/PF管シート 工法一覧
PF管テープ/PF管シート ケーブル
PF管テープ/PF管シート PF/CD管
PF管テープ/PF管シート 直ケーブル・PF/CD管（混合）
PF管テープ/PF管シート 共住区画 直ケーブル・PF/CD管（混合）
PF管テープ/PF管シート 共住区画 CD管埋設工法
PF管テープ/PF管シート コンセントボックス（中空壁）
鋼製電線管用 工法一覧
鋼製電線管用 ケーブルのみ
鋼製電線管用 直ケーブル・PF/CD管（混合可）
鋼製電線管用 異種管継手
遮音シート コンセントボックス（耐火遮音）
コンセントボックスSW用キット（片壁用）
丸穴貫通（床用）キット
プロセレクトキット 工法一覧
プロセレクトキット ケーブルラック
プロセレクトキット バスダクト
延焼防止シート
関連法規
Q&A

鋼製電線管用

国土交通大臣認定品
PS060WL-0616、PS060WL-0617-1、PS060WL-0618-1、
PS045WL-0568、PS060FL-0595

セキスイ熱膨張耐火材
フィブロック®



鋼管内へのPF管の貫通にご使用いただけます。

- ●木下地の中空壁にご使用いただけます。
- ●床の下側施工が可能です。（上下どちらでも可）

製品仕様

品　名	品　番	サイズ（厚さ×幅×長さ）	梱包単位	
			個包装	外箱（段ボール）
φ39用テープ	TBCZ011	2㎜×60㎜×2.3m	1巻/箱	12箱/ケース
φ75用テープ	TBCZ012	2㎜×100㎜×2.3m		6箱/ケース
φ104用テープ	TBCZ013	2㎜×150㎜×2.3m		

＊固定用針金（3.0m）同梱

適用範囲

貫通部位			壁				床
国土交通大臣認定番号			PS060WL-0616	PS060WL-0618-1	PS060WL-0617-1	PS045WL-0568	PS060FL-0595
開口部		寸法	φ173.4㎜以下				
		形状	円形				
壁または床の仕様（国土交通大臣が指定もしくは認定した壁・床）			中空壁（準耐火構造60分 耐火構造60分）厚80㎜以上	片壁（片面強化石こうボード重張）厚42㎜以上	ALC壁 コンクリート壁 厚75㎜以上	準耐火45分壁 厚74㎜以上	ALC床 コンクリート床 厚100㎜以上
ケーブル・配管	鋼製電線管（JIS C 8305）	サイズ	呼び径104（外径113.4㎜）以下				
		長さ	230㎜以上			300㎜以上	
	ケーブル	導体（又は芯線）の断面積	325㎟以下（1本あたり）				
	合成樹脂製可とう電線管	PF管/CD管	PF管 呼び径36（外径45.5㎜）以下 / CD管 呼び径42（外径48㎜）以下				
充てん材			セキスイ耐火パテ（NCJM001）	モルタル	セキスイ耐火パテ（NCJM001）	モルタル	
占積率		鋼製電線管＊	91.8%以下	42.8%以下	91.8%以下	42.8%以下	
		ケーブル・PF/CD管＊＊	66.3%以下		66.3%以下		
鋼製電線管と壁との隙間の寸法			30㎜以下	—	30㎜以下	—	

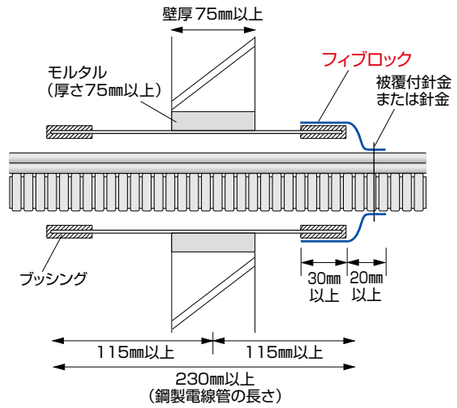
＊開口面積に対する鋼製電線管の断面積の割合
＊＊鋼製電線管の開口面積に対するケーブル・樹脂製電線管断面積の総合計の割合

標準施工図

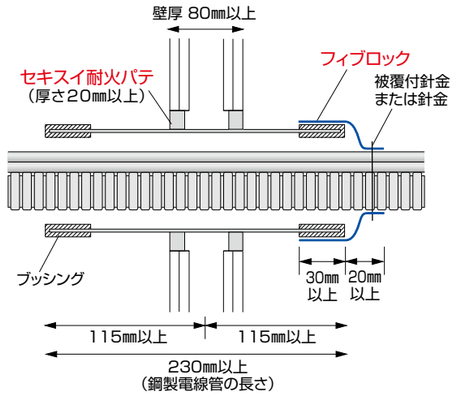
◆各認定ともケーブル直のみ、PF/CD管のみの貫通も可能です。

壁貫通の場合

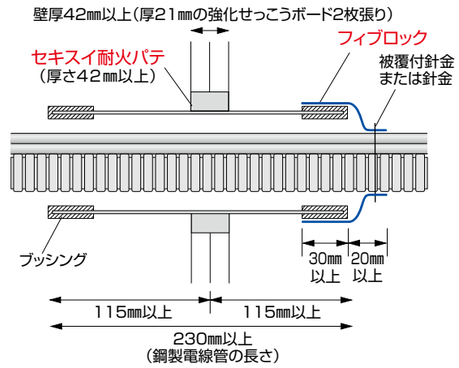
●PS060WL-0617-1の場合
（ALC・コンクリート壁）



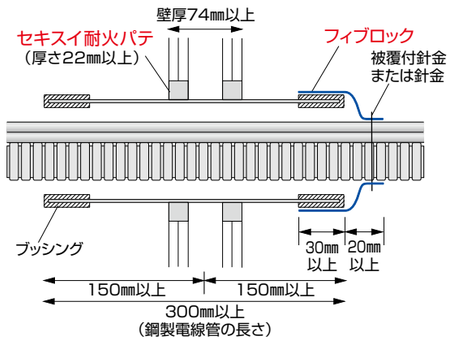
●PS060WL-0616の場合
（中空壁）



●PS060WL-0618-1の場合
（片壁）

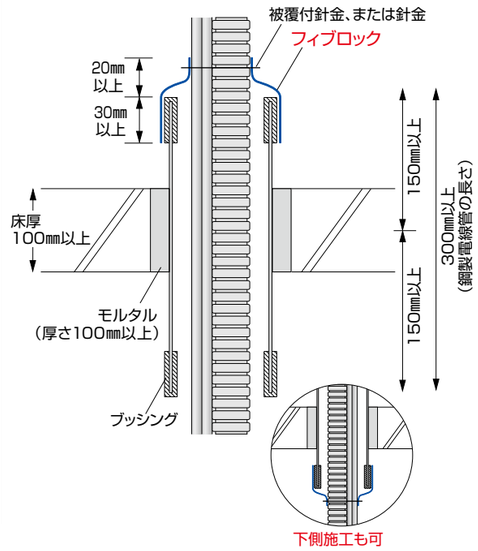


●PS045WL-0568の場合
（準耐火45分壁）



床貫通の場合

●PS060FL-0595の場合
（ALC・コンクリート床）



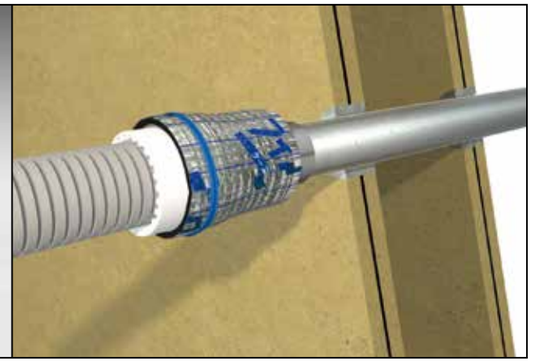
※「セキスイ耐火パテ（NCJM001）」は23ページをご参照ください。

製品一覧
工法選定早見表 製品別
工法選定早見表 施工箇所別
NEO 工法一覧
NEO 直ケーブル・PF/CD管（混合可）
NEO コンセントボックス（中空壁）
NEO 共住区画 直ケーブル・PF/CD管（混合可）
PF管テープ/PF管シート 工法一覧
PF管テープ/PF管シート ケーブル
PF管テープ/PF管シート PF/CD管
PF管テープ/PF管シート 直ケーブル・PF/CD管（混合）
PF管テープ/PF管シート 共住区画 直ケーブル・PF/CD管（混合）
PF管テープ/PF管シート 共住区画 CD管埋設工法
PF管テープ/PF管シート コンセントボックス（中空壁）
鋼製電線管用 工法一覧
鋼製電線管用 ケーブルのみ
鋼製電線管用 直ケーブル・PF/CD管（混合可）
鋼製電線管用 異種管継手
遮音シート コンセントボックス（耐火遮音）
コンセントボックスSW用キット（片壁用）
丸穴貫通（床用）キット
プロセレクトキット 工法一覧
プロセレクトキット ケーブルラック
プロセレクトキット バスダクト
延焼防止シート
関連法規
Q&A

鋼製電線管用

国土交通大臣認定品
PS060WL-0610-1、PS060WL-0611、PS060WL-0612、
PS060FL-0609

セキスイ熱膨張耐火材
フィブロック®



アダプター（異種管継手）にもご使用いただけます。

- ●使用できるアダプター／樹脂部の材質 ABS+PC・PVC・PP
- ●フィブロック施工箇所／壁のどちらか片側・床の上側

製品仕様

品　名	品　番	サイズ（厚さ×幅×長さ）	梱包単位	
			個包装	外箱（段ボール）
φ39用テープ	TBCZ011	2㎜×60㎜×2.3m	1巻/箱	12箱/ケース
φ75用テープ	TBCZ012	2㎜×100㎜×2.3m		6箱/ケース
φ104用テープ	TBCZ013	2㎜×150㎜×2.3m		

＊固定用針金（3.0m）同梱

適用範囲

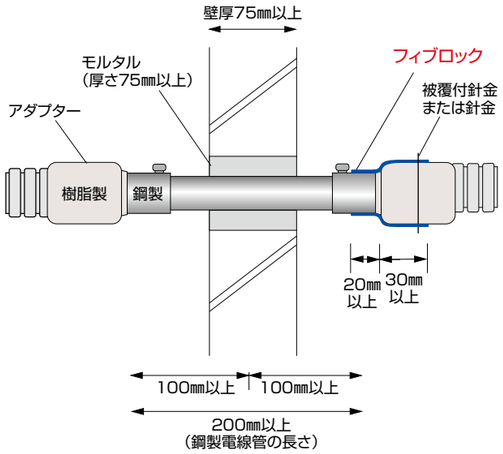
貫通部位			壁			床
国土交通大臣認定番号			PS060WL-0612	PS060WL-0610-1	PS060WL-0611	PS060 FL-0609
開口部		寸法	φ98.1㎜以下			
		形状	円形			
壁または床の仕様（国土交通大臣が指定もしくは認定した壁・床）			中空壁（準耐火構造60分 耐火構造 60分）厚80 ㎜以上	片壁（片面強化石こうボード重張）厚42㎜以上	ALC 壁 コンクリート壁 厚 75㎜以上	ALC 床 コンクリート床 厚 100㎜以上
ケーブル・配管	鋼製電線管（JIS C 8305）	サイズ	呼び径 39（外径38.1 ㎜）以下			
		長さ	200 ㎜以上			
	ケーブル	導体（又は芯線）の断面積	38㎟ 以下（1 本あたり）			
	合成樹脂製可とう電線管	PF管	呼び径 36 以下（外径 45.5㎜以下）			
アダプター		材料	鋼製+樹脂製（樹脂部 ①ABS+PC、②ABS+PVC、③ABS+PP）			
充てん材			セキスイ耐火パテ（NCJM001）		モルタル	
占積率		鋼製電線管*	78.2% 以下		15.1% 以下	
		ケーブル**	40.7% 以下			
鋼製電線管と壁との隙間の寸法			30 ㎜以下		ー	

＊開口面積に対する鋼製電線管の断面積の割合
＊＊鋼製電線管の開口面積に対するケーブル断面積の総合計の割合

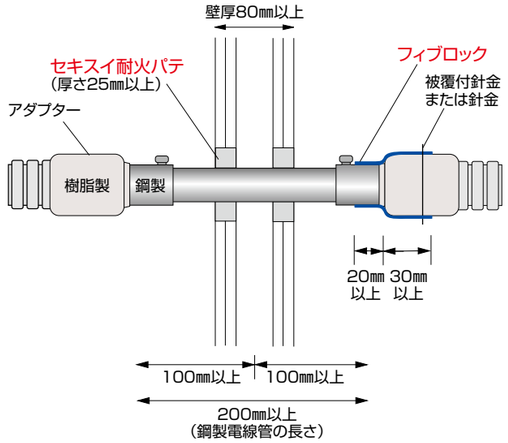
標準施工図

壁貫通の場合

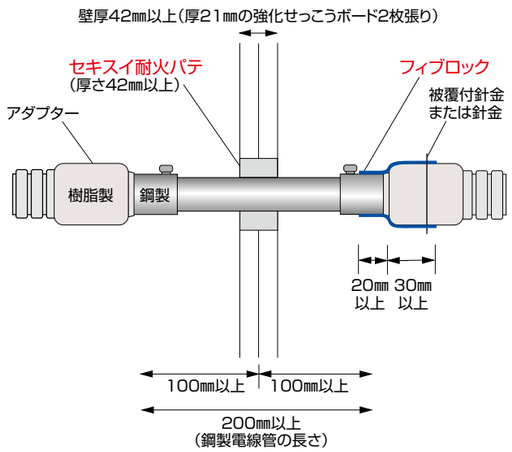
●PS060WL-0611の場合
（ALC・コンクリート壁）



●PS060WL-0612の場合
（中空壁）

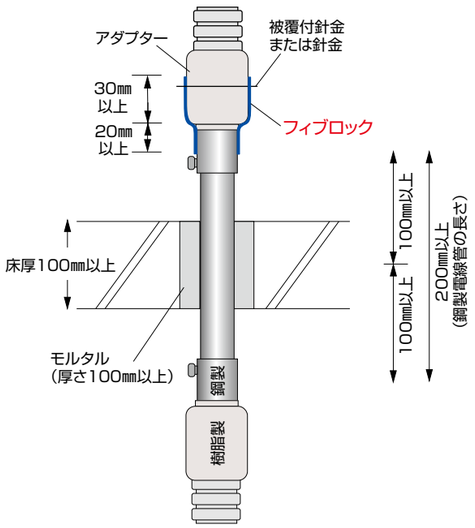


●PS060WL-0610-1の場合
（片壁）



床貫通の場合

●PS060FL-0609の場合
（ALC・コンクリート床）



※「セキスイ耐火パテ（NCJM001）」は 23 ページをご参照ください。

製品一覧
工法選定早見表 製品別
工法選定早見表 施工箇所別
NEO 工法一覧
NEO 直ケーブル・PF/CD管（混合可）
NEO コンセントボックス（中空壁）
NEO 共住区画 直ケーブル・PF/CD管（混合可）
PF管テープ/PF管シート 工法一覧
PF管テープ/PF管シート ケーブル
PF管テープ/PF管シート PF/CD 管
PF管テープ/PF管シート 直ケーブル・PF/CD 管（混合）
PF管テープ/PF管シート 共住区画 直ケーブル・PF/CD管（混合）
PF管テープ/PF管シート 共住区画 CD管 埋設工法
PF管テープ/PF管シート コンセントボックス（中空壁）
鋼製電線管用 工法一覧
鋼製電線管用 ケーブルのみ
鋼製電線管用 直ケーブル・PF/CD 管（混合可）
鋼製電線管用 異種管継手
遮音シート コンセントボックス（耐火遮音）
コンセントボックス SW 用キット（片壁用）
丸穴貫通（床用）キット
プロセレクトキット 工法一覧
プロセレクトキット ケーブルラック
プロセレクトキット バスダクト
延焼防止シート
関連法規
Q&A

遮音シート
コンセントボックス用

防火区画に使用される場合は、P45～46をご参照ください。

鋼製 / 樹脂製のコンセントボックスで無開口壁と同等の遮音性能を実現できます。

- ●最大６個口のコンセントボックスにご使用いただけます。
- ●防火区画非該当の壁に樹脂製コンセントボックスを使用される際の遮音材としてもご使用いただけます。
  ※防火区画の場合は鋼製コンセントボックスのみに限られます。
- ●高性能遮音壁、片壁での遮音性能確認済みです。（JIS A 1416）

製品仕様

品　名	品　番	キット内容				梱包単位	
		遮音シート（ボックス用）		遮音テープ（塗代カバー用）			
		サイズ（幅×長さ）	入数	サイズ（幅×長さ）	入数	個包装	外箱（段ボール）
遮音シート コンセントボックス用	TBCN001	120㎜×1,550㎜	1巻	10㎜×1,550㎜	3巻	1キット/箱	6キット/ケース

遮音性能　音響透過損失測定結果（TLD値）

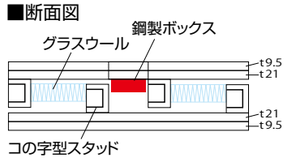
鋼製／樹脂製4個口のコンセントボックスに本措置を講じた結果、無開口壁と同等の遮音性能が確認されました。
*JIS A1416 による測定：一般財団法人建材試験センター

1. 遮音壁（千鳥間仕切壁）の場合

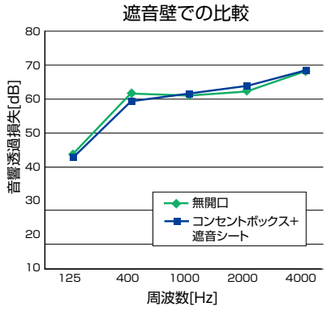
1．鋼製４個口のコンセントボックスに本措置を講じた場合、下記仕様の無開口壁の遮音性能とほぼ同等であることを確認いたしました。

試験体仕様
試験壁：千鳥間仕切壁
壁厚：136㎜
CBOX：鋼製４個口のコンセントボックス
試験体サイズ：3680㎜×2730㎜

■断面図



遮音壁での比較

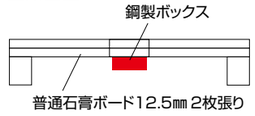


2. 片壁の場合

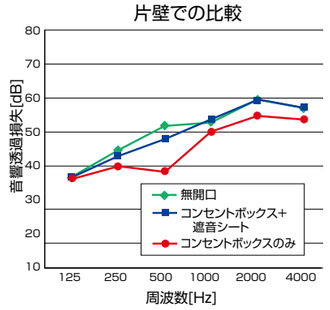
2．鋼製４個口のコンセントボックスに本措置を講じた場合、下記仕様の無開口壁の遮音性能とほぼ同等であることを確認いたしました。

試験体仕様
試験壁：片側普通石膏ボード12.5㎜ 2枚張り
CBOX：鋼製４個口のコンセントボックス
試験体サイズ：1760㎜×1760㎜

■断面図



片壁での比較

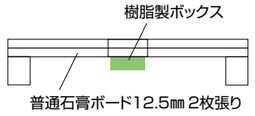


3. 片壁の場合（樹脂製コンセントボックス）

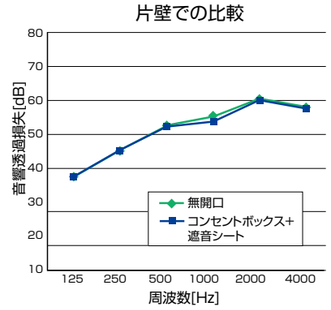
3．樹脂製４個口のコンセントボックスに本措置を講じた場合、下記仕様の無開口壁の遮音性能とほぼ同等であることを確認いたしました。

試験体仕様
試験壁：片側普通石膏ボード12.5㎜ 2枚張り
CBOX：樹脂製４個口のコンセントボックス
試験体サイズ：1760㎜×1760㎜

■断面図



片壁での比較

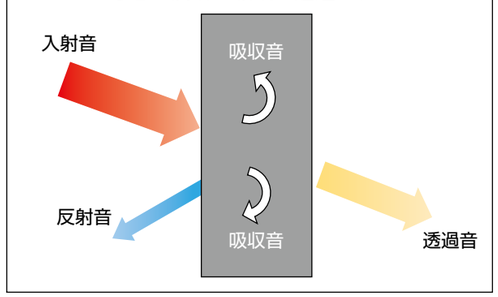


メモ　遮音性能について

メモ①　音の基礎
壁に入射した音（入射音）は透過音、吸収音、反射音に分けることができます。（右図）
遮音性能は音の透過のしにくさ「透過損失」という言葉で表されます。

メモ②　遮音と吸音の定義
遮音…音を透過しないこと。部屋の音を外に出さないこと。
（部材：遮音シート、せっこうボードなど）
吸音…音を反射しないこと。部屋の反響を抑えること。
（部材：ロックウール、グラスウールなど）

●音の反射・吸収・透過モデル



メモ③　吸音性能と遮音性能の混同に注意
壁に入射した音は反射、透過または吸収します。壁が音を反射しないこと、すなわち吸音するということは、入射した音の多くが吸収または透過するという意味になります。音が透過すると遮音性能は低くなるので、吸音率が大きいということだけでは、遮音能力が高いという意味にはなりません。したがってグラスウール等の吸音材のみを使用しても、室外への音を防止する遮音性能はほとんど高くならない点にご注意ください。

遮音シート
コンセントボックス用

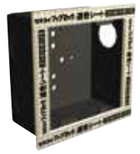
国土交通大臣認定品
PS060WL-0750、PS060WL-0751、PS045WL-0752

セキスイ熱膨張耐火材 フィブロック®

コンセントボックス部の耐火遮音処理が可能に。

●準耐火構造45分の壁にもご使用いただけます。

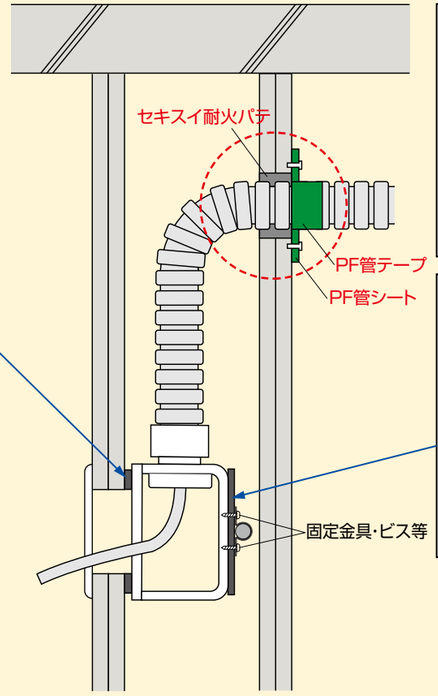
ボックス塗代部



遮音テープ（10㎜幅）を塗代に貼付

※小判型の場合の貼付例

PS060WL-0751
PS045WL-0752
PF管テープ（TBCZ014）を
PF/CD管へ、
3本までとも巻き可



PF/CD管貫通部

ボックス背面部

遮音シート（120㎜幅）を背面に貼付

※防火区画を貫通する場合は、鋼製コンセントボックスを使用してください。
※「セキスイ耐火パテ(NCJM001)」（P.23参照）以外は使用しないでください。
※フィブロックNEOでも耐火遮音処理が可能です。（P.18参照）

必要製品

品　名	品　番
遮音シート コンセントボックス用	TBCN001
PF管テープ	TBCZ014
PF管シート	SBCZ001
★PF管シートS100	SBCZ101
★PF管シートS150	SBCZ102
セキスイ耐火パテ	NCJM001

★スリット（切れ目）が入りハサミやカッターが不要です。

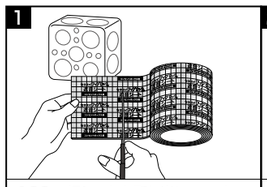
備考　本認定は国土交通大臣認定の制度に伴い、ケーブルが壁面を貫通した状態の試験に基づく認定となっています。
スイッチカバーをつけた状態では区画貫通として扱われませんが、この状態の耐火性能は確認しております。
尚、ご使用の際には事前に所轄の行政機関へご確認をお願い致します。

適用範囲（鋼製コンセントボックス限定）

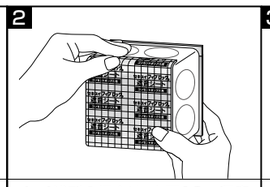
国土交通大臣認定番号		PS060WL-0750	PS060WL-0751	PS045WL-0752
壁の仕様（国土交通大臣が指定もしくは認定した壁）		①中空壁（両面強化石こうボード重ね張り（準耐火構造）） ②耐火構造60分の壁		準耐火45分壁
	厚さ	115㎜以上	100㎜以上	94㎜以上
開口寸法	コンセントボックス部	284×92㎜以下	146 ×92㎜以下	
	電線管貫通部	φ110mm以下		
アウトレットボックス（コンセントボックス）	寸法	320(±4)×117(±4)×54(±4)㎜以下（1～6個用）	182(±4)×117(±4)×44(±4)㎜以下（1～3個用）	
合成樹脂製可とう電線管	規格	JIS C 8411		
	種類	PF管・CD管		
	サイズ	呼び径28(外径36.5㎜)以下	呼び径22(外径30.5㎜)以下	
ケーブル	導体（又は芯線）の断面積	22㎟以下（1本あたり）		

●防火区画の耐火遮音処理の場合は、樹脂製コンセントボックスは使用しないでください。

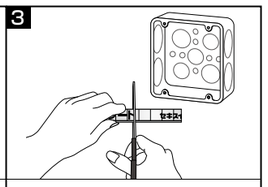
標準施工方法



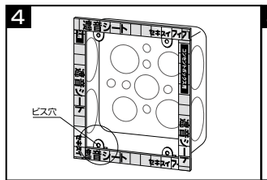
1 120㎜幅シートを取り出し、コンセントボックスの幅に切って背面に貼り付けます。



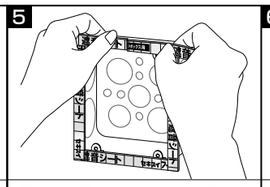
2 4×4浅型の場合は、上下10㎜程度折り返してください。



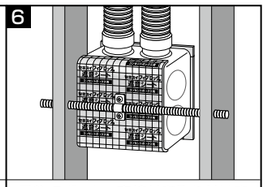
3 塗代カバーの長さに応じて10㎜テープを切断します。



4 塗代カバーのビス穴を塞がないように注意し、四周にテープを貼り付けます。



5 テープが不足した場合は、隙間が出ないように継ぎ足してください。



6 最後にボックス支持材を取り付けます。シートの上からビスでコンセントボックスに固定してください。

※1. 支持材を使用しない場合もコンセントボックス背面に貼り付けた遮音シートはビス等で固定してください。
※2. 塗代カバーと壁の隙間が出来ないようにコンセントボックスを設置してください。（遮音性能上）

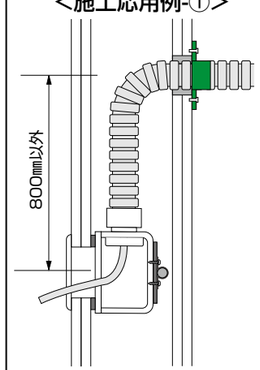
施工箇所目安

コンセントボックスサイズ	箇所数
4×4浅・深型	10
大型四角浅型	8
1個用	10
2個用	8
3個用	7
4個用	5
5個用	5
6個用	4

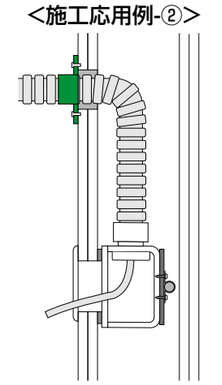
Q&A

No.	
1	**施工応用例①に関する質問** コンセントボックスと電線管が、壁を貫通する開口部の距離が800㎜以外の場合には、本認定は適用可能でしょうか？ **回答** 認定の施工方法とは異なりますが、耐火性能を確認しております。ご使用の際には事前に所轄の行政機関へご確認お願い致します。
2	**施工応用例②に関する質問** 施工応用例のように、電線管が貫通する壁側にコンセントボックスを設置する場合に本認定は適用可能でしょうか？ **回答** 認定の施工方法とは異なりますが、耐火性能を確認しております。ご使用の際には事前に所轄の行政機関へご確認お願い致します。

<施工応用例-①>



<施工応用例-②>

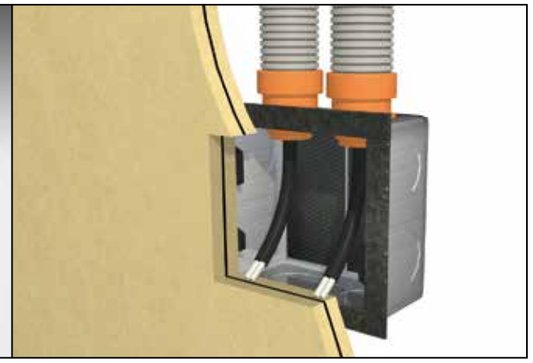


※片壁の施工は48ページを参照ください。

コンセントボックス SW用キット

国土交通大臣認定品　PS060WL-0672-2

セキスイ熱膨張耐火材 フィブロック®



片壁（強化せっこうボード2枚張り）の防火区画に設置する コンセントボックス部にご使用いただけます。

- 大・深型・4個口へ適用可能です。
- ボックス内の耐火パテが不要です。
- 1キットで複数箇所に施工可能です。

製品仕様

品　名	品　番	耐火シート（ボックス用）		耐火テープ（塗代カバー用）	
		サイズ（縦×横）	入数/キット	サイズ（幅×長さ）	入数/キット
SW4×4浅・深型用キット	KSW-101	86㎜×43㎜	12枚	15㎜×2,220㎜	1巻
SW大浅・深型、2～4個用キット	KSW-102	106㎜×47㎜	12枚	15㎜×2,840㎜	1巻

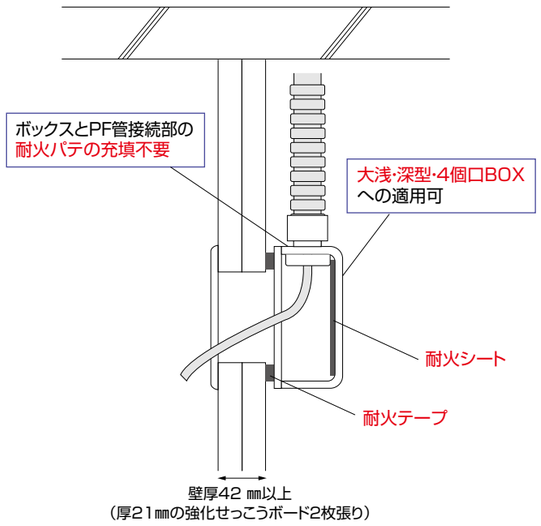
※2品番で7種類のボックスに適応可能です。

◎適応するボックスと耐火シートの使用枚数

		4×4		大型四角		2個用	3個用	4個用
		浅型	深型	浅型	深型			
コンセントボックスサイズ（mm）		102×102 ×44	102×102 ×54	119×119 ×44	119×119 ×54	136×117 ×44	182×117 ×44	228×117 ×54
品　名（品　番）	SW4×4浅・深型用キット（KSW-101）	2枚	2枚	―	―	―	―	―
品　名（品　番）	SW大浅・深型2～4個用キット（KSW-102）	―	―	2枚	2枚	2枚	3枚	4枚
施工可能箇所数／キット		6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	5箇所	4箇所	3箇所

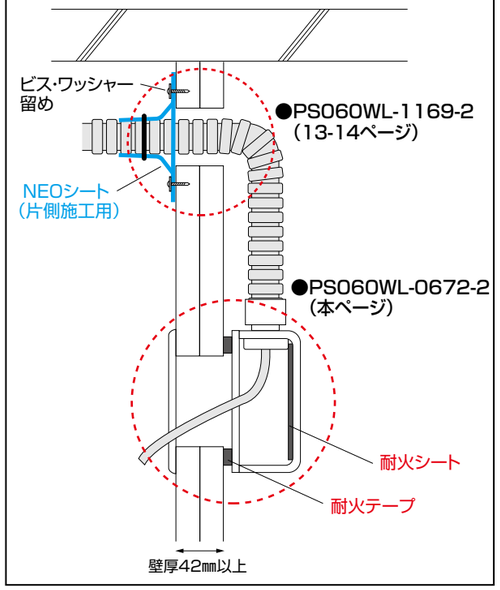
標準施工図

●PS060WL-0672-2
<片壁>



施工手順は49 ページをご参照ください。
注意：中空壁にはご利用頂けません。
※樹脂製ボックスは使用しないでください。
※ボックスからの配管はPF管/CD管のみです。

<施工応用例>
コンセントボックスの設置と
PF/CD管貫通の組み合わせ例



※PF管テープ・シートでも組み合わせ可能です。
PS060WL-0358-1（25ページ）

適用範囲

貫通物		PF 管 /CD 管
国土交通大臣認定番号		PS060WL-0672-2
開口寸法	ボックス側	190×92㎜以下
壁の仕様（国土交通大臣が指定もしくは認定した壁）		片壁（片面強化石こうボード重張）厚 42 ㎜以上
アウトレットボックス（コンセントボックス）	材料規格	鋼製又は鋳鉄製
	サイズ	鋼製 1～4 個用ボックス
	寸法	228(±4)×117(±4)×54(±4)㎜以下
ケーブル	導体（又は芯線）の断面積	22 ㎟ 以下（1 本あたり）
合成樹脂製可とう電線管	PF管 /CD 管（JIS C 8411）	呼び径22(外径30.5㎜)以下

参考

加熱終了後の鋼製ボックス内部

耐火シートが膨張しボックス内を完全に埋めます。

備考　本認定は国土交通大臣認定の制度に伴い、ケーブルが壁面を貫通した状態の試験に基づく認定となっています。スイッチカバーをつけた状態では区画貫通として扱われませんが、この状態の耐火性能は確認しております。尚、ご使用の際には事前に所轄の行政機関へご確認をお願い致します。

製品一覧
工法選定早見表 製品別
工法選定早見表 施工箇所別
NEO 工法一覧
NEO 直ケーブル・PF/CD管（混合可）
NEO コンセントボックス（中空壁）
NEO 共住区画 直ケーブル・PF/CD管（混合可）
PF管テープ/PF管シート 工法一覧
PF管テープ/PF管シート ケーブル
PF管テープ/PF管シート PF/CD 管
PF管テープ/PF管シート 直ケーブル・PF/CD 管（混合）
PF管テープ/PF管シート 共住区画 直ケーブル・PF/CD管（混合）
PF管テープ/PF管シート 共住区画 CD管 埋設工法
PF管テープ/PF管シート コンセントボックス（中空壁）
鋼製電線管用 工法一覧
鋼製電線管用 ケーブルのみ
鋼製電線管用 直ケーブル・PF/CD 管（混合可）
鋼製電線管用 異種管継手
遮音シート コンセントボックス（耐火遮音）
コンセントボックス SW 用キット（片壁用）
丸穴貫通（床用）キット
プロセレクトキット 工法一覧
プロセレクトキット ケーブルラック
プロセレクトキット バスダクト
延焼防止シート
関連法規
Q&A

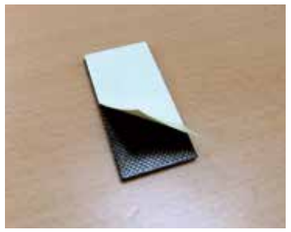
コンセントボックス
SW用キット

製品一覧
工法選定早見表 製品別
工法選定早見表 施工箇所別
NEO 工法一覧
NEO 直ケーブル・PF/CD管（混合可）
NEO コンセントボックス（中空壁）
NEO 共住区画 直ケーブル・PF/CD管（混合可）
PF管テープ/PF管シート 工法一覧
PF管テープ/PF管シート ケーブル
PF管テープ/PF管シート PF/CD 管
PF管テープ/PF管シート 直ケーブル・PF/CD 管（混合）
PF管テープ/PF管シート 共住区画 直ケーブル・PF/CD管（混合）
PF管テープ/PF管シート 共住区画 CD管 埋設工法
PF管テープ/PF管シート コンセントボックス（中空壁）
鋼製電線管用 工法一覧
鋼製電線管用 ケーブルのみ
鋼製電線管用 直ケーブル・PF/CD 管（混合可）
鋼製電線管用 異種管継手
遮音シート コンセントボックス（耐火遮音）
コンセントボックス SW 用キット（片壁用）
丸穴貫通（床用）キット
プロセレクトキット 工法一覧
プロセレクトキット ケーブルラック
プロセレクトキット バスダクト
延焼防止シート
関連法規
Q&A

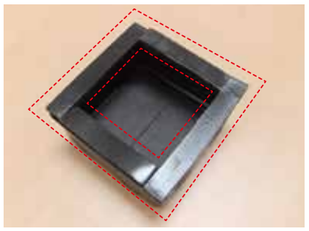
標準施工方法

❶鋼製ボックスサイズが適応範囲であることを確認します。　※樹脂製ボックスには使用できません。

❷「耐火シート」裏面の離型紙をはがし、必要枚数（47ページ参照）をボックスの内側から背面に貼り付けます。



❸塗代カバーの四周に「耐火テープ」を必要長さに切断し、離型紙をはがして貼り付けます。



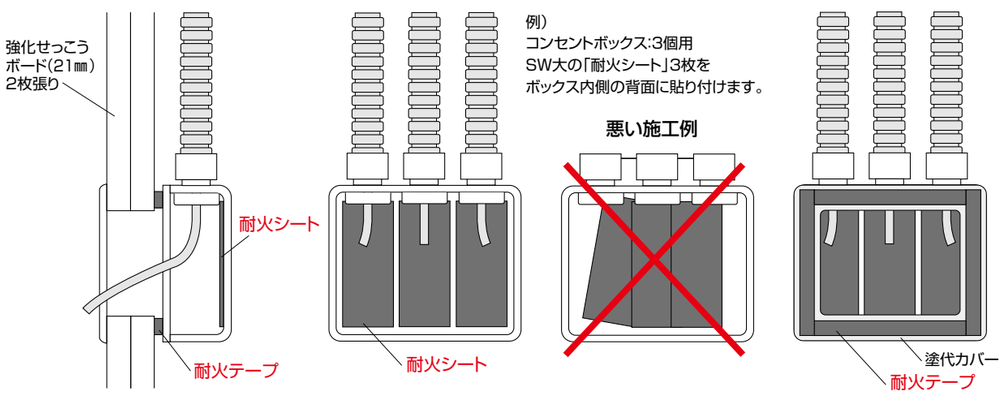
※小判型の場合の貼付例
小判型に合わせて「耐火テープ」を必要な長さに切断し、離型紙をはがして貼り付けます。

❹ボックスに支持金具を使用し、壁下地材に取り付けます。

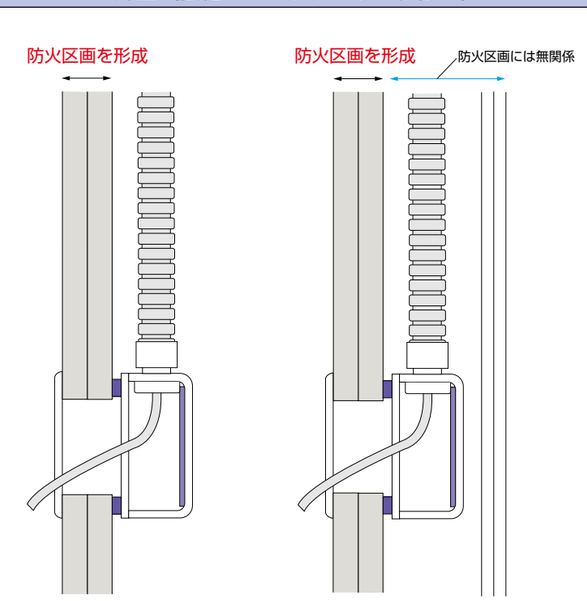
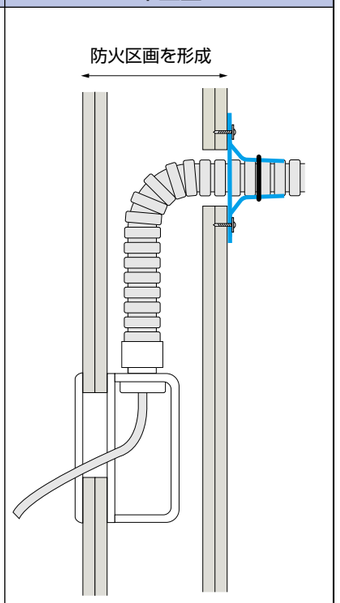
❺強化石膏ボードを取り付け、貫通部が適合する穴をあけます（190×92㎜以下）。

注）アウトレットボックス（コンセントボックス）の貫通孔は「耐火シート」で閉塞していることを確認すること。

標準施工図



ご注意　片壁および中空壁におけるコンセントボックスの耐火処理に関し、認定工法の混同にご注意ください。

壁	片壁（強化せっこうボード2枚張り）	中空壁
断面図	 ※右図の中空壁工法はご利用頂けません。	 ※左図の片壁工法ではご利用頂けません。
使用部材	コンセントボックス SW用キット	フィブロックNEO 片側施工用
認定工法	●PS060WL-0672-2	●PS060WL-1173-1 ●PS045WL-1177
参照ページ	P.47～49	P.17～18

製品一覧
工法選定早見表 製品別
工法選定早見表 施工箇所別
NEO 工法一覧
NEO 直ケーブル・PF/CD管（混合可）
NEO コンセントボックス（中空壁）
NEO 共住区画 直ケーブル・PF/CD管（混合可）
PF管テープ/PF管シート 工法一覧
PF管テープ/PF管シート ケーブル
PF管テープ/PF管シート PF/CD 管
PF管テープ/PF管シート 直ケーブル・PF/CD 管（混合）
PF管テープ/PF管シート 共住区画 直ケーブル・PF/CD管（混合）
PF管テープ/PF管シート 共住区画 CD管 埋設工法
PF管テープ/PF管シート コンセントボックス（中空壁）
鋼製電線管用 工法一覧
鋼製電線管用 ケーブルのみ
鋼製電線管用 直ケーブル・PF/CD 管（混合可）
鋼製電線管用 異種管継手
遮音シート コンセントボックス（耐火遮音）
コンセントボックス SW 用キット（片壁用）
丸穴貫通（床用）キット
プロセレクトキット 工法一覧
プロセレクトキット ケーブルラック
プロセレクトキット バスダクト
延焼防止シート
関連法規
Q&A

丸穴 貫通(床用)

国土交通大臣認定品　PS060FL-0412

セキスイ熱膨張耐火材 フィブロック®

製品一覧
工法選定早見表 製品別
工法選定早見表 施工箇所別
NEO 工法一覧
NEO 直ケーブル・PF/CD管(混合可)
NEO コンセントボックス(中空壁)
NEO 共住区画 直ケーブル・PF/CD管(混合可)
PF管テープ/PF管シート 工法一覧
PF管テープ/PF管シート ケーブル
PF管テープ/PF管シート PF/CD 管
PF管テープ/PF管シート 直ケーブル・PF/CD 管(混合)
PF管テープ/PF管シート 共住区画 直ケーブル・PF/CD管(混合)
PF管テープ/PF管シート 共住区画 CD管埋設工法
PF管テープ/PF管シート コンセントボックス(中空壁)
鋼製電線管用 工法一覧
鋼製電線管用 ケーブルのみ
鋼製電線管用 直ケーブル・PF/CD 管(混合可)
鋼製電線管用 異種管継手
遮音シート コンセントボックス(耐火遮音)
コンセントボックス SW 用キット(片壁用)
丸穴貫通(床用)キット
プロセレクトキット 工法一覧
プロセレクトキット ケーブルラック
プロセレクトキット バスダクト
延焼防止シート
関連法規
Q&A

耐火パックを詰める簡単施工を実現、キット品対応で品揃えも充実。

- 開口サイズに応じたキット品です。
  (開口部ごとの組み合わせを考える必要がありません。)
- パック充填のため改修工事、後通線が容易です。
- ケーブルとPF管・CD管の同時貫通が可能です。

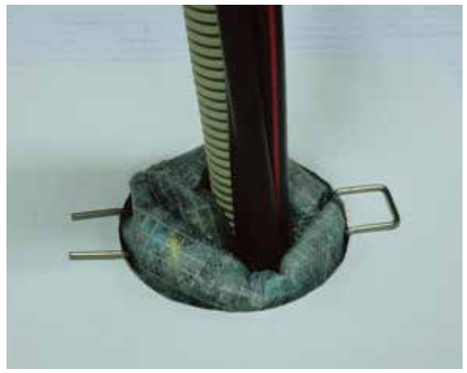
製品仕様

品　名	品　番	ラベル判別色	開口部サイズ	キット構成		外箱(段ボール)入数
				耐火パック数	受け金具	
φ50用キット	KMY- 050	緑	φ50	2 (120×120㎜)	1個	10キット
φ75用キット	KMY- 075	青	φ75	2 (180×180㎜)	1個	5キット
φ100用キット	KMY- 100	赤	φ100	3 (180×180㎜)	1個	5キット
φ125用キット	KMY- 125	黄	φ125	3 (200×200㎜)	1個	5キット
φ150用キット	KMY- 150	白	φ150	4 (200×200㎜)	1個	5キット

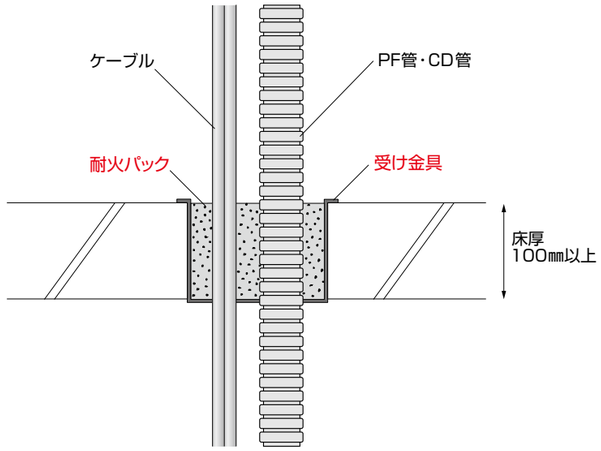
適用範囲

貫通部位			床
国土交通大臣認定番号			PS060FL-0412
開口部		寸法	φ158㎜以下
		形状	円形
床の仕様(国土交通大臣が指定もしくは認定した床)			ALC/コンクリート床 :厚100㎜以上
ケーブル・配管	ケーブル	導体(又は芯線)の断面積	150㎟以下(1本あたり)
	合成樹脂製可とう電線管(JIS C 8411)	PF管/CD 管	PF管 呼び径 36(外径 45.5㎜)以下 CD管 呼び径 42(外径 48㎜)以下
		本数	制限無し
占積率*			24.2%以下

＊開口面積に対するケーブル・電線管の断面積総合計の割合



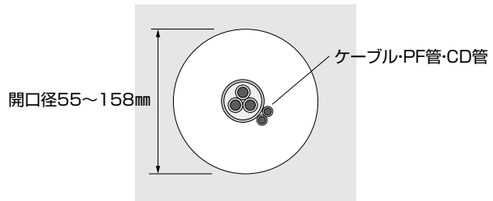
標準施工図



標準施工方法

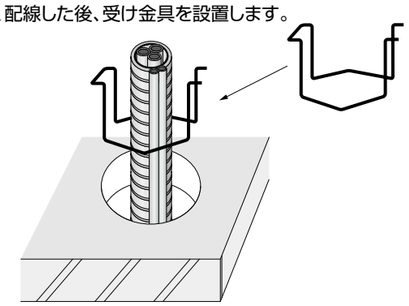
❶開口部の設置

- ケーブル等のサイズ ・ 本数に応じて適正な占積率となるよう開口部を設けます。



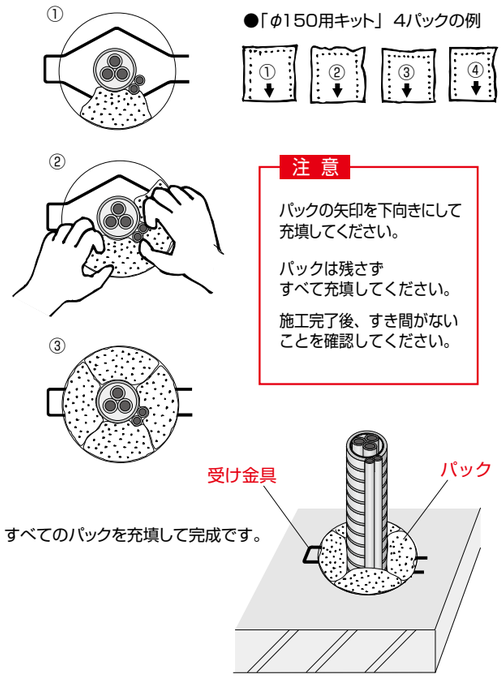
❷受け金具の設置

- 配管、配線した後、受け金具を設置します。



❸パックの充填

- 開口部に、パックをすき間ができないように、均等に充填します。



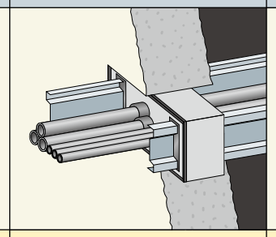
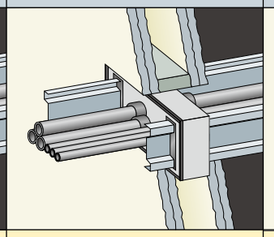
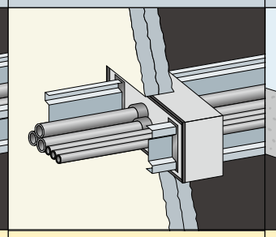
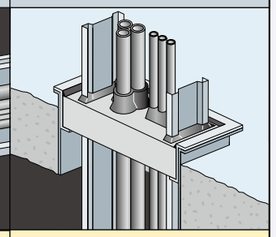
すべてのパックを充填して完成です。

◆パックは、上下で重ならないように、開口部に対し均等に充填してください。

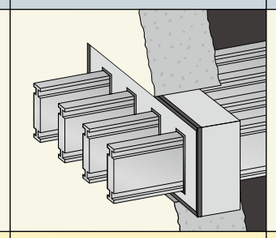
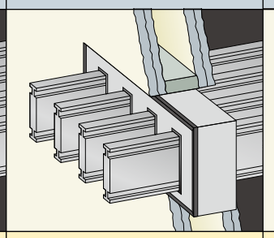
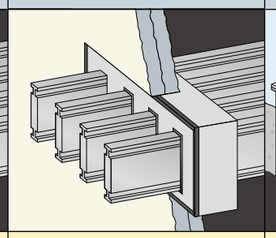
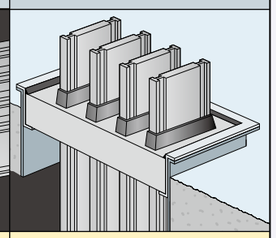
プロセレクト 工法一覧表

セキスイ熱膨張耐火材 フィブロック®

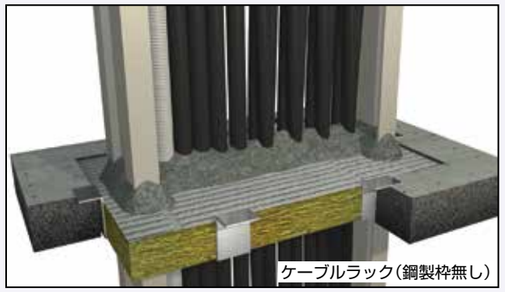
国土交通省大臣認定　（建築基準法関連）

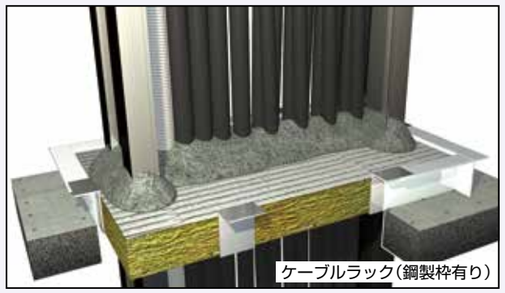
		RC/ALC 壁	中空壁	片壁	RC 床
ケーブルラック					
		PS060WL-0514-2 P.56~57	PS060WL-0514-2 P.56~57	PS060WL-0530-3 P.56~57	PS060FL-0808* P.56~58

＊PS060FL-0808の内容はPS060FL-0513を包含しています。

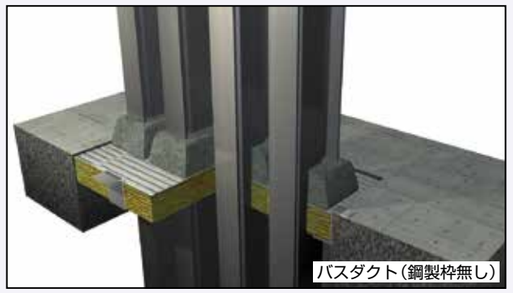
		RC/ALC 壁	中空壁	片壁	RC床
バスダクト					
		PS060WL-0789 P.56	PS060WL-0789 P.56	PS060WL-0788-2 P.56	PS060FL-0667 P.56~58

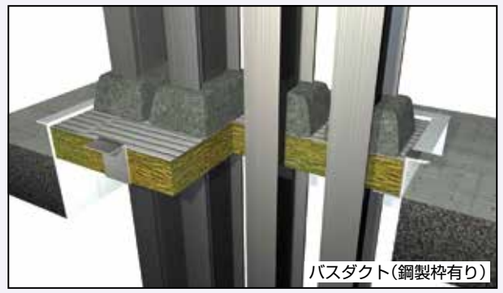
ケーブルラック貫通（床）


ケーブルラック（鋼製枠無し）


ケーブルラック（鋼製枠有り）

バスダクト貫通（床）


バスダクト（鋼製枠無し）


バスダクト（鋼製枠有り）

製品一覧
工法選定早見表 製品別
工法選定早見表 施工箇所別
NEO 工法一覧
NEO 直ケーブル・PF/CD管（混合可）
NEO コンセントボックス（中空壁）
NEO 共住区画 直ケーブル・PF/CD管（混合可）
PF管テープ/PF管シート 工法一覧
PF管テープ/PF管シート ケーブル
PF管テープ/PF管シート PF/CD 管
PF管テープ/PF管シート 直ケーブル・PF/CD 管（混合）
PF管テープ/PF管シート 共住区画 直ケーブル・PF/CD管（混合）
PF管テープ/PF管シート 共住区画 CD管埋設工法
PF管テープ/PF管シート コンセントボックス（中空壁）
鋼製電線管用 工法一覧
鋼製電線管用 ケーブルのみ
鋼製電線管用 直ケーブル・PF/CD 管（混合可）
鋼製電線管用 異種管継手
遮音シート コンセントボックス（耐火遮音）
コンセントボックス SW 用キット（片壁用）
丸穴貫通（床用）キット
プロセレクトキット 工法一覧
プロセレクトキット ケーブルラック
プロセレクトキット バスダクト
延焼防止シート
関連法規
Q&A

ケーブルラック・バスダクト貫通用 プロセレクト

国土交通大臣認定品
PS060FL-0808、PS060WL-0514-2、PS060WL-0530-3
PS060FL-0667、PS060WL-0788-2、PS060WL-0789

セキスイ熱膨張耐火材 フィブロック®

軽量ボードと柔軟パテを用いた電動工具不要の簡単、確実な施工を実現します。

- 壁・床どちらにも使える仕様です。
- 開口サイズ毎のキット品は、前準備も簡単ですぐ作業にとりかかれます。
- 追加配線が簡単に出来ます。
- リフラクトリーセラミックファイバー（RCF）は含まれておりません。

製品仕様（キット品）

品　名	品　番	開口サイズ（㎜）	プロセレクトボード（枚）	支持金具（個）	プロセレクトパテ（600g/袋）
200×　300用　キット	RY-006	200 ×　300	1	8	1
200×　400用　キット	RY-008	200 ×　400	1	8	2
200×　500用　キット	RY-010	200 ×　500	1	8	2
200×　600用　キット	RY-012	200 ×　600	1	8	2
200×　700用　キット	RY-014	200 ×　700	1	10	3
200×　800用　キット	RY-016	200 ×　800	1	10	3
200×　900用　キット	RY-018	200 ×　900	1	10	3
200×1000用　キット	RY-020	200 × 1000	1	10	4
200×1100用　キット	RY-022	200 × 1100	1	10	4
200×1200用　キット	RY-024	200 × 1200	1	10	4

製品仕様（プロセレクトパテ単品）

品　名	品　番	サイズ・入り数
プロセレクトパテ 1キロ	NCJM004	1kg/袋（10袋/ケース）

※追加配線、補修用としてご使用いただけます。

評価済み関連項目

試験項目	試験規格	測定条件
遮音性	JIS A 1416	音響透過損失[dB]（100～5000Hz）
耐風性	JIS A 1515	負圧9000Pa～正圧2000Pa
気密性	JIS A 1516	通気量（20～200Pa）

※試験場所：（一財）建材試験センター

※その他使用材料：シリコーン系または変成シリコーン系シーリング材（JIS A 5758）
推奨品：積水フーラー製　セキスイシリコーンシーラント

適用範囲

ケーブルラック貫通

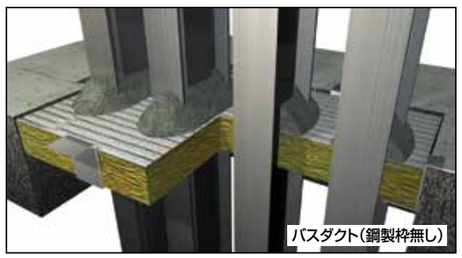
貫通部位		壁		床
国土交通大臣認定番号		PS060 WL-0530-3	PS060 WL-0514-2	PS060 FL-0808
開口部	寸法	0.6㎡以下		
	形状	矩形		
壁または床の仕様（国土交通大臣が指定もしくは認定した壁・床）		強化せっこうボード 2枚張りの壁（片壁）	ALC壁 コンクリート壁 中空壁	コンクリート床
		厚42㎜以上	厚100㎜以上	厚100㎜以上
ケーブルラック	材料	①一般構造用圧延鋼材（JISG 3101）		
		②溶解亜鉛めっき鋼板（JISG 3302）		
	厚さ	1.6㎜以上		
ケーブル	導体（又は芯線）の断面積	325㎟以下（1本あたり）		
		20,297㎟以下（総合計）		20,255㎟以下（総合計）
鋼製電線管	規格	JIS C 8305		
	サイズ	呼び径75（外径76.2㎜）以下　長さ300㎜以上		
合成樹脂製可とう電線管（JIS C 8411）		PF管：呼び径36（外径45.5㎜）以下 CD管：呼び径42（外径48.0㎜）以下		
占積率＊		20.8%以下		
鋼製枠		―		有り又は無し（有りの場合）床厚さ以上

＊開口面積に対するケーブル・電線管の断面積の総合計の割合

バスダクト貫通

貫通部位		壁		床
国土交通大臣認定番号		PS060WL-0788-2	PS060WL-0789	PS060 FL-0667
開口部	寸法	0.6㎡以下		0.75㎡以下
	形状	矩形		
壁または床の仕様（国土交通大臣が指定もしくは認定した壁・床）		強化せっこうボード 2枚張りの壁（片壁）	ALC壁 コンクリート壁 中空壁	コンクリート床
		厚42㎜以上	厚100㎜以上	厚100㎜以上
バスダクト	導体断面積	2,400mm²以下（1本あたり）		
		59,700㎟以下（総合計）		65,400㎟以下（総合計）
ケーブル	導体（又は芯線）の断面積	150㎟以下（1本あたり）		325㎟以下（1本あたり）
		1,103㎟以下（総合計）		2,485㎟以下（総合計）
鋼製電線管	規格	JIS C 8305		
	サイズ	呼び径75（外径76.2㎜）以下　長さ250㎜以上		
合成樹脂製可とう電線管（JIS C 8411）		PF管：呼び径36（外径45.5㎜）以下 CD管：呼び径42（外径48.0㎜）以下		
占積率＊		23.3%以下		18.3%以下
鋼製枠		―		有り又は無し（有りの場合）露出部分50㎜以下

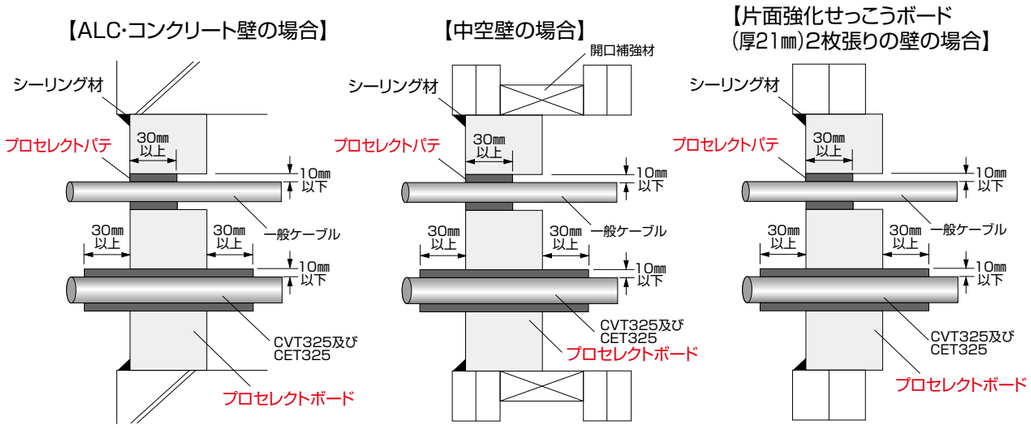
＊開口面積に対するバスダクト・ケーブル・電線管の断面積の総合計の割合



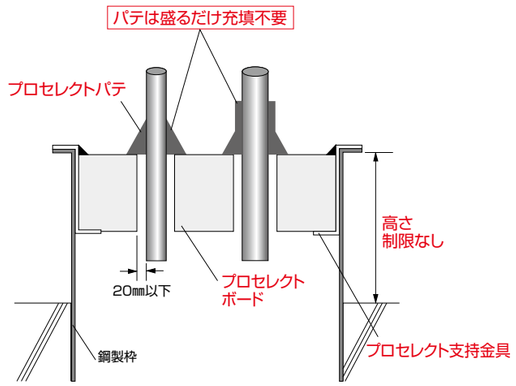
製品一覧
工法選定早見表 製品別
工法選定早見表 施工箇所別
NEO 工法一覧
NEO 直ケーブル・PF/CD管（混合可）
NEO コンセントボックス（中空壁）
NEO 共住区画 直ケーブル・PF/CD管（混合可）
PF管テープ/PF管シート 工法一覧
PF管テープ/PF管シート ケーブル
PF管テープ/PF管シート PF/CD管
PF管テープ/PF管シート 直ケーブル・PF/CD管（混合）
PF管テープ/PF管シート 共住区画 直ケーブル・PF/CD管（混合）
PF管テープ/PF管シート 共住区画 CD管埋設工法
PF管テープ/PF管シート コンセントボックス（中空壁）
鋼製電線管用 工法一覧
鋼製電線管用 ケーブルのみ
鋼製電線管用 直ケーブル・PF/CD管（混合可）
鋼製電線管用 異種管継手
遮音シート コンセントボックス（耐火遮音）
コンセントボックスSW用キット（片壁用）
丸穴貫通（床用）キット
プロセレクトキット 工法一覧
プロセレクトキット ケーブルラック
プロセレクトキット バスダクト
延焼防止シート
関連法規
Q&A

ケーブルラック・バスダクト貫通用 プロセレクト

ケーブルラック壁の標準施工図 PS060WL-0514-2,0530-3

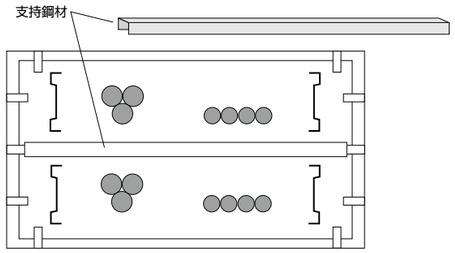


ケーブルラック床の標準施工図 PS060FL-0808

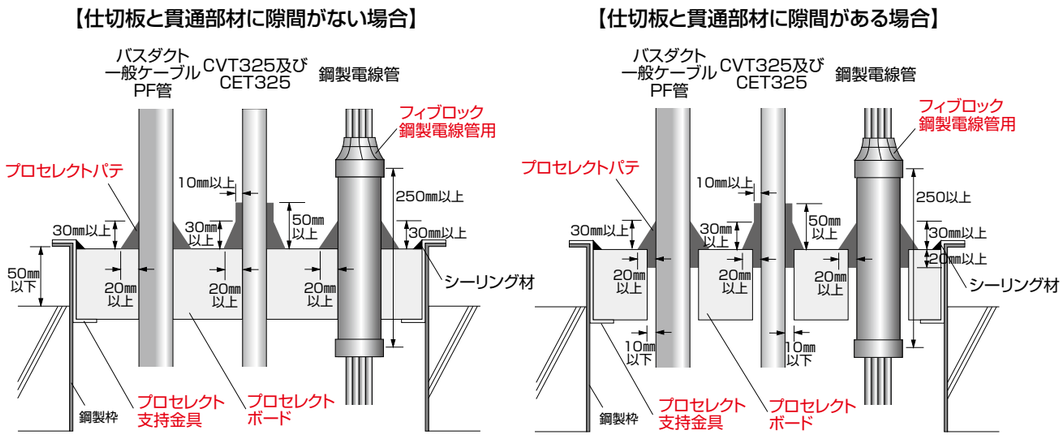


■ケーブルラックを2段設置している場合

市販の支持鋼材（幅25㎜以上、高さ19㎜以上、厚さ0.5㎜以上）をご用意いただき、ケーブルラック間に設置したプロセレクト支持金具に橋渡ししてください。

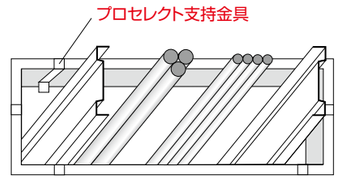


バスダクト床の標準施工図 PS060FL-0667

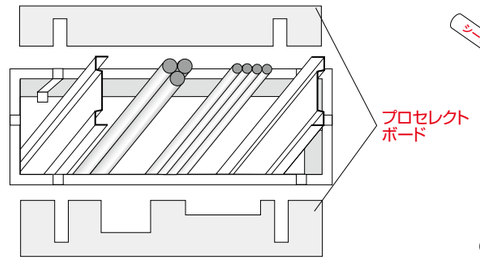


ケーブルラック標準施工方法（床の場合） PS060FL-0808

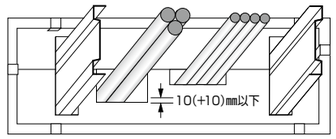
❶支持金具を必要に応じて接着剤、両面テープあるいはビスにて開口部に設置します。支持金具は1辺につき1個以上設置します。



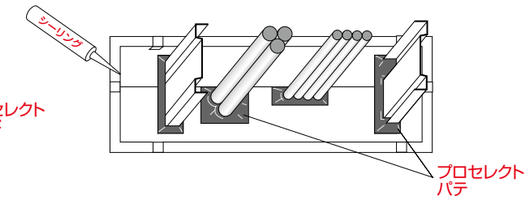
❷プロセレクトボードを開口部の寸法、貫通部のケーブル･電線管等の形状に合わせて切断します。
その際、プロセレクトボードとケーブル･電線管との隙間は、10(+10)㎜ 以下とします。



❸手順2で加工されたプロセレクトボードを開口部に設置します。その時、支持金具にあたるまでプロセレクトボードを押し込みます。



❹ケーブルとプロセレクトボードとの隙間は、プロセレクトパテを用いて密に充填します。その場合、プロセクトボード上面から盛り上げ高さ30㎜以上、プロセレクトボードとのかかり代部は10㎜以上とします。
※CVT325㎟,CET325㎟の場合、50㎜以上

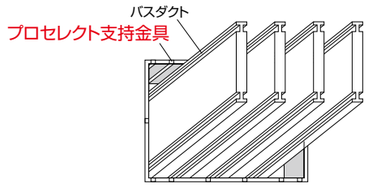


❺プロセレクトボードと鋼製スリーブ又は、躯体（床板）の接触部にシーリング材*を施工します。

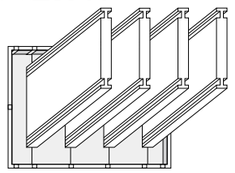
※子桁、C形鋼の固定方法は認定工法通り施工できるよう、位置に配慮してください。

バスダクト床の標準施工方法（床の場合） PS060FL-0667

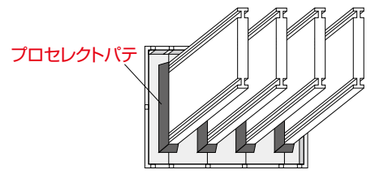
❶プロセレクト支持金具を開口部に設置します。



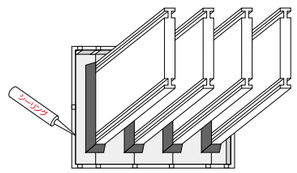
❷プロセレクトボードを開口部の寸法、バスダクト形状に合わせて切断し、施工します。



❸バスダクトまわりにプロセレクトパテを施工します。



❹開口の四周にシーリング材*を施工します。



＊シーリング材：シリコーン系または変性シリコーン系シーリング材（JIS A 5758）
推奨品：積水フーラー製　セキスイシリコーンシーラント

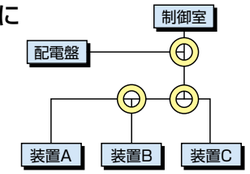
ケーブル延焼防止シート

国土交通大臣認定品　不燃番号:NM-2328

ケーブルラックに設置されたケーブルや洞道内に敷設されたケーブルにシートを巻き付ける事で火災によるケーブルの延焼を防止します。

- 洞道に敷設されたケーブルの延焼防止
- 工場等で高温設備近傍のケーブルからの火災発生予防
- 工場設備等のケーブルラック分岐部に設置する事で延焼防止(右図参照)
- 区画貫通部のケーブルの延長部に設置して耐火性能向上

【工場施工例】



製品仕様

品　名		延焼防止シート
品　番		RCCZE01
仕　上		両面アルミ箔ガラスクロス張り
サイズ	厚　さ	約1㎜
	幅	1m
	長　さ	20m

＊受注生産：納期については弊社営業所にお問い合わせください。

【推奨工法例】

固定具の材質：　鉄、SUS、銅などの金属(アルミは不可)
固定具の形状：　バンド・針金など
固　定　位　置：　シート端部から50㎜、
その他 @300㎜毎に固定。
(シート幅が1mなので4箇所支持してください。)

製品特長

(1)耐火性能

- IEEE 383準拠にて評価を実施
  ケーブル損傷距離：400㎜以下で基準を大幅にクリア

「延焼防止シート有り」

「延焼防止シート無し」

(2)環境配慮

- ハロゲン化合物等　非含有
- 粉塵発生　無(エアエロージョン法 (一財)建材試験センター)
- ホルムアルデヒド･VOC放散低減型建材
  F☆☆☆☆相当(小型チャンバー法 (一財)建材試験センター)
- アウトガス分析(DHS法 (株)住化分析センター)
  エステル類･酸化防止剤･シロキサン類　不検出等

(3)施工性

- 柔軟なシートを巻き付けるだけ
- 低温でも柔軟で切断、穴開けも容易
  長期的にも柔軟性の低下は小
- 固定具は針金やスチールバンドでOK
- ケーブルの更新、増線はシートを開くだけで作業可能

区画貫通関連法規❶

1.区画貫通とは

建物の防火区画等(壁、床)を給排水管やケーブル等が貫通することです。

2.給排水管等とは

給水管、排水管、通気管、冷温水管、冷媒管などが該当します。

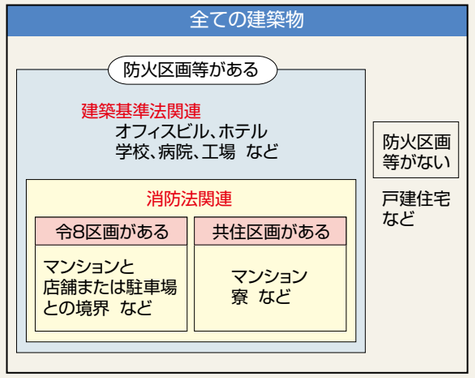
3.防火区画等とは

建築物の火災拡大防止上有効な区画であり、建築基準法では建築物の構造、用途、規模に応じて防火上有用な壁や床で仕切る規定を設けています。建築基準法施行令で下記の①～③が定められています。

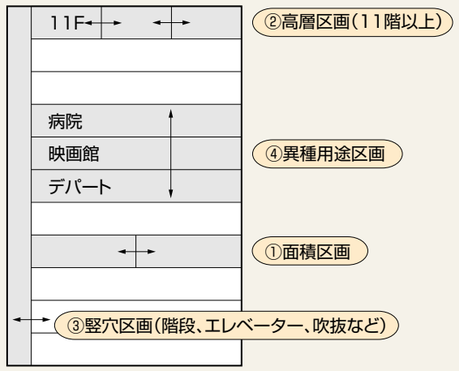
①防火区画(建築基準法施行令第112条)
②木造等の建築物の防火壁(同113条)
③建築物の界壁、間仕切壁、隔壁(同114条)

さらに、消防法では、消防用設備等の設置基準を規定するための令8区画と共住区画があります。

4.建物と区画の種類



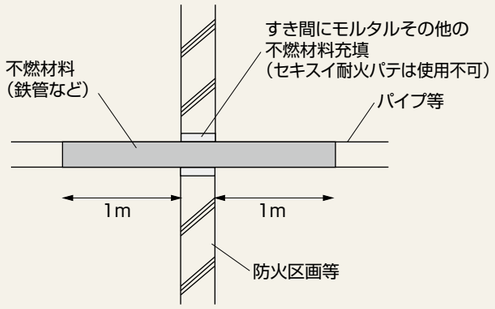
5.防火区画の種類



6.防火区画の貫通方法(建築基準法関連)

防火区画等(壁･床)を給排水管やケーブル等が貫通する手段として、建築基準法施行令第129条の2の4第1項第七号で防火区画等を貫通する管の構造の仕様と性能を以下のイ、ロ、ハで規定しています。

イ)貫通部の両側1mを不燃材料で造る



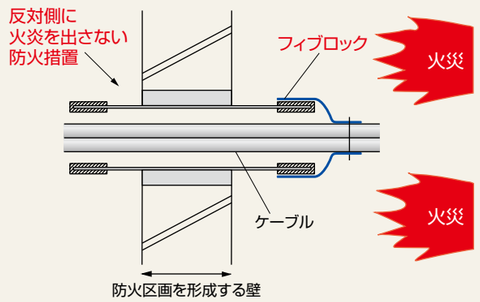
※壁、床の耐火時間に制限はありません。

ロ)国土交通大臣が定めた数値未満の外径の配電管

配電管が貫通する床、壁、柱または梁等の構造部分(防火構造～耐火2時間構造)		
材質	肉厚	外径
難燃材料または硬質塩化ビニル	5.5㎜以上	90㎜(呼び径82)以下

※壁、床、梁は耐火2時間構造まで適用されます(3時間耐火はNG)。

ハ)国土交通大臣の認定をうけた防火措置工法



※壁、床の耐火時間に制限はありません。

防火区画等の種類と要求される区画貫通部の耐火性能時間は以下の通りです。

①防火区画(112条:面積･異種用途区画など)→60分間
②木造等の建築物の防火壁(113条) →60分間
③建築物の界壁、間仕切壁、隔壁(114条) →45分間
④上記以外(112条:竪穴区画など) →20分間

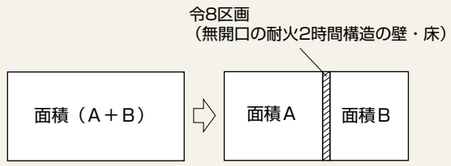
製品一覧
工法選定早見表 製品別
工法選定早見表 施工箇所別
NEO 工法一覧
NEO 直ケーブル･PF/CD管(混合可)
NEO コンセントボックス(中空壁)
NEO 共住区画 直ケーブル･PF/CD管(混合可)
PF管テーブ/PF管シート 工法一覧
PF管テーブ/PF管シート ケーブル
PF管テーブ/PF管シート PF/CD管
PF管テーブ/PF管シート 直ケーブル･PF/CD管(混合)
PF管テーブ/PF管シート 共住区画 直ケーブル･PF/CD管(混合)
PF管テーブ/PF管シート 共住区画 CD管埋設工法
PF管テーブ/PF管シート コンセントボックス(中空壁)
鋼製電線管用 工法一覧
鋼製電線管用 ケーブルのみ
鋼製電線管用 直ケーブル･PF/CD管(混合可)
鋼製電線管用 異種管継手
遮音シート 遮音シート コンセントボックス(耐火遮音)
コンセントボックスSW用キット(片壁用)
丸穴貫通(床用)キット
プロセレクトキット 工法一覧
プロセレクトキット ケーブルラック
プロセレクトキット バスダクト
延焼防止シート
関連法規
Q&A

区画貫通関連法規❷

7.消防法関連の防火区画

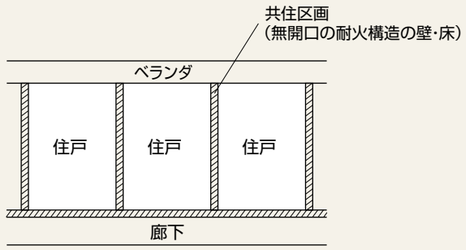
●令8区画（消防法施行令第8条）

耐火2時間構造の壁･床で仕切ることにより、1棟の建物であっても別々の防火対象物（全く別の建物）とみなすために設ける区画です。消防用設備等の設置や維持の規定が、少ない面積としての適用を受けます。



●共住区画

消防法上の「特定共同住宅」に該当する集合住宅で個々の住戸を別々の防火対象物とみなすために、耐火構造の壁･床で仕切られた区画です。その他の規定とあわせて基準を満足することにより、消防用設備等の設置を緩和できます。



8.各区画の壁･床の耐火構造と区画貫通部の耐火要求性能

各区画ごとに以下のように決められています。

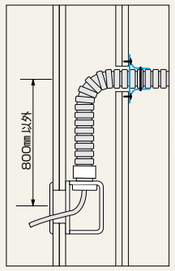
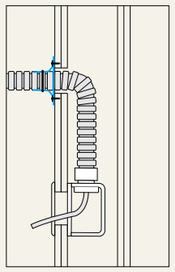
		防火区画等	令8区画	共住区画
関連法案		建築基準法施行令第129条の2の4第1項第七号ハ	消防法施行令第8条、消防予５３号通知	総務省令第40号、消防庁告示2.4号
壁・床の構造		準耐火構造 耐火構造	耐火2時間構造 鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造 など容易に変更できない耐火構造	鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造 軽量気泡コンクリート（ＡＬＣ）造 せっこうボード中空壁
配管の用途		配電管、給水管、排水管	原則として給排水管	給排水管、空調用冷温水管、ガス管、冷媒管、配電管など
配管の呼び径		制限なし	呼び径200㎜以下	呼び径200㎜以下
開口径		実績では0.75㎡が最大	円形：φ300㎜以下、矩形：φ300㎜の円に相当する面積（0.07㎡）以下	円形：φ300㎜以下、矩形：φ300㎜の円に相当する面積（0.07㎡）以下
開口相互の離隔距離		なし	穴の直径の大なる方の距離（当該直径がφ200㎜の場合は200㎜）以上	穴の直径の大なる方の距離（当該直径がφ200㎜の場合は200㎜）以上 ただし、住戸等と共用部分との間の耐火構造の共住区画にあってはこの限りではない
耐火性能		20分間、45分間、最大60分間	2時間	1時間
要求性能	遮炎性	イ.非加熱側へ10秒を超えて継続する火炎の噴出がないこと ロ.非加熱面で10秒を超えて継続する発炎がないこと ハ.火炎が通る亀裂等の損傷及び隙間を生じないこと	イ.加熱面以外の面に火災を出す原因となる亀裂その他の損傷を生じないこと ロ.加熱面以外の面に10秒以上継続して火災が出ないこと	イ.加熱面以外の面に火災を出す原因となる亀裂その他の損傷を生じないこと ロ.加熱面以外の面に10秒以上継続して火災が出ないこと
	遮煙性	なし	加熱時間における煙発生量を㎥で表した数値に減光係数を乗じて得た値が 0㎥/mであること	加熱時間における煙発生量を㎥で表した数値に減光係数を乗じて得た値が3㎥/m以下であること
	遮熱性	なし	非加熱面温度が200℃以下	非加熱面温度が200℃以下
証明する方法		国土交通大臣認定書	（一財）日本消防設備安全センターの性能評定書（※必須ではない）	（一財）日本消防設備安全センターの性能評定書（※必須ではない）

フィブロック ケーブル区画貫通用 Q&A

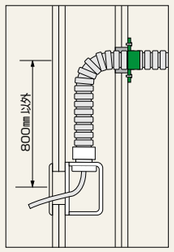
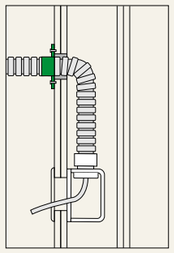
品種	No	質　問	回　答	参照
全般	1	認定シールは必ず貼らなくてはいけませんか?	「建築設備設計・施工上の指導指針」2019年版(編集 日本建築行政会議)では、「防火区画貫通部措置工法の表示について」として「国土交通大臣の認定工法による防火措置を実施した場合には、認定工法を取得した工法であることを明確に示すため、施工者は、その工法の認定番号、認定取得会社、施工会社名等を記載したマークやラベルを施工場所の容易にわかる位置に貼る等、留意すべきである。」と言及されています。	—
	2	認定シールが欲しいのですが?	フィブロックホームページからWEB申請にて、1現場ごとにご請求頂けます。申請内容を確認の上、ご請求枚数の認定シールを送付させていただきます。 発送は、メール便(ポスト投函)にてお届け致します。	P.1-2
	3	認定シールはどこに貼ればいいのですか?	決まりはありません。 フィブロックの施工が確認しやすい場所に貼ってください。 (Q&A No.1もあわせてご参照ください)	—
	4	消防法上の共住区画や令8区画には使えますか?	フィブロックNEO、PF管フィブロックは、共住区画に使用できるよう(一財)日本消防設備安全センターの性能評定を取得しております。 令8区画は原則としてケーブルの貫通が認められておりません。	P.19-20 (NEO) P.33-34 (PF管)
	5	コンクリートブロック壁に使用可能ですか?	弊社営業所にお問い合わせください。	—
	6	個別認定壁にも使えますか?(FP060NP-xxxx等)	弊社営業所にお問い合わせください。	—
	7	デッキ床に使えますか?	弊社営業所にお問い合わせください。	—
	8	貫通穴同士の離隔距離に制約はありますか?	国土交通大臣認定においては、制約はありません。 (一財)日本消防設備安全センターの性能評定においては制約がありますので、評定書をご確認いただきますようお願い致します。	—
	9	2時間耐火を要求された防火区画の壁･床を貫通する場合に使えますか?	ご使用頂けます。壁・床の耐火時間に関係なく区画貫通の耐火要求性能は最大1時間です。	P.60-61
	10	壁貫通の場合､フィブロックは壁のどちら側に施工しても良いのですか?	壁のどちら側でも構いません。	—
	11	屋外で使えますか?	紫外線及び水がかからないところでご使用ください。	—
	12	防火区画壁に位置する梁貫通部に使えますか?	弊社営業所にお問い合わせください。	—
	13	RCF(リフラクトリーセラミックファイバー)や石綿(アスベスト)を含有していますか?	本カタログに掲載されています全ての製品において、含有しておりません。	—
	14	環境負荷物質を使用していますか?	具体的な物質名をご確認の上、弊社営業所にお問い合わせください。	—

製品一覧
工法選定早見表 製品別
工法選定早見表 施工箇所別
NEO 工法一覧
NEO 直ケーブル・PF/CD管（混合可）
NEO コンセントボックス（中空壁）
NEO 共住区画 直ケーブル・PF/CD管（混合可）
PF管テープ/PF管シート 工法一覧
PF管テープ/PF管シート ケーブル
PF管テープ/PF管シート PF/CD 管
PF管テープ/PF管シート 直ケーブル・PF/CD 管（混合）
PF管テープ/PF管シート 共住区画 直ケーブル・PF/CD管（混合）
PF管テープ/PF管シート 共住区画 CD管 埋設工法
PF管テープ/PF管シート コンセントボックス（中空壁）
鋼製電線管用 工法一覧
鋼製電線管用 ケーブルのみ
鋼製電線管用 直ケーブル・PF/CD 管（混合可）
鋼製電線管用 異種管継手
遮音シート コンセントボックス（耐火遮音）
コンセントボックス SW 用キット（片壁用）
丸穴貫通（床用）キット
プロセレクトキット 工法一覧
プロセレクトキット ケーブルラック
プロセレクトキット バスダクト
延焼防止シート
関連法規
Q&A

フィブロック ケーブル区画貫通用 Q&A

品種		No	質問	回答	参照
NEO	ケーブル・電線管のみ又は混合	15	PF管、CD管が途中で切断されている場合でも使えますか？	弊社営業所にお問い合わせください。	—
		16	マンションの共住区画の壁貫通に使えますか？	使用できます。(一財)日本消防設備安全センター性能評定番号はKK2023-017号(ALC/コンクリート壁)･KK2023-016号(中空壁)になります。	P.19-20
		17	床貫通に使えますか？	使用できます。国土交通大臣認定番号はPS060FL-1236になります。	P.15-16
		18	押出成形セメント板（(例)アスロック*）の壁に使えますか？	認定工法(PS060WL-1171)が該当します。 *アスロックは株式会社ノザワの商標です。	P.13-14
		19	シートまたはカバー材が破断しても使えますか？	使用しないでください。	—
		20	ビスを無くした場合、タッカーで代用できますか？	タッカーは代用できません。認定書に記載されたサイズのビスとワッシャーを使用してください。	P.11
		21	木軸壁の貫通に使えますか？	下記認定工法が該当します。 ・中空壁 (PS060WL-1171) ・準耐火45分壁 (PS045WL-1172) ・中空壁コンセントボックス (PS060WL-1173-1) ・準耐火45分壁コンセントボックス (PS045WL-1177)	P.11
		22	貫通できるケーブルの本数に制限はありますか？	本数に制限はありませんが、占積率･総導体断面積等に制限があります。	P.13-18
		23	ケーブルが貫通していない予備配管(空配管)に使えますか？	必ず1本以上のケーブルを敷設してください。	P.13-18
	コンセントボックス	24	右図のようにコンセントボックスと電線管が、壁が貫通する開口部の距離が800㎜以外の場合には本認定は適用可能でしょうか？ 	認定施工方法とは異なりますが、耐火性能を確認しております。ご使用の際には事前に所轄の行政機関へご確認をお願い致します。	P.18
		25	右図のように電線管が貫通する壁側にコンセントボックスを設置する場合に施工可能でしょうか？ 	認定施工方法とは異なりますが、耐火性能を確認しております。ご使用の際には事前に所轄の行政機関へご確認をお願い致します。	P.18
		26	片壁のコンセントボックスに使用できますか？	ご使用いただけません。片壁(片面強化石こうボード重張)への施工にはコンセントボックスSW用キットをご使用ください。認定番号はPS060WL-0672-2です。	P.48

フィブロック ケーブル区画貫通用 Q&A

品種		No	質問	回答	参照
PF管テープ・シート	ケーブル・電線管のみ又は混合	27	押出成形セメント板（(例)アスロック*）の壁にケーブルを貫通する認定はありますか？	フィブロックNEOを用いた認定工法(PS060WL-1171)で対応可能です。 *アスロックは株式会社ノザワの商標です。	P.13-14
		28	天井スラブ付近に開口があり、開口部と天井スラブとの離隔距離が20㎜未満の場合はどうすれば良いですか？	弊社営業所にお問い合わせください。	—
		29	PF管テープの周囲を被覆付針金で留めても問題ありませんか？	問題ありません。	—
		30	使用可能な埋め戻し材を教えてください。	セキスイ耐火パテ以外で、PS060WL-0213、0297、0371、0372では (1)耐熱シール材: ポリオレフィン系バインダー入り無機質充填材がご使用可能です。 (2)せっこう系補修材: ジプシール、タイガーGLボンド*がご使用可能です。 *ジプシール、タイガーGLボンドはいずれも吉野石膏株式会社の商標です。	P.24-26
		31	貫通できるケーブルの本数に制限はありますか？	本数に制限はありませんが、占積率･総導体断面積等に制限があります。	P.23-32
		32	マンションの共住区画の壁貫通に使用できますか？	(一財)日本消防設備安全センターの性能評定を取得しておりますのでご使用いただけます。	P.33
		33	PF管、CD管が途中で切断されている場合でも使えますか？	PF管テープを巻き付け可能な長さ（100㎜以上）であれば、認定工法通り施工していただき、切断部分を耐火パテで充填することで、耐火性能上は問題ありません。 但し、事前に所轄の行政機関へご確認をお願い致します。	—
		34	ケーブルが貫通していない予備配管(空配管)に使えますか？	必ず1本以上のケーブルを敷設してください。	P.23-32
		35	壁貫通の際にはPF管テープを巻いた後にPF管シートを貼り付ける、床貫通ではPF管シートを貼り付けたあとにPF管テープを巻くとありますが、逆の手順では施工できますか？	壁の場合は、逆の手順でも耐火性能上問題ありません。但し、事前に所轄の行政機関へご確認をお願い致します。 尚、床の場合は、必ずPF管シート、PF管テープの順で施工してください。	P.28
		36	床の認定(PS060FL-0638)はパテなしですがモルタルを詰めてもよいですか？	モルタルを詰めることは耐火性能上有利に働きますので、耐火性能上は問題ありません。 但し、事前に所轄の行政機関へご確認をお願い致します。	P.27-28
	コンセントボックス	37	右図のようにコンセントボックスと電線管が、壁が貫通する開口部の距離が800㎜以外の場合には本認定は適用可能でしょうか？ 	認定施工方法とは異なりますが、耐火性能を確認しております。ご使用の際には事前に所轄の行政機関へご確認をお願い致します。	P.32
		38	右図のように電線管が貫通する壁側にコンセントボックスを設置する場合に施工可能でしょうか？ 	認定施工方法とは異なりますが、耐火性能を確認しております。ご使用の際には事前に所轄の行政機関へご確認をお願い致します。	P.32
		39	片壁のコンセントボックスの施工にPF管テープ･PF管シートは使用できますか？	ご使用いただけません。片壁(片面強化石こうボード重張)への施工にはコンセトボックスSW用キットをご使用ください。認定番号はPS060WL-0672-2です。	P.48

製品一覧
工法選定早見表 製品別
工法選定早見表 施工箇所別
NEO 工法一覧
NEO 直ケーブル・PF/CD管（混合可）
NEO コンセントボックス（中空壁）
NEO 共住区画 直ケーブル・PF/CD管（混合可）
PF管テープ/PF管シート 工法一覧
PF管テープ/PF管シート ケーブル
PF管テープ/PF管シート PF/CD管
PF管テープ/PF管シート 直ケーブル・PF/CD管（混合）
PF管テープ/PF管シート 共住区画 直ケーブル・PF/CD管（混合）
PF管テープ/PF管シート 共住区画 CD管 埋設工法
PF管テープ/PF管シート コンセントボックス（中空壁）
鋼製電線管用 工法一覧
鋼製電線管用 ケーブルのみ
鋼製電線管用 直ケーブル・PF/CD管（混合可）
鋼製電線管用 異種管継手
遮音シート コンセントボックス（耐火遮音）
コンセントボックスSW用キット（片壁用）
丸穴貫通（床用）キット
プロセレクトキット 工法一覧
プロセレクトキット ケーブルラック
プロセレクトキット バスダクト
延焼防止シート
関連法規
Q&A

フィブロック ケーブル区画貫通用 Q&A

品種	No	質　問	回　答	参照
PF管テープ・シート サブウェイ	40	防火区画60分耐火の壁や床に使用できますか?	本工法に対応する国土交通大臣認定工法はなく、(一財)日本消防設備安全センターの性能評定のみ取得済です。評定工法の施工可否に関しては、事前に所轄の行政機関へのご確認をお願い致します。	P.34
	41	PF管は通せますか?	原則として、消防評定では(一財)日本消防設備安全センターの性能評定書に記載のないものを貫通することは出来ません。ただし、耐火性能上は問題はありませんので、使用にあたって所轄の行政機関にご確認をお願い致します。	P.34
鋼製電線管用	42	壁貫通のフィブロックの固定には樹脂製インシュロックは使えますか?	認定工法外となるのでご使用頂けません。 被覆付針金等をご使用ください。	P.35-42
	43	フィブロックの固定にはどのような被覆付針金が使えますか?	φ0.39㎜以上の鋼線、ステンレス線、銅線がご使用頂けます。 被覆材は無しまたはポリエチレン系樹脂、ポリエチレンテレフタラート系樹脂、ポリプロピレン系樹脂、塩化ビニル系樹脂となります。	P.35-42
	44	ケーブルが貫通していない予備配管(空配管)に使えますか?	弊社営業所にお問い合わせください。	—
	45	厚鋼（G管）、薄鋼（C管）、ネジ無し（E管）、ネジ有りの電線管すべてに使えますか?	JIS C 8305で規定される全ての鋼製電線管にご使用頂けます。	P.35-42
	46	鋼製電線管の片側に鋼製のプルボックスがついた場合に施工できますか?	弊社営業所にお問い合わせください。	—
遮音シート コンセントボックス用	47	コンセントボックスの形状に制限はありますか?	耐火認定が必要とされない場合は、形状に制限はありません。 尚、小判型コンセントボックスにおいては、遮音テープを壁と塗代カバーの接地面に貼付し、遮音テープと壁をしっかりと密着させて隙間が無いように処理をお願い致します。	P.45-46
	48	PF管の貫通部などコンセントボックス以外での耐火遮音処理に使えますか?	本製品は、認定上、中空壁に設置されたコンセントボックスのみに使用可能ですので、PF管の貫通部等にはご使用頂けません。	–
コンセントボックス SW用キット	49	中空壁にコンセントボックスを設置する際に使えますか?	本製品は片壁にのみご利用頂けます。中空壁内のコンセントボックス処理は17～18ページをご参照ください。	P.17-18
	50	コンセントボックスの塗代カバーが狭くて耐火テープがきちんと貼れない場合があるがどうすればよいか?	塗代カバーからはみ出してもそのまま貼ってください。	P.49
	51	耐火テープを貼った後、壁との間に隙間が出来た場合に問題になりますか?	隙間が生じないように施工してください。 施工できない場合は、弊社営業所にお問い合わせください。	P.47-49
	52	耐火シートをねじで固定しても問題ありませんか?	問題ありません。	P.47-49
丸穴用	53	耐火パックが破れたのですが、使えますか?	ご使用頂けません。破れていない製品をご使用ください。	P.51-52

フィブロック ケーブル区画貫通用 Q&A

品種	No	質　問	回　答	参照
ケーブルラック・バスダクト 貫通用キット	54	床の施工後に「足元注意」や「踏抜厳禁」のようなシールが欲しいのですが?	ご請求頂きました認定シールの発送時に「踏抜厳禁」のシールを同梱致しますのでご活用ください。	P.1-2
	55	認定書の10㎜+10㎜の表記はどのような意味ですか?	原則として隙間を10㎜以下となるように施工し、部分的にプラス10㎜(最大20㎜)になっても耐火性能に問題がないという意味です。	P.58
	56	貫通した鋼製電線管やPF管/CD管にケーブルを通さず、空配管にしても大丈夫ですか?	弊社営業所にお問い合わせください。	—
	57	両面ラックは施工可能ですか?	両面ラックの施工は国土交通大臣認定工法PS060FL-0808に適合しております。その場合、プロセレクトボードおよびプロセレクトパテが認定書通り施工できるようにケーブルの敷設位置を考慮してください。	P.56
	58	中空壁において開口補強は必要ですか?	必要です。鋼製(厚さ0.6㎜以上)または壁を構成する壁材と同等の材料による開口補強材を設けてください。	P.57

製品一覧
工法選定早見表 製品別
工法選定早見表 施工箇所別
工法一覧 直ケーブル・PF/CD管（混合可） コンセントボックス（中空壁） NEO
直ケーブル・PF/CD管（混合可） 共住区画 NEO
工法一覧 ケーブル PF/CD 管 直ケーブル・PF/CD 管（混合） 直ケーブル・PF/CD管（混合） 共住区画 CD管 埋設工法 コンセントボックス（中空壁） PF管テープ/PF管シート
工法一覧 ケーブルのみ 直ケーブル・PF/CD 管（混合可） 異種管継手 鋼製電線管用
コンセントボックス（耐火遮音） 遮音シート
コンセントボックス SW 用キット（片壁用）
丸穴貫通（床用）キット
工法一覧 ケーブルラック バスダクト プロセレクトキット
延焼防止シート
関連法規
Q&A